

# 令和4年度第1回県南広域振興圏地域協働委員会議

日 時：令和4年6月16日（木） 13：30～15:30

場 所：奥州地区合同庁舎分庁舎3階大会議室

## 次 第

1 開 会

2 挨 拶

3 議 題

- ・ 令和3年度県南広域圏の重点施策の達成状況及び令和4年度の重点施策の取組方向について
- ・ 「いわて県民計画（2019～2028）」第2期アクションプランの策定について

4 その他

5 閉 会

---

## <資料>

【No.1】 令和3年度県南広域振興圏施策評価結果調書（概要版）

【No.2】 令和3年度県南広域振興圏施策評価結果調書（暫定版）

【No.3】 令和4年度県南広域振興局の施策推進方針

【No.4】 令和4年度広域振興事業・地域経営推進費（県事業）事業一覧

【No.5】 令和3年度第2回県南広域振興圏地域協働委員会議における御意見に対する対応状況

【No.6】 「いわて県民計画（2019～2028）」第2期アクションプランの策定について

【No.7】 県南広域振興圏地域協働委員設置要綱

# 出席者名簿

## 【地域協働委員】

基本方向	氏名	分野	市町	所属等	出欠
I	佐々木 裕	健康づくり 医療・福祉 子育て	奥州市	株式会社ケアサービスゆたか代表取締役、社会福祉法人優愛会理事 岩手県介護支援専門員協会副会長、胆江地区介護支援専門員協議会副会長	○
I	小笠原 隆	健康づくり 医療・福祉 子育て	金ケ崎町	社会福祉法人フレンドシップいわて 障害者支援施設虹の家施設長兼管理者 共同生活援助グループホームなないろ 管理者 放課後等デイサービス虹の家管理者 一般社団法人岩手県社会福祉士会理事	○
I	小野寺 真澄	環境保全 社会資本整備 防災・減災	一関市	ニッコー・ファインメック株式会社 代表取締役社長	○ Web参加
I	佐賀 忠臣	環境保全 社会資本整備 防災・減災	花巻市	株式会社佐賀建設 代表取締役 岩手県建設業協会青年部連絡協議会 副会長	欠席
I	千葉 稔	環境保全 社会資本整備 防災・減災	奥州市	奥州市防災士会「絆」 会長 岩手県地域防災サポーター	○
I	岩隈 大樹	まちづくり 地域コミュニティ 移住定住	金ケ崎町	合同会社いと・をかし代表社員 古民家交流空間「永-TOKOSHIE」オーナー 元金ケ崎町地域おこし協力隊	○
I	藤原 朝子	まちづくり 地域コミュニティ 移住定住	西和賀町	西和賀町産業公社企画課係長	○ Web参加
II	佐々木 優弥	ものづくり産業 伝統産業	平泉町	有限会社翁知屋 代表取締役 いわて県南エリア伝統工芸協議会 理事	○
II	新宮 由紀子	ものづくり産業 伝統産業	一関市	株式会社長島製作所 代表取締役社長 いわて自動車関連産業集積促進協議会 幹事	欠席
II	小野 仁志	雇用確保 労働環境整備	平泉町	いちのせき若者サポートステーション センター長、統括コーディネーター 特定非営利活動法人レスパイトハウス・ハンズ	○
II	堀内 恵樹	雇用確保 労働環境整備	奥州市	プラザイン水沢（株式会社プラザ企画） 支配人 県南広域振興局キャリア教育サポーター	○
III	長屋 あゆみ	観光・スポーツ	北上市	NPO法人フォルダ 理事長 スポーツリンク北上 理事 岩手県スポーツ推進審議会委員	○
III	南洞 法玲	観光・スポーツ	平泉町	毛越寺 事業部長	○
III	高見 章子	食産業	花巻市	株式会社エーデルワイン総務部長兼ワインシャトー大迫店長	○ Web参加
III	大内 友規	文化芸術	奥州市	前沢商工会 主任 前沢ふれあいセンター	○
IV	桶田 陽子	農業	遠野市	農事組合法人宮守川上流生産組合 副組合長兼農産物加工部長	○
IV	佐々木 勝志	農業	花巻市	有限会社佐々木農園 代表取締役 岩手県農業法人協会 副会長	欠席
IV	安倍 和明	林業	奥州市	明和フォレストック(有) 代表取締役	欠席
公募	千葉 哲夫	公募	一関市	いわいの里ガイドの会 会員	○

(敬称略)

## 【県南広域振興局】

No.	氏名	職名
1	永井 榮一	局長
2	菅原 健司	副局長
3	藤原 寿之	副局長
4	高橋 浩進	副局長兼農政部長
5	佐藤 朝則	経営企画部長
6	菊地 浩記	産業振興室長兼産業振興課長
7	中里 武司	総務部長
8	上坂 利明	県税部長
9	浅沼 玉樹	保健福祉環境部長
10	田屋 了	林務部長
11	佐野 孝	技術参事兼土木部長
12	石木 田浩美	花巻総務センター所長
13	藤原 典光	一関総務センター所長

1 趣旨

- この調書は、県民計画、地域振興プランに基づく県南広域圏の重点施策に基づく、令和3年度の具体的推進方策の進捗状況を示すもの。
- 今後、地域振興プランで設定した県南圏域重点指標の達成状況や地域の意見を十分に踏まえ、第2期アクションプランの策定に取り組む。

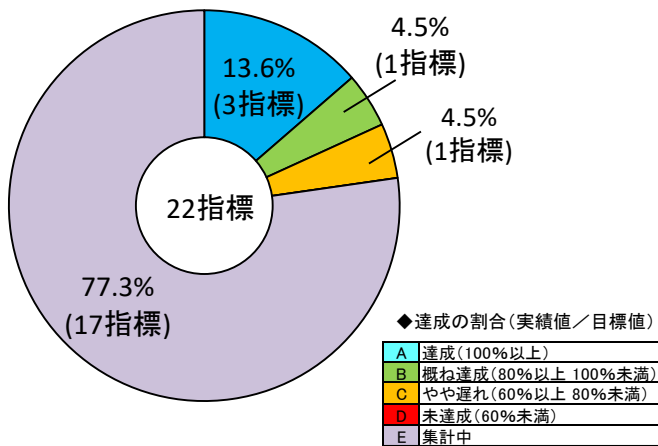
2 全体の状況

＜目指す姿(地域振興プラン・県南広域振興圏)＞  
 人とつながり、県南圏域の産業集積や農林業、多様な地域資源を生かしながら、暮らしと産業が調和し、世界に向け岩手の未来を切り拓く地域

健康・環境・安心安全・コミュニティ	ものづくり産業の振興・人材育成・定着	観光・食産業・文化スポーツの振興	農林業の振興
<p><b>I 多様な交流が生まれ、一人ひとりが生涯を通じて健やかにいきいきと暮らせる地域</b></p> <p>1 健やかに安心して暮らせる地域社会をつくります</p> <p>2 快適で安全・安心な生活環境をつくります</p> <p>3 一人ひとりがいきいきと生活できるコミュニティをつくります</p>	<p><b>II 世界に誇れる産業の集積を進め、岩手で育った人材が地元で働き定着する地域</b></p> <p>4 ものづくり産業の集積を進め、競争力を高めます</p> <p>5 ライフスタイルに応じた新しい働き方ができる環境づくりと人材育成による地元定着を促進します</p>	<p><b>III 世界遺産「平泉の文化遺産」をはじめ多彩な魅力の発信により多くの人々が訪れる地域</b></p> <p>6 地域の魅力の発信による交流を広げます</p> <p>7 食産業のネットワークを活用し、交流人口の拡大を図ります</p> <p>8 文化芸術を生かした地域づくりを進めます</p>	<p><b>IV 米・園芸・畜産や林業などの多様な経営体が収益性の高い農林業を実施する地域</b></p> <p>9 企業的経営体を中心とした収益性の高い産地の形成と協働・連携による農村地域の活性化を進めます</p> <p>10 森林資源の循環利用により、林業・木材産業を振興します</p>

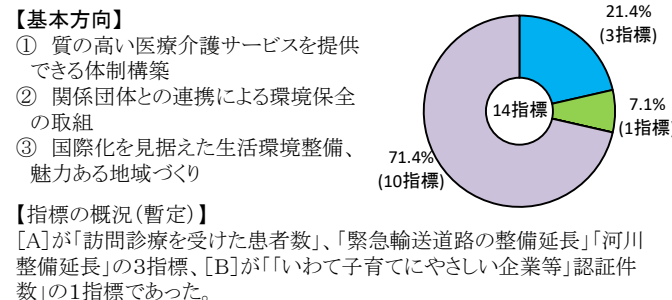
＜令和3年度における重点施策ごとの重点指標の進捗状況＞

	達成 A	概ね達成 B	やや遅れ C	未達成 D	集計中 E
健康・環境・安心安全・コミュニティ	21.4%	7.1%	0.0%	0.0%	71.4%
ものづくり産業の振興・人材育成・定着	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
観光・食産業・文化スポーツの振興	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	66.7%
農林業の振興	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
全体	13.6%	4.5%	4.5%	0.0%	77.3%

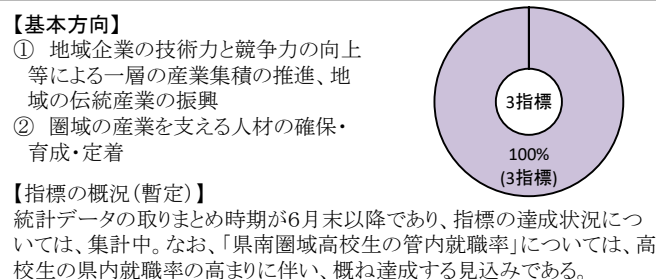


3 振興施策の基本方向の取組結果

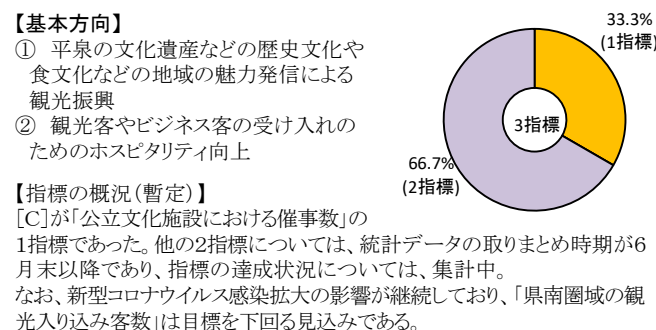
I 多様な交流が生まれ、一人ひとりが生涯を通じて健やかにいきいきと暮らせる地域



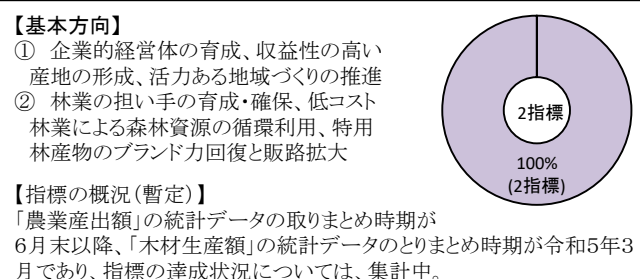
II 世界に誇れる産業の集積を進め、岩手で育った人材が地元で働き定着する地域



III 世界遺産「平泉の文化遺産」をはじめ多彩な魅力の発信により多くの人々が訪れる地域

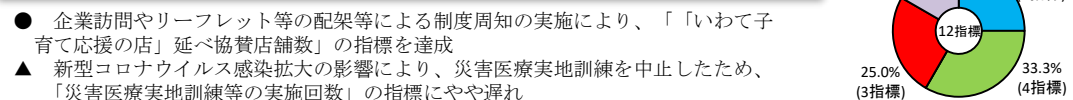


IV 米・園芸・畜産や林業などの多様な経営体が収益性の高い農林業を実施する地域

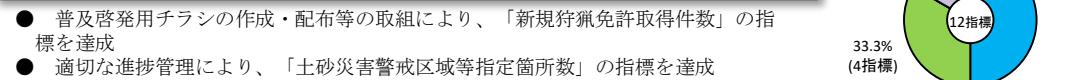


4 10の重要施策の取組結果

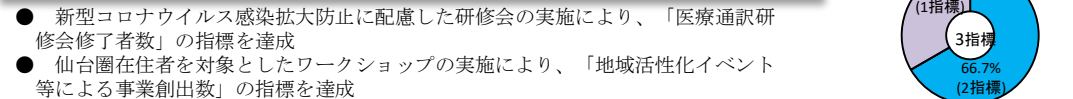
1 健やかに安心して暮らせる地域社会をつくります



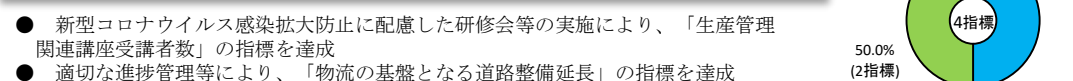
2 快適で安全・安心な生活環境をつくります



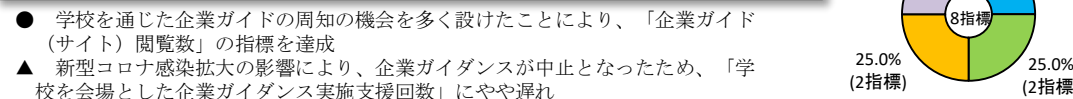
3 一人ひとりがいきいきと生活できるコミュニティをつくります



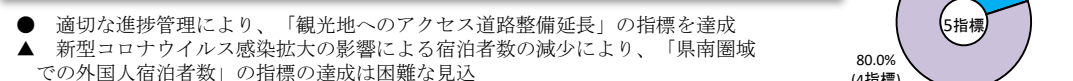
4 ものづくり産業の集積を進め、競争力を高めます



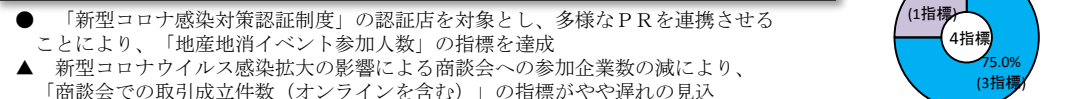
5 ライフスタイルに応じた新しい働き方ができる環境づくりと人材育成による地元定着を促進します



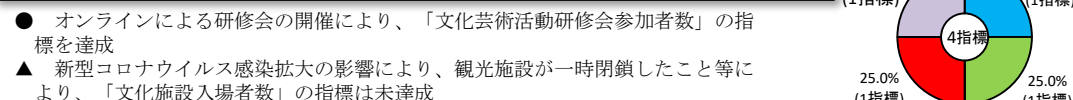
6 地域の魅力の発信による交流を広げます



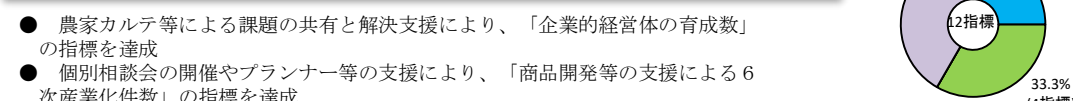
7 食産業のネットワークを活用し、交流人口の拡大を図ります



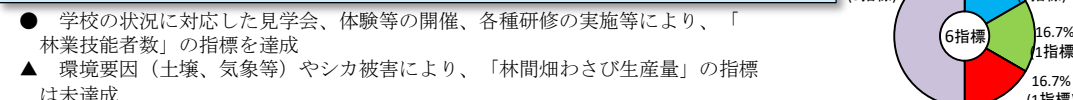
8 文化芸術を生かした地域づくりを進めます



9 企業的経営体を中心とした収益性の高い産地の形成と協働・連携による農村地域の活性化を進めます



10 森林資源の循環利用により、林業・木材産業を振興します



※ 端数処理の都合上、割合の合計が100%にならない場合がある。

# 令和3年度 県南広域振興圏業務方針進捗状況調書 (暫定版)

重点施策	頁
1 健やかに安心して暮らせる地域社会をつくります	1
2 快適で安全・安心な生活環境をつくります	8
3 一人ひとりがいきいきと生活できるコミュニティをつくります	14
4 ものづくり産業の集積を進め、競争力を高めます	18
5 ライフスタイルに応じた新しい働き方ができる環境づくりと人材育成による地元定着を促進します	21
6 地域の魅力の発信による交流を広げます	25
7 食産業のネットワークを活用し、交流人口の拡大を図ります	30
8 文化芸術を生かした地域づくりを進めます	33
9 企業的経営体を中心となった収益性の高い産地の形成と協働・連携による農村地域の活性化を進めます	36
10 森林資源の循環利用により、林業・木材産業を振興します	44

令和4年6月

圏域の振興施策の基本方向	I 多様な交流が生まれ、一人ひとりが生涯を通じて健やかにいきいきと暮らせる地域
--------------	---

重点施策	1 健やかに安心して暮らせる地域社会をつくります
------	--------------------------

〔基本方向〕

（健康づくり）

住民が、こころと体の健康づくりに積極的に取り組むことができるよう、市町など関係機関と連携し、健康に関する知識の普及を図るとともに、職場や地域における心の不調の早期発見、生活習慣病の発症予防や重症化（再発）予防につながる取組を促進します。

また、若年期からの適正な食生活習慣と運動習慣の定着に向けて、健康づくりに関する良好な環境づくりを推進します。

スポーツを通じた健康増進を図るため、関係機関・団体と連携し、スポーツ活動への参画に向けた取組を推進します。

（医療）

地域医療構想の実現に向けて、病床機能の分化と連携や医療と介護の連携体制の整備などに取り組むとともに、妊産婦が安心して出産できるよう、周産期医療における医療機関間の診療連携体制の充実強化を図ります。

自然災害や新興感染症などに円滑に対応していくため、健康危機に対する管理体制を関係機関・団体と構築します。

（福祉）

高齢者が住み慣れた地域での生活を継続できるよう、市町等と連携し、地域の実情に応じた医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスを提供する体制づくりを支援します。

地域における障がい者の自立支援を進めるため、市町の障がい者地域自立支援協議会などのネットワークを生かし、障がい福祉サービス基盤の整備が着実に進むよう支援します。

また、就労継続支援事業者と農業者等との連携による、障がい者それぞれの特性に応じた多様な作業の確保や工賃向上に係る取組を支援します。

（子育て）

地域で結婚、子育てをするという希望がかなえられるよう、関係機関と連携し、結婚希望者に対する出会いの機会の提供等の取組を支援します。

また、地域の中で安心して子育てができるよう、市町と連携し、保育サービスの拡充等の取組を支援するほか、地域の企業等による子育てしやすい環境づくりを促進するなど、社会全体で出産、子育てを支援する地域づくりを推進します。

重点指標		現状値	2019	2020	2021	2022	重点指標の動きに対するコメント
①がん、心疾患及び脳血管疾患で死亡する人数〔10万人当たり〕（人）〔男性〕	目標		288.4 (2018)	281.1 (2019)	273.9 (2020)	266.9 (2021)	【集計中】（令和5年4月末確定見込み） 2020年（2019年）の実績値は274.5人となっています。 事業所への出前講座や健康経営の普及の取組等を進めていきます。
	実績	297.4 (2016)	306.0 (2018)	274.5 (2019)	集計中	—	
①がん、心疾患及び脳血管疾患で死亡する人数〔10万人当たり〕（人）〔女性〕	目標		141.6 (2018)	137.8 (2019)	134.0 (2020)	130.3 (2021)	【集計中】（令和5年4月末確定見込み） 2020年（2019年）の実績値は147.0人となっています。 事業所への出前講座や健康経営の普及の取組等を進めていきます。
	実績	152.4 (2016)	173.9 (2018)	147.0 (2019)	集計中	—	
②自殺者数〔10万人当たり〕（人）	目標		20.5 (2018)	19.5 (2019)	18.5 (2020)	17.5 (2021)	【集計中】（令和5年4月末確定見込み） 2020年（2019年）の実績値は21.3人となっています。 メンタルヘルスに関わる人材育成の研修やネットワーク構築の取組を進めていきます。
	実績	21.5 (2016)	22.1 (2018)	21.3 (2019)	集計中	—	
③訪問診療を受けた患者数（人口10万人当たり：レセプト件数ベース）（件）	目標		3,018.1 (2018)	3,028.1 (2019)	3,037.9 (2020)	3,047.9 (2021)	【達成】 2021年（2020年）の実績値は3,315.1件となっています。 地域の実情に応じた医療、介護等を提供する体制を支援してまいります。
	実績	2,998.3 (2016)	3,159.3 (2018)	3,143.9 (2019)	3,315.1 (2020)	—	
④要介護・要支援の認定を受けていない高齢者の割合（全国を100とした水準）（%）	目標		98.23	98.26	98.29	98.32	【集計中】（令和4年6月末確定見込み） 2020年の実績値は98.83%となっています。 高齢者が社会的役割を持ち、生きがいづくりや介護予防に向けた取組を促進してまいります
	実績	98.17	98.59	98.83	集計中	—	
⑤グループホームの利用者数（人）	目標		680	700	720	740	【集計中】（令和4年12月末確定見込み） 2020年の実績値は654人となっています。 福祉サービスの充実に向けた地域自立支援協議会の取組支援に取り組んでまいります。
	実績	640	653	654	集計中	—	
⑥「いわて子育てにやさしい企業等」認証件数（累計）	目標		79	99	119	139	【概ね達成】 2021年の実績値は116件となっています。 企業訪問や会議等にて認証制度の普及推進に取り組んでまいります。
	実績	39	69	95	116	—	

〔基本方向の実現に向けた取組〕

- ① 事業所等と連携したこころと体の健康づくりの推進
- ② 地域と連携したスポーツへの参加機運の醸成
- ③ 地域医療の確保充実と医療と介護等の連携体制の推進
- ④ 地域包括ケアシステムの構築
- ⑤ 障がい者の自立活動の支援
- ⑥ 「i-サポ奥州」の利用促進などを通じた結婚支援対策の推進
- ⑦ 子育てしやすい環境の整備

具体的 推進方策	令和3年度の取組内容(実施計画)	令和3年度の取組状況
<p>①事業所等と連携したところと体の健康づくりの推進</p>	<p>(1) 生活習慣病の発症予防やメンタルヘルスケアの向上に向けた取組の推進 ○スーパーマーケットと共働した健康的な食生活の「見える化」の推進 ○事業所を対象とした生活習慣の改善につながる健康づくり出前講座の実施</p>	<p>・「いわて減塩・適塩の日キャンペーン」に合わせ、健康的な食生活実践のための媒体をスーパーに配架：10店舗 【奥州：5店舗、一関：5店舗、中部：選定調査(36施設)】 ・健康づくり出前講座の実施：17事業所(19回、355人) 【中部：2事業所26人、奥州：8事業所119人、一関：7事業所212人】、受講者への生活習慣改善に向けたアンケート実施【奥州：9月から開始、6事業所82人に実施】</p>
	<p>(2) 特定健康診査の受診率及び特定保健指導の実施率の向上に向けた取組の支援 ○血管年齢計を活用した働き盛りの健康度「見える化」事業</p>	<p>・血管年齢計を活用した出前講座の実施：4事業所 80人 【奥州：3事業所 37人、一関：1事業所 43人】 ・参加継続型出前講座【奥州】：1事業所 18人(40日間の歩数測定と前後の血管年齢測定及びアンケートで11月に評価、助言指導) ・経営企画部と連携しアプリ活用の運動及び健康経営認定事業所の情報チラシを工業系企業等約600か所に配付(10月)</p>
	<p>(3) 若年期からの健康づくりに関する良好な環境づくりの推進 ○特定給食施設への指導 ○保育園・学校等への出前講座の実施 ○保育園での運動習慣定着事業の実施</p>	<p>・学校等の特定給食施設へ栄養管理状況等の立入り指導を実施：36施設(学校8施設、児童福祉施設28施設) ・保育園・学校等への出前講座の実施【中部：1校100人】※周知は中止し、希望があった場合のみ対応を検討 ・保育園運動習慣定着事業【奥州：2施設】(歩数計を貸出し、計測を8月に2回実施、遊びと歩数を分析、11月に指導実施)</p>
	<p>(4) 自殺対策に向けた総合的な取組の推進 ○自殺対策推進の連絡会及び研修会の開催 ○事業所出前講座の開催及びゲートキーパー養成 ○自殺予防の普及啓発、相談窓口情報の発信</p>	<p>・自殺対策推進の連絡会開催：実務者・担当者対象の連絡会により各機関の取組を推進【中部1回、奥州2回、一関1回】、ハイリスク者対応連携に係る連絡会の開催【奥州：1回、一関1回】 ・事業所出前講座でのゲートキーパー養成：345人(17事業所) 【中部 33人 3事業所、奥州 119人 8事業所、一関 198人 6事業所】 ・新型コロナ関連&amp;心の相談窓口チラシ作成、スーパーや関係機関等への配架による情報発信(9月、10月、11月、12月) ・専門医による相談(月1回)、保健師による相談・訪問(随時)、ひきこもり当事者・家族の専門相談等により、精神疾患や障害等の早期発見及び対応 ・事業所訪問による職場でのメンタルヘルスケアに係る情報提供(5事業所)※新型コロナ発生の事業所3か所への訪問含む</p>

【中止事業】  
中部：職場での健康推進取組好事例の収集  
一関：健康経営に取り組む事業所の事例収集・HPでの紹介

令和3年度の評価及び今後の取組の方向	令和4年度の取組方針																																																						
<p>【指標の状況】 ・岩手県脳卒中予防県民会議の会員数(団体)〔累計〕<b>達成</b></p> <table border="1" data-bbox="1602 220 2181 336"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>108</td> <td>113</td> <td>132</td> <td>141</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>98</td> <td>111</td> <td>123</td> <td>155</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向性】 ①事業所への出前講座の実施や脳卒中予防県民大会は中止したが、会員数の募集は継続していることから目標を達成した。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、実施時期の短縮等を行ったが、目標を達成することができた。 ②生活習慣病の発症や重症化を予防するための取組について、事業所等と協働しながら、出前講座の効果的な実施や普及啓発に取り組む必要がある。</p> <p>【指標の状況】 ・肥満傾向にある子供の割合(小学5年生)(%) <b>未達成</b></p> <table border="1" data-bbox="1602 829 2181 945"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>11.92</td> <td>11.38</td> <td>10.84</td> <td>10.29</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>13.00</td> <td>13.49</td> <td>14.53</td> <td>15.54</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>・肥満傾向にある子供の割合(中学2年生)(%) <b>未達成</b></p> <table border="1" data-bbox="1602 1018 2181 1134"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>10.90</td> <td>10.72</td> <td>10.54</td> <td>10.34</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>11.26</td> <td>11.85</td> <td>13.05</td> <td>11.84</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向性】 ①新型コロナウイルス感染拡大の影響により、学校等への出前講座の時期・方法を変更して実施したが、目標を達成することができなかった。 ②新型コロナウイルス感染拡大の影響による学校一斉休校や外出自粛のため、運動の機会の減少や食生活の変化が生じ、児童の肥満の増加が課題である。特定給食施設への立入・指導について、適正な栄養管理の実施に向けて指導の標準化と評価をしながら取り組む必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		108	113	132	141	実績	98	111	123	155	—		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		11.92	11.38	10.84	10.29	実績	13.00	13.49	14.53	15.54	—		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		10.90	10.72	10.54	10.34	実績	11.26	11.85	13.05	11.84	—	<p>・スーパーマーケットと協働し、健康的な食生活実践のための媒体(ポスターや一口メモ等)を作成・掲示を行う「健康的な食生活の見える化」の実施 ・血管年齢測定器の活用や健康アプリの紹介など効果的かつ実践的な健康づくり出前講座による「健康度見える化事業」の実施</p> <p>・特定給食施設への立入検査、個別指導の実施 ・児童・生徒を対象とした健康的な生活習慣のための出前講座や保育園を対象とした歩数計活用による運動定着事業を実施</p> <p>・自殺対策推進のための連絡会の開催、及び人材育成として関係機関・団体や事業所等の職員対象にした研修の開催 ・事業所を対象に心の健康づくりに係る出前講座の開催及びゲートキーパー養成</p>
	現状値	2019	2020	2021	2022																																																		
目標		108	113	132	141																																																		
実績	98	111	123	155	—																																																		
	現状値	2019	2020	2021	2022																																																		
目標		11.92	11.38	10.84	10.29																																																		
実績	13.00	13.49	14.53	15.54	—																																																		
	現状値	2019	2020	2021	2022																																																		
目標		10.90	10.72	10.54	10.34																																																		
実績	11.26	11.85	13.05	11.84	—																																																		
<p>【指標の状況】 ・メンタルヘルス人材育成のための研修会等の参加者数(人)〔累計〕<b>概ね達成</b></p> <table border="1" data-bbox="1602 1585 2181 1701"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>1,461</td> <td>1,961</td> <td>2,261</td> <td>2,561</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>461</td> <td>1,425</td> <td>1,838</td> <td>2,183</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向性】 ①新型コロナウイルス感染拡大の影響により、関係者会議や人材育成の研修は中止または縮小して実施したが、目標は概ね達成となった。 ②新型コロナウイルス感染拡大の影響による仕事や生活への影響を踏まえ、相談窓口の普及啓発及び対応できる人材の育成に取り組む必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		1,461	1,961	2,261	2,561	実績	461	1,425	1,838	2,183	—																																					
	現状値	2019	2020	2021	2022																																																		
目標		1,461	1,961	2,261	2,561																																																		
実績	461	1,425	1,838	2,183	—																																																		

令和3年度の取組状況・評価及び令和4年度の取組方針

具体的 推進方策	令和3年度の取組内容(実施計画)	令和3年度の取組状況
②地域と連携したスポーツへの参加機運の醸成	<p>(1) 市町と連携したスポーツを通じた健康づくり情報発信によるスポーツへの参加機運の醸成</p> <p>○地域のスポーツ資源やアクティビティのHPや観光情報SNSでの情報発信</p> <p>○スポーツによる健康づくり情報を発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サイクリングインフォメーションのリーフレット配布：50カ所、800枚</li> <li>サイクリング・ウォーキングデジタルルートマップサイトによる情報発信（23コース）</li> <li>市町のスポーツアクティビティ情報を収集し、ラジオやSNSで発信</li> <li>スポーツ&amp;健康づくり情報のチラシ作成、保健所出前授業、工業クラブ等を通じて配布（9月末）</li> <li>スポーツ等連携実行委員会で、スポーツ実施率向上施策について市町と情報交換(8/25)</li> </ul>

令和3年度の評価及び今後の取組の方向	令和4年度の取組方針																		
<p>【指標の状況】</p> <p>・スポーツ実施率（週1回以上のスポーツ実施率）（%） <b>概ね達成</b></p> <table border="1" data-bbox="1605 226 2175 390"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>63.5 (2018)</td> <td>64.0 (2019)</td> <td>64.5 (2020)</td> <td>65.0 (2021)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>62.0</td> <td>59.1</td> <td>61.0</td> <td>63.8</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向】</p> <p>①新型コロナウイルス感染拡大の影響により、イベントの中止が相次いだ。健康への意識が高まったこともあり、目標は概ね達成となった。</p> <p>②感染防止に配慮したスポーツ資源や健康づくり情報を市町及び関係機関と連携して情報発信を行い、参加機運を醸成する必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		63.5 (2018)	64.0 (2019)	64.5 (2020)	65.0 (2021)	実績	62.0	59.1	61.0	63.8	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>管内のスポーツイベントや健康づくり情報を市町や関係団体と連携して情報発信</li> <li>サイクリング・ウォーキングリーフレット等による情報発信</li> </ul>
	現状値	2019	2020	2021	2022														
目標		63.5 (2018)	64.0 (2019)	64.5 (2020)	65.0 (2021)														
実績	62.0	59.1	61.0	63.8	—														

令和3年度の取組状況・評価及び令和4年度の取組方針

具体的 推進方策	令和3年度の取組内容(実施計画)	令和3年度の取組状況
<p>③地域医療の確保充実と医療と介護等の連携体制の推進</p>	<p>(1) 一連のサービスが切れ目なく、過不足なく提供される仕組みづくり ○各圏域での地域医療連携会議の開催</p> <p>(2) 大規模災害を想定した災害医療訓練の実施 ○災害医療訓練の実施</p>	<p>・地域医療連携会議 〈奥州〉 病院長会議 (7/5) 第1回会議 (12/2) 周産期医療市町担当者連絡会 (11/9・11/18・12/23・1/14) 周産期医療圏連絡会議 (2/17) 〈中部〉 第1回病院・市町部会会議 (10月 書面) 第2回病院・市町部会会議 (11月 書面) 第3回病院・市町部会会議 (1月 web) 〈奥州・中部〉 未実施 〈一関〉 初動対応訓練実施 (5/28) 連絡会議(書面)開催 (8月) 災害医療訓練 (10/19)</p>
	<p>(3) 新興感染症に対応するため、医療機関の受入れ等の体制整備や実地訓練などを実施 ○感染症対策会議の開催 ○感染症実地訓練等の実施</p>	<p>・患者発生時対応及び検査・入院等の調整並びに連携に係る会議 (7回)、医療機関等との随時打合せの実施 〈中部〉 入院調整等医療体制打合せを随時 感染症対策関係機関連絡会議: 1回 (12/27) 〈奥州〉 感染症対策連絡会議: 2回 (4/26、10/21) 入院医療調整WEB会議: 入院療養患者有期間中: 毎日17:00～ 搬送関係打合せ: 2回 (4/30、8/2) 〈一関〉 感染症対策連絡会議: 2回 (7/1、12/14) 地域医療関係者ブリーフィング: 2回 (8/2、11/29) 入院医療調整WEB会議: 平日9:30～</p>
		<p>・患者搬送業務研修・PPE着脱訓練等実施: 29回 【中部: 5回、奥州: 15回、一関: 9回】</p>

令和3年度の評価及び今後の取組の方向	令和4年度の取組方針																																																						
<p>【指標の状況】 ・地域医療連携会議等の参加機関数 (機関) <span style="float: right;">達成</span></p> <table border="1" data-bbox="1626 262 2190 367"> <tr> <td></td> <td>現状値</td> <td>2019</td> <td>2020</td> <td>2021</td> <td>2022</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>102</td> <td>102</td> <td>99</td> <td>99</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>93</td> <td>103</td> <td>103</td> <td>99</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向性】 ①一部の会議を書面開催し、新型コロナウイルス感染防止対策に配慮した形で実施したことから、目標を達成することができた。 ②新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した形で地域医療連携会議を開催していく必要がある。 なお、奥州地域においては、地域医療構想に基づく具体的対応方針について、関係機関と再度検討していく必要がある。</p> <p>【指標の状況】 ・災害医療実地訓練等の実施回数 (回) <span style="float: right;">未達成</span></p> <table border="1" data-bbox="1626 745 2190 850"> <tr> <td></td> <td>現状値</td> <td>2019</td> <td>2020</td> <td>2021</td> <td>2022</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向性】 ①新型コロナウイルス感染拡大の影響により、災害医療実地訓練を中止したため、目標を達成することができなかった。 ②新型コロナウイルス感染症を含む感染症発生の動向に応じた災害医療訓練等を継続する必要がある。</p> <p>【指標の状況】 ・感染症対策実地訓練など実施回数 (回) <span style="float: right;">概ね達成</span></p> <table border="1" data-bbox="1626 1176 2190 1281"> <tr> <td></td> <td>現状値</td> <td>2019</td> <td>2020</td> <td>2021</td> <td>2022</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>3</td> <td>3</td> <td>30</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>72</td> <td>29</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向性】 ①新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、医療、消防、介護等職員を対象に防護衣着脱訓練等を実施したことにより、目標は概ね達成できた。 ②医療や社会福祉施設における新型コロナウイルス感染症のクラスター発生の対応・対策のため、感染対策確認及び実地訓練に継続して取り組む必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		102	102	99	99	実績	93	103	103	99	—		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		3	3	3	3	実績	3	3	2	1	—		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		3	3	30	9	実績	3	3	72	29	—	<p>・地域医療連携会議 〈奥州〉2回程度会議開催予定 〈花巻〉2回程度会議開催予定 〈一関〉2回程度開催予定 ・周産期医療圏連絡会議 (年度後半予定)</p> <p>・災害医療訓練 〈共通〉年1回開催予定</p> <p>・新型コロナウイルス感染症を含む感染症発生の動向に応じた医療体制や関係者の連携に係る連絡会議の開催(随時) ・医療、消防、介護等職員を対象に感染症実施訓練等の実施(随時) ・新型コロナウイルス感染症診療・検査医療機関の指定に係る現地確認・指導の実施(随時)</p>
	現状値	2019	2020	2021	2022																																																		
目標		102	102	99	99																																																		
実績	93	103	103	99	—																																																		
	現状値	2019	2020	2021	2022																																																		
目標		3	3	3	3																																																		
実績	3	3	2	1	—																																																		
	現状値	2019	2020	2021	2022																																																		
目標		3	3	30	9																																																		
実績	3	3	72	29	—																																																		



令和3年度の取組状況・評価及び令和4年度の取組方針

具体的 推進方策	令和3年度の取組内容(実施計画)	令和3年度の取組状況
④地域包括ケアシステムの構築	<p>(1) 地域包括ケアシステムの構築や、情報通信技術（ICT）の活用による医療機関や介護事業所との情報共有及び相互連携に向けた取組の支援</p> <p>○市町が主催する在宅医療介護連携会議等への出席</p> <p>・花巻市、北上市、奥州市、一関市、金ヶ崎町、平泉町</p> <p>○管内地域包括ケア担当者連絡調整会議の開催（1月）</p>	<p>・在宅医療介護連携会議等への出席状況                      〈一関〉平泉町（5月書面）、一関市（6月書面）                      〈中部〉北上市（7/8欠席、12/21出席）、花巻市（7/28欠席、3/24出席）                      〈奥州〉奥州市（9/27出席）                      金ヶ崎町（1/26出席）</p> <p>※ 欠席会議の資料は収集済</p> <p>・新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止</p>

令和3年度の評価及び今後の取組の方向	令和4年度の取組方針																		
<p>【指標の状況】</p> <p>・居宅サービス・地域密着型サービスの利用割合（%）                      （令和4年6月頃確定見込み） <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">集計中</span></p> <table border="1" data-bbox="1626 260 2228 363"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>65.2</td> <td>65.8</td> <td>66.4</td> <td>67.0</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>64.4</td> <td>64.8</td> <td>64.4</td> <td>(64.9)</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値、（ ）内は速報値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向性】</p> <p>①新型コロナウイルス感染拡大の影響により、書面開催となった協議会等もあったが、目標は概ね達成する見込である。</p> <p>②地域包括ケアシステムの構築に向けて、各市町の状況に合わせた支援と連携の取組みを進めていく必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		65.2	65.8	66.4	67.0	実績	64.4	64.8	64.4	(64.9)	—	<p>・各市町の介護保険運営協議会、在宅医療介護連携推進協議会等へ参画し、必要な助言指導を実施</p> <p>・管内地域包括ケア担当者連絡協議会の開催</p>
	現状値	2019	2020	2021	2022														
目標		65.2	65.8	66.4	67.0														
実績	64.4	64.8	64.4	(64.9)	—														

令和3年度の取組状況・評価及び令和4年度の方針

具体的推進方策	令和3年度の方針内容(実施計画)	令和3年度の方針状況
<p>⑤障がい者の自立活動の支援</p>	<p>(1) 障がい者への理解促進                      ○障がい者が中尊寺・月見坂を車いすで登る体験会の実施                      ○障がい者理解出前授業の実施</p> <p>(2) 市町の自立支援協議会等の取組支援                      ○各市町の自立支援協議会等への出席</p> <p>(3) 障がい者の経済的自立(工賃向上)への支援                      ○共同販売会・販路拡大等の取組支援                      ・庁舎内での事業所販売会の開催支援                      ・ハート購入の促進</p> <p>○農福連携の推進(奥州)                      ・マッチング支援                      ・農作業見学会、農作業実証の開催                      ・マッチング成立後の活動状況検証                      ・事業者、農業者向け研修会の開催                      ・取組報告会の開催                      ・農福連携関係者会議の開催                      ・実務担当者打合せ会出席</p>	<p>・平泉町社会福祉協議会主催で開催決定                      →新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止                      ・出前授業(一関):7~10月 小学校8校</p> <p>・各市町の自立支援協議会への出席による協議・助言</p> <p>奥州市:親会(1回)、その他4部会等(20回)                      ・共同生活援助事業所世話人等研修会11/24                      ・精神・発達障がい者しごとサポート養成講座8/5                      ・就労継続支援事業所から一般就労への流れについての研修会11/10                      ・地域生活支援拠点等整備に関する研修会2/2</p> <p>金ヶ崎町:親会(1回)                      花巻市:親会(1回)、就労部会(2回)                      北上市:親会(1回)、就労部会WG(7回)                      西和賀町:親会(1回)                      遠野市:親会(2回)、専門部合同研修会                      一関地区:運営委員会(3回)、その他3部会(4回、WG4回)                      ※一関地区(一関市、平泉町合同開催)</p> <p>・北上「ハートフルショップまごころ」販売連絡会毎月開催(花巻)                      ・「ハートフルショップまごころ」の北上市民福祉大会への出店支援(花巻)                      ・合庁内での事業所によるパン類等販売会支援。庁内放送による職員へのお知らせ                      パン類等販売会(奥州)9回(1事業所)                      (花巻)9回(1事業所)                      (一関)65回(3事業所)</p> <p>・注文販売3回(1事業所)                      ・R2の工賃実績、ハート購入取扱品目調査及び農福連携調査の実施(7月)                      ・ハート購入取扱品目調査結果一覧表周知                      ・各所属でのハート購入の取組                      購入件数 5件(奥州2件、花巻3件)                      ・工賃引上げ支援セミナー出席2/17                      ・3月末現在:新規契約6件                      継続契約8事業所15件(北上1事業所含む)</p> <p>・農作業見学会・体験会3回(個別開催)                      ・農作業初回等確認4回                      ・農作業検証会3回                      ・事業所訪問2回                      ・契約の立合1回                      ・第1回農福連携等関係者会議開催12/16                      ・実務担当者打合せ会(8回)                      ・(花巻)農福連携先進事例研修会11/24                      ・(一関)一関清明支援学校農福連携説明会参加(11/8)</p>

令和3年度の評価及び今後の取組の方向	令和4年度の方針																		
<p>【指標の状況】                      ・障がい者就労継続支援事業所(B型)の工賃(円/月)                      (令和4年10月確定見込み) 集計中</p> <table border="1" data-bbox="1617 289 2211 403"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>20,495</td> <td>20,889</td> <td>21,284</td> <td>21,677</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>19,707</td> <td>19,845</td> <td>19,928</td> <td>集計中</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向性】                      ①新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業内容や開催方法の変更、開催中止となる取組があったことから、目標の達成は困難な見込みである。                      ②障がい者の自立活動の支援に向けて、引き続き障がい者への理解を促進するとともに、市町の自立支援協議会等の取組への支援や、障がい者の経済的自立への支援を進めていく必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		20,495	20,889	21,284	21,677	実績	19,707	19,845	19,928	集計中	—	<p>・障がい者理解出前授業の実施(一関)</p> <p>・各市町の自立支援協議会への参画など、各市町の状況に応じた助言                      ・第6期障がい福祉計画(令和3年度~令和5年度)において各市町の状況に応じた助言</p> <p>・合庁内での事業所による販売会の支援                      ・ハート購入の促進について会議等でのPR</p> <p>・マッチング支援                      ・農作業見学会体験会、農作業実証の開催                      ・契約の立合                      ・事業者、農業者向け研修会の開催                      ・取組報告会の開催                      ・農福連携関係者会議の開催                      ・農政部等との打合せ(毎月)</p>
	現状値	2019	2020	2021	2022														
目標		20,495	20,889	21,284	21,677														
実績	19,707	19,845	19,928	集計中	—														

令和3年度の取組状況・評価及び令和4年度の取組方針

具体的推進方策	令和3年度の取組内容(実施計画)	令和3年度の取組状況
⑥「i-サポ奥州」の利用促進などを通じた結婚支援対策の推進	<p>(1) 「i-サポ」の利用促進に向けた周知 ○ポスター、リーフレットによる周知</p> <p>(2) 市町や関係団体との連絡会議等の開催 ○県南広域圏結婚支援関係団体等連絡会議の開催</p> <p>(3) 「いわて結婚応援の店」の協賛店の拡充 ○リーフレット等の配付等による周知</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修会等でのポスター、リーフレット等による周知(随時) 食品衛生講習会におけるリーフレット等の配布及びPR(7~12月):本局184件、花巻211件</li> <li>県民ホール等へパンフレット配架</li> <li>本庁にパンフレット送付依頼</li> <li>県南広域圏結婚支援関係団体等連絡会議 中止</li> <li>食品衛生講習会におけるリーフレット等の配布及びPR 制度周知 本局263件、花巻211件、一関85件</li> </ul>
⑦子育てしやすい環境の整備	<p>(1) 市町・保育事業者への助言・支援 ○市町児童福祉(子育て支援)担当者連絡会議の開催 ○各市町が主催する会議への出席</p> <p>(2) 「いわて子育てにやさしい企業等」認証制度の普及拡大及び「いわて子育て応援の店」の協賛店の拡充 ○企業訪問による認証勧奨、制度周知 ○リーフレット等の配付等による周知</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市町児童福祉担当者連絡会議 中止</li> <li>市町及び保育事業者への個別助言</li> <li>奥州市:子ども・子育て会議(8/24、11/15、2/15)</li> <li>奥州市子どもの権利推進委員会(10/4)</li> <li>企業訪問:10件(本局5件、花巻4件、一関1件)</li> <li>制度周知:674件(本局184件、花巻167件、一関323件)</li> <li>食品衛生講習会におけるリーフレット等の配布及びPR(毎月) 配布周知:793件(本局263件、花巻207件、一関323件)</li> <li>更新時期の企業への案内通知(17件)</li> </ul>

令和3年度の評価及び今後の取組の方向	令和4年度の取組方針																		
<p>【指標の状況】</p> <p>・i-サポ入会登録者数(人)〔累計〕 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">概ね達成</span></p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>現状値</td> <td>2019</td> <td>2020</td> <td>2021</td> <td>2022</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>728</td> <td>878</td> <td>1028</td> <td>1178</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>428</td> <td>671</td> <td>755</td> <td>885</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向性】</p> <p>①リーフレットの配架等による制度周知により、目標は概ね達成となった。</p> <p>②制度周知による「i-サポ」の利用促進及び「いわて結婚応援の店」の協賛店の拡充の取組をより一層推進していく必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		728	878	1028	1178	実績	428	671	755	885	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修会等でのポスター、リーフレット等による周知(随時)</li> <li>食品衛生講習会におけるリーフレット等の配付及びPR(毎月)</li> <li>企業訪問や会議、講演会の場を活用した情報提供の実施</li> </ul>
	現状値	2019	2020	2021	2022														
目標		728	878	1028	1178														
実績	428	671	755	885	—														
<p>【指標の状況】</p> <p>・「いわて子育て応援の店」延べ協賛店舗数(件)〔累計〕 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">達成</span></p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>現状値</td> <td>2019</td> <td>2020</td> <td>2021</td> <td>2022</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>743</td> <td>763</td> <td>783</td> <td>803</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>703</td> <td>748</td> <td>781</td> <td>808</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向性】</p> <p>①企業訪問やリーフレットの配架等による制度周知を行い、目標を達成することができた。</p> <p>②今後も企業訪問等による「いわて子育てにやさしい企業等」認証制度の普及拡大及び「いわて子育て応援の店」の協賛店の拡充の取組を進めていく必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		743	763	783	803	実績	703	748	781	808	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業訪問(若者女性協働推進室と同行)(毎月)</li> <li>食品衛生講習会におけるリーフレット等の配付及びPR(毎月)</li> <li>研修会等での制度周知活動実施</li> <li>更新時期の企業への案内通知</li> </ul>
	現状値	2019	2020	2021	2022														
目標		743	763	783	803														
実績	703	748	781	808	—														

圏域の振興施策の 基本方向	I 多様な交流が生まれ、一人ひとりが生涯を通じて健やかにいきいきと暮らせる地域						
重点施策	2 快適で安全・安心な生活環境をつくります						
〔基本方向〕 (環境保全等) 事業者における地球温暖化防止の取組支援や、官民連携による省エネや節電等のライフスタイルの意識啓発に取り組みます。 廃棄物の発生抑制、再利用、再生利用のいわゆる3Rを促進するとともに、産業廃棄物の適正処理指導と不法投棄対策の取組を進めます。 豊かな自然環境を次世代に引き継ぐため、行政、NPO、事業者、住民等の協働連携による生物多様性の保全や環境保全の取組を推進します。 住民の健康と自然環境保全の基本である水環境の保全に取り組みます。 捕獲の担い手の育成や確保に努め、有害捕獲を一層強化し、野生鳥獣による自然生態系や農林業及び人身への被害防止対策を推進します。 人と動物が共生する社会の実現に向けて動物愛護思想の普及に努め、動物の生命尊重の機運醸成の取組を推進します。 食品を介した健康被害の発生の予防に努め、食の安全と安心の取組を推進します。(社会資本整備等) 災害に強い信頼性の高い道路ネットワークを構築するため、緊急輸送道路の防災機能の強化と計画的な維持管理を推進します。 激甚化、頻発化する洪水や土砂災害から生命や財産を守るため、人口や資産が集積している区間や近年の被害実績のある区間のハード対策を重点的に推進します。また、施設では守りきれない洪水や火山噴火等に対し、警戒・避難体制等のソフト施策の充実強化を推進します。 冬期間の安全で円滑な通行を確保するため、除雪を考慮した道路整備や、通学中の児童や高齢者の安全を確保するため、歩道の整備を推進します。 人口減少等の影響を考慮しながら、地域の実情に合った污水处理施設の整備を推進します。							
重点指標		現状値	2019	2020	2021	2022	重点指標の動きに対するコメント
①公共用水域の環境基準BOD(生物化学的酸素要求量)達成率(%)	目標		100.0	100.0	100.0	100.0	集計中(令和4年12月末確定見込み) 2020年の実績値は100.0%となっています。 引き続き、工場等への立入指導や排水の検査を実施し、事業場排水の適正化を図ること等により、優れた自然環境等の保全に向けた取組を推進します。
	実績	100.0	100.0	100.0	集計中	—	
②産業廃棄物適正処理率(%)	目標		100.0	100.0	100.0	100.0	集計中(令和4年6月末確定見込み) 2020年の実績値は99.3%となっています。 引き続き、産業廃棄物適正処理指導員による事業者への適正処理指導や、警察等関係機関と連携した合同パトロールや情報共有などにより、適正処理の推進に取り組みます。
	実績	99.5	99.6	99.3	集計中	—	
③ニホンジカの捕獲数(累計)(頭)	目標		10,582	13,582	16,582	19,582	集計中(令和4年12月末確定見込み) 2020年の実績値は、20,731頭となっています。 引き続き、市町等関係機関と連携し、ニホンジカなどの有害鳥獣の駆除等の広域的な取組やツキノワグマの人里への出没原因の検証等に基づく駆除対策の実施等により、野生鳥獣等の適正な保護管理に取り組みます。
	実績	4,582	13,158	20,731	集計中	—	
④食中毒患者数(人口10万人当たり)(人)	目標		14.9	14.2	13.6	13.0	集計中(令和4年6月末確定見込み) 2020年の実績値は2.5人となっています。 引き続き、関係機関との協働による衛生指導や普及啓発、食品事業者に対するHACCPの考え方に基づく衛生管理の普及等により、食の安全と安心の取組を推進します。
	実績	16.3	1.5	2.5	集計中	—	
⑤緊急輸送道路の整備延長(累計)(m)	目標		2,000	9,470	14,880	15,400	達成 2021年度の実績値は14,880mとなっています。 計画通りに事業を実施することができました。
	実績	—	4,220	13,250	14,880	—	
⑥河川整備延長(累計)(m)	目標		2,000	4,000	5,800	6,200	達成 2021年度の実績値は6,960mとなっています。 計画通りに事業を実施することができました。
	実績	—	4,390	6,460	6,960	—	
〔基本方向の実現に向けた取組〕 ① 地球温暖化防止に向けた取組の支援 ② 循環型地域社会の構築に向けた廃棄物対策の推進 ③ 優れた自然環境等の保全・保護活動の推進 ④ 野生鳥獣等の適正な保護管理 ⑤ 人と動物が共生する社会の実現に向けた取組 ⑥ 食の安全と安心の取組の推進 ⑦ 災害に強い道路ネットワークの構築 ⑧ ハード・ソフトを組み合わせた防災・減災対策及び危機管理対策 ⑨ 安全な通行、歩行者の安全確保のための道路整備の推進 ⑩ 衛生的で快適な生活環境の確保							

令和3年度の取組状況・評価及び令和4年度の方針

具体的推進方策	令和3年度の方針内容(実施計画)	令和3年度の方針状況
①地球温暖化防止に向けた取組の支援	<p>(1) 多量排出事業者の地球温暖化防止取組の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○令和2年度地球温暖化対策実施状況報告・令和3年度対策計画の提出</li> <li>○エコスタッフ養成セミナーの開催</li> <li>○いわて地球環境にやさしい事業所の認定</li> </ul> <p>(2) 県民や事業者、行政が連携した地域ぐるみの省エネ活動等の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○エコドライブ講習の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球温暖化対策計画(事業所) R2実施状況報告 72/72(100%) R3対策計画 47/37(127%)</li> <li>・エコスタッフ養成セミナー 7/30実施 受講者38名(認定書交付)</li> <li>・いわて地球環境にやさしい事業所の認定 4/30認定:新規2事業所、更新3事業所 7/30認定:更新5事業所 10/29認定:新規4事業所、更新14事業所 1/31認定:新規1事業所、更新17事業所</li> <li>・エコドライブ講習 エコスタッフ養成セミナー(7/30)と併催実施</li> </ul>
②循環型地域社会の構築に向けた廃棄物対策の推進	<p>(1) 廃棄物の3Rを基調とするライフスタイルの定着及び環境に配慮した事業活動促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○産業廃棄物排出事業者等説明会の開催(10月以降)</li> <li>○クリーンいわて行動の日の実施(5月)</li> </ul> <p>(2) 不法投棄対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○廃棄物合同パトロールの実施</li> <li>○産業廃棄物適正処理指導員による事業者への適正処理指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリーンいわて行動の日 一関:5/28、6/9清掃活動の実施(奥州、花巻は感染防止のため中止)</li> <li>・産業廃棄物排出事業者等説明会 11月15日～19日にウェブセミナー形式で実施 参加者:103事業者</li> <li>・廃棄物合同パトロール</li> <li>・建設リサイクルパトロールを実施 5回(土木部と連携し、奥州、花巻、一関で実施)</li> <li>・廃棄物合同パトロールは中止</li> <li>・事業者への適正処理指導の実施 6,247件(うち報告徴収20件)</li> </ul>
③優れた自然環境等の保全・保護活動の推進	<p>(1) 多様な主体が連携した地域全体での環境保全活動の活性化の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○水生生物調査等の支援(夏期)</li> <li>○早池峰地域等の環境保全対策の推進</li> <li>○河川等の環境保全に向けた取組の推進(流域協議会の開催)</li> </ul> <p>(2) 工場等への立入指導等による事業場排水の適正化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○採水検査及び立入指導の実施</li> <li>○公共用水域及び地下水の水質測定の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水生生物調査の機材貸出し 6件</li> <li>・早池峰環境保全</li> <li>・キャンペーン及び登山道パトロールは中止</li> <li>・移入種駆除実施(6/16)、仮設トイレ設置(6/3)</li> <li>・流域協議会 各団体の活動計画把握(奥州・一関、～5月) 連絡会議書面開催(花巻、4月)</li> <li>・採水検査及び立入指導 19回(計画値31回)</li> <li>・水質測定</li> <li>・公共用水域測定301回(計画値300回)</li> <li>・地下水測定58回(計画値60回)</li> </ul>

令和3年度の方針及び今後の取組の方向	令和4年度の方針																		
<p>【指標の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エコスタッフ養成者数(人)〔累計〕 <b>概ね達成</b></li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>407</td> <td>447</td> <td>487</td> <td>527</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>329</td> <td>403</td> <td>425</td> <td>463</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向】</p> <p>①セミナー周知先企業が新型コロナウイルス感染症への予防対策に重点を置いたため、目標は概ね達成となった。</p> <p>②次年度の開催に当たっては、より多数の企業の参加に向け、本庁主管課及び主催団体(資源循環協会)と連携を図っていく必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		407	447	487	527	実績	329	403	425	463	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコスタッフ養成セミナーの開催やいわて地球環境にやさしい事業所の認定に取り組み、多量排出事業者の地球温暖化防止の取組を支援</li> <li>・エコドライブ講習の実施等により、県民や事業者、行政が連携した地域ぐるみの省エネ活動等を推進</li> </ul>
	現状値	2019	2020	2021	2022														
目標		407	447	487	527														
実績	329	403	425	463	—														
<p>【指標の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物排出事業者等説明会への参加企業数(社)〔累計〕 <b>概ね達成</b></li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>2,008</td> <td>2,738</td> <td>2,463</td> <td>2,870</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>836</td> <td>1,769</td> <td>2,056</td> <td>2,159</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向】</p> <p>①一部の対象企業がウェブセミナー形式での実施に対応できなかったことも一因となり、目標は概ね達成となった。</p> <p>②次年度の開催に当たっては、より多数の企業の参加に向け、本庁主管課及び主催団体(資源循環協会)と連携を図っていく必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		2,008	2,738	2,463	2,870	実績	836	1,769	2,056	2,159	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリーンいわて行動の日の実施や産業廃棄物排出事業者等説明会の開催等により、廃棄物の3Rを基調とするライフスタイルの定着や環境に配慮した事業活動を促進</li> <li>・廃棄物合同パトロールの実施や産業廃棄物適正処理指導員による事業者への適正処理指導の実施等により、不法投棄対策を推進</li> </ul>
	現状値	2019	2020	2021	2022														
目標		2,008	2,738	2,463	2,870														
実績	836	1,769	2,056	2,159	—														
<p>【指標の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・排水基準適用の事業場(製造業)における排水基準適合率(%) <b>概ね達成</b></li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>95</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向】</p> <p>①一時排水基準不適合となった事業所があったが、適切な改善指導の結果、目標は概ね達成となった。</p> <p>②引き続き、水生生物調査等の支援や早池峰地域等の環境保全対策の推進に取組む必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		100	100	100	100	実績	100	100	100	95	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、水生生物調査等の支援や早池峰地域等の環境保全対策の推進に取り組むほか、河川等の環境保全に向け流域協議会を開催する等、多様な主体が連携した地域全体での環境保全活動の活性化に向けた取組を実施</li> <li>・工場等への採水検査及び立入指導を実施し事業場排水の適正化を推進するとともに、公共用水域及び地下水の水質測定を実施</li> </ul>
	現状値	2019	2020	2021	2022														
目標		100	100	100	100														
実績	100	100	100	95	—														

令和3年度取組状況・評価及び令和4年度取組方針

具体的推進方策	令和3年度取組内容(実施計画)	令和3年度取組状況
④野生鳥獣等の適正な保護管理	<p>(1) 関係機関との情報交換会の開催等 ○ツキノワグマ管理協議会の開催 ○県南地域野生鳥獣被害防止対策連絡会への出席</p> <p>(2) 新規狩猟免許所得希望者の拡充 ○普及啓発用チラシによる普及啓発 ○新規免許取得希望者向けセミナーの開催</p> <p>(3) モデル地域におけるツキノワグマ防除対策の推進 ○北上市のモデル地域における防除対策実施の効果等検証 ○モデル地域住民へのクマ防除対策への啓発</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ツキノワグマ管理協議会の開催 本局：9月書面開催、花巻（3月）・一関（1月）：書面開催</li> <li>県南地域野生鳥獣被害防止対策連絡会(10/21)</li> <li>各部及び各市町主催会議等での普及啓発 奥州市鳥獣被害対策協議会、金ケ崎町鳥獣被害対策協議会、シイタケ会議等でチラシ配布等により周知実施</li> <li>狩猟の担い手確保研修会（自然保護課）→中止</li> <li>狩猟免許試験（新規） 7/11、9/12、12/12実施 →新規狩猟免許取得者 166名 （うち第1種銃猟免許取得者 53名）</li> <li>モデル地域におけるツキノワグマ防除対策</li> <li>ツキノワグマ出没状況調査の実施 （6/22センサーカメラ設置→調査終了）</li> <li>地域のクマ出没情報収集（8月～12月）</li> </ul>
⑤人と動物が共生する社会の実現に向けた取組	<p>(1) 猫の譲渡の推進 ○猫の譲渡会の開催 ○猫の譲渡希望者の募集・登録</p> <p>(2) 動物愛護思想の普及啓発 ○犬、猫の飼い主への指導 ○動物取扱業者や特定動物飼養者への指導</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ねこ譲渡会開催（花巻 17回、一関 4回）</li> <li>譲渡希望者の募集等 HP掲載やコミュニティーFMの活用による譲渡希望者募集や啓発を実施 （奥州：5月～9月、番組14回、CM59回）</li> <li>動物愛護思想の普及啓発</li> <li>FMラジオによる「犬や猫の適正飼養」に関する啓発CMの実施（奥州：59回、一関24回）</li> <li>FMラジオによる「適正飼養」に関するコーナー放送（本局：14回）</li> <li>動物取扱業者への指導 150回（121施設）実施</li> </ul>
⑥食の安全と安心の取組の推進	<p>(1) 関係機関との協働による営業者への指導及びHACCPに基づく衛生管理の普及 ○食品営業施設への立入監視及びHACCP衛生管理計画策定状況の確認 ○収去検査の実施 ○食中毒予防に向けた事業者指導の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食品事業者への立入検査及びHACCP衛生管理計画策定状況の確認 4,865件</li> <li>収去検査 119件</li> <li>衛生管理計画作成ワークショップの開催及び衛生管理宣言ステッカーの交付 40回</li> </ul>

令和3年度の評価及び今後の取組の方向	令和4年度取組方針																		
<p>【指標の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新規狩猟免許取得件数（件）〔累計〕 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">達成</span></li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>316</td> <td>416</td> <td>660</td> <td>796</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>116</td> <td>352</td> <td>524</td> <td>690</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>新規免許取得希望者向けセミナーは新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催を中止したが、新規狩猟免許取得希望者の拡充に向けた普及啓発用チラシの作成・配布等の取組により、目標を達成することができた。</li> <li>関係機関との連携と狩猟免許の取得を推進し、野生鳥獣等の保護管理に継続して取り組む必要がある。</li> </ol>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		316	416	660	796	実績	116	352	524	690	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、ツキノワグマ管理協議会の開催等により関係機関との情報共有等を実施</li> <li>農政部、林務部と連携し、野生鳥獣被害防止に向けたチラシの作成やセミナー開催等を実施</li> <li>地域住民参加によるクマ被害防止のためのモニタリング調査やワークショップの開催等により、住民参加型のクマ被害防止対策を実施</li> </ul>
	現状値	2019	2020	2021	2022														
目標		316	416	660	796														
実績	116	352	524	690	—														
<p>【指標の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>猫の譲渡会の開催回数（回）〔累計〕 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">概ね達成</span></li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>20</td> <td>30</td> <td>98</td> <td>126</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>—</td> <td>49</td> <td>70</td> <td>97</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>【評価及び今後の取組の方向】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>HP掲載やコミュニティーFMの活用による譲渡希望者募集や猫の適正飼養に関する啓発を実施し、目標は概ね達成となった。</li> <li>猫の譲渡会の開催及び動物愛護思想の普及啓発に継続して取り組む必要がある。</li> </ol>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		20	30	98	126	実績	—	49	70	97	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>県南広域局本局及び花巻、一関各センターが連携し、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した猫の譲渡会を開催するほか、HPやSNS、コミュニティーFMの活用等による猫の譲渡希望者募集やミルクボランティアの普及啓発に取り組み、保護猫の譲渡を推進</li> <li>シンポジウム「県南ねこ会議」の開催や動物いのちの授業を開催する等、適正飼養の推進及び動物愛護思想の普及啓発を推進</li> <li>動物愛護管理法の改正施行（6月）を踏まえ、不適正な動物取扱業者に対し定期的な立入を実施する等、指導強化を実施</li> </ul>
	現状値	2019	2020	2021	2022														
目標		20	30	98	126														
実績	—	49	70	97	—														
<p>【指標の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>HACCP衛生管理計画を策定している食品営業施設の割合（%）（令和4年6月頃確定見込み） <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">集計中</span></li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>10</td> <td>40</td> <td>70</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>—</td> <td>9</td> <td>39</td> <td>集計中</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>【評価及び今後の取組の方向】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>食品衛生協会等と連携して食品事業者への立入検査やHACCP衛生管理計画策定ワークショップの開催等に取り組んだ。</li> <li>食品取扱施設の立入検査等による食中毒の予防、HACCPに沿った衛生管理の制度化の徹底に継続して取り組む必要がある。</li> </ol>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		10	40	70	100	実績	—	9	39	集計中	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>HACCPに沿った衛生管理の制度化について一層の普及啓発を図るため、引き続き立入検査による指導を実施するほか、県事業によるワークショップの開催、責任者講習等の実施及び実務者講習の際の演習を実施</li> </ul>
	現状値	2019	2020	2021	2022														
目標		10	40	70	100														
実績	—	9	39	集計中	—														

令和3年度の取組状況・評価及び令和4年度の取組方針

具体的推進方策	令和3年度の取組内容(実施計画)	令和3年度の取組状況																															
⑦災害に強い道路ネットワークの構築	(1) 橋梁の耐震補強や法面防災点検等の結果を踏まえた対策など、緊急輸送道路の防災機能強化の推進 ・国道397号 小谷木橋 (奥州市) ・花巻停車場花巻温泉郷線 落合橋 (花巻市) において事業を実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道397号 小谷木橋が5/31に開通</li> <li>・落合橋の耐震化工事完了 (R3.12)</li> </ul>																															
	<p>(1) 水位周知河川の指定を推進 ○遠野市小鳥瀬川の指定</p> <p>(2) 洪水浸水想定区域の指定を推進 ○令和4年度における花巻市稗貫川の指定に向けた関係者との調整・準備</p> <p>(3) 土砂災害警戒区域の指定を推進 ○管内8市町のうち6市町は指定完了、残る奥州市、一関市について今年度内の指定完了を目標</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【参考：一般国道107号大石地区斜面変状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R3.5.1地震後の点検にて変状を確認。同日通行止めとした。</li> <li>・国の専門家等の助言を得ながら、ボーリング調査等を実施。地すべりの範囲を特定。</li> <li>・現在、崩落抑制のための押さえ盛土工事を実施中。</li> <li>・仮橋(鋼管杭)製作工事を契約。</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たに下記河川を指定(小鳥瀬川(遠野市))</li> <li>・近年、全国各地で激甚化、多発化する豪雨災害にかんがみ、関係者との調整の結果、指定年度を令和3年度に見直し 胆沢川を6/29に追加指定 稗貫川を2/4に指定</li> <li>・新たに下記河川を3/22に追加指定 小鳥瀬川(遠野市) 人首川(奥州市) 千厩川(一関市) 大川(一関市)</li> <li>・指定に向けて6月から9月にかけて住民説明会を実施済 *一関市 55箇所指定済 *奥州市 229箇所指定済 計284箇所指定済</li> <li>・年度末の指定状況</li> </ul> <p style="text-align: right;">単位：箇所</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>日時</th> <th>10/19</th> <th>11/5</th> <th>12/17</th> <th>12/24</th> <th style="color: red;">2/22</th> <th>計</th> <th>残</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市町</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>奥州市</td> <td>206</td> <td></td> <td>23</td> <td></td> <td></td> <td>229</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一関市</td> <td></td> <td>50</td> <td></td> <td>4</td> <td style="color: red;">1</td> <td>55</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	日時	10/19	11/5	12/17	12/24	2/22	計	残	市町								奥州市	206		23			229	0	一関市		50		4	1	55
日時	10/19	11/5	12/17	12/24	2/22	計	残																										
市町																																	
奥州市	206		23			229	0																										
一関市		50		4	1	55	0																										
⑧ハード・ソフトを組み合わせた防災・減災対策及び危機管理対策																																	

令和3年度の評価及び今後の取組の方向	令和4年度の取組方針																																																						
<p>【指標の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急輸送道路等における耐震化完了橋梁数(橋)〔累計〕<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">達成</span></li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;"></td> <td>2</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>—</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>7</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>【評価及び今後の取組の方向】</p> <p>①計画通りに事業を実施し、目標を達成することができた。 令和3年度完了：国道397号小谷木橋、 花巻停車場花巻温泉郷線 落合橋</p> <p>②引き続き緊急輸送路の橋梁の耐震化を推進する必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		2	5	6	7	実績	—	3	5	7	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急輸送路の橋梁の耐震化を推進</li> </ul>																																				
	現状値	2019	2020	2021	2022																																																		
目標		2	5	6	7																																																		
実績	—	3	5	7	—																																																		
<p>【指標の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県管理河川における水位周知河川の指定河川数(河川)〔累計〕<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">達成</span></li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;"></td> <td>13</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>7</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>14</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向】</p> <p>①小鳥瀬川改良復旧事業の進捗状況に合わせて指定時期を見直したことにより、今年度指定はなかったが、目標を達成することができた。</p> <p>②予定時期の指定に向けて関係者との調整等を行う必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県管理河川における想定最大規模の降雨に対応した洪水浸水想定区域の指定河川数(河川)〔累計〕<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">達成</span></li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;"></td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>1</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>13</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向】</p> <p>①関係機関と調整により、目標を達成することができた。</p> <p>②今後の指定河川増に向けて、引き続き関係者との調整を行う必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土砂災害警戒区域等指定箇所数(箇所)〔累計〕<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">達成</span></li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;"></td> <td>2,270</td> <td>2,480</td> <td>2,700</td> <td>2,900</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>1,840</td> <td>2,700</td> <td>3,367</td> <td>3,651</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向】</p> <p>①適切な進捗管理により、計画以上に指定することができ目標を達成することができた。 令和3年完了市町：奥州市、一関市(全6市町完了)</p> <p>②今後は、土砂災害警戒区域に指定された箇所の変状状況を把握していく必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		13	14	14	14	実績	7	13	13	14	—		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		7	7	7	8	実績	1	7	7	13	—		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		2,270	2,480	2,700	2,900	実績	1,840	2,700	3,367	3,651	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水位周知の適正な運用</li> <li>・今後の指定河川増に向けて、引き続き浸水想定区域図の作成や関係者との調整の実施</li> <li>・今後は、土砂災害警戒区域に指定された箇所の変状の状況の把握</li> </ul>
	現状値	2019	2020	2021	2022																																																		
目標		13	14	14	14																																																		
実績	7	13	13	14	—																																																		
	現状値	2019	2020	2021	2022																																																		
目標		7	7	7	8																																																		
実績	1	7	7	13	—																																																		
	現状値	2019	2020	2021	2022																																																		
目標		2,270	2,480	2,700	2,900																																																		
実績	1,840	2,700	3,367	3,651	—																																																		

令和3年度の取組状況・評価及び令和4年度の取組方針

具体的 推進方策	令和3年度の取組内容(実施計画)	令和3年度の取組状況
<p>⑧ハード・ソフトを組み合わせた防災・減災対策及び危機管理対策</p>	<p>(4) 自然災害や鳥インフルエンザ等の発生に備え、関係機関等と連携した取組を推進する。 ○県本部等主催訓練等の実施</p>	<p>○自然災害</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・非常連絡態勢確認訓練の実施(4/26、9/4)</li> <li>・令和3年度岩手県総合防災訓練(会場:北上市・西和賀町)に向けた、関係機関等による打合せへの参加(4/9、21、5/19、6/3、22、7/16、8/2、19)</li> <li>・令和3年度岩手県総合防災訓練参加(9/4)</li> <li>・総合防災訓練検証会(10/22)</li> <li>・気象警報発令時の災害対策・警戒本部地方支部設置(～3/31まで( )内は災害対策本部の設置日数) 奥州22日(大雨洪水 9、暴風・暴風雪6、地震5(1)、台風2) 花巻29日(大雨洪水14、暴風・暴風雪7、地震6(1)、台風2) 一関21日(大雨洪水 6、暴風・暴風雪7、地震6(2)、台風2) 計 延72日(4)(前年同期:54日(1))</li> </ul> <p>○鳥インフルエンザ等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宮城県北部に所在する東部地方振興事務所登米地域事務所等と担当者連絡先の確認</li> <li>・基礎研修実施(11/2～25 音声等配信)</li> <li>・鳥インフルエンザ等研修会実施(12/10)</li> <li>・青森県三戸町における鳥インフルエンザ発生事案に係る消毒作業支援班員の動員等に対応(12/11～12/29終了)</li> <li>・宮城県における豚熱発生関連事案は、農林水産部出先チームを含め、県南局に在籍する職員チームによる消毒作業支援班員の動員はなかった。(12/24～)(防疫作業は12/26終了)</li> <li>・久慈市で鳥インフルエンザ発生。県南局チーム(農林水産部出先チームを含む)の防疫作業支援班員は、殺処分、埋却処分、消毒ポイントの消毒作業に参加(2/11～3/8県対策本部廃止)</li> <li>・地方支部マニュアルの見直しを検討</li> </ul>
	<p>(5) 火山防災対策に係る関係機関との情報共有や、連携強化を推進する。 ○関係機関等と現地調査等の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栗駒山現地調査(5/25、10/19実施)(一関総務センター参加)</li> <li>・栗駒山火山防災協議会第2回火山ガス対策専門部会(11/22・Web傍聴)</li> <li>・栗駒山火山防災協議会(12/24・書面協議)(一関総務センター対応)</li> <li>・一関市防災会議(12/21・書面協議)(一関総務センター対応)</li> <li>・栗駒山火山防災協議会幹事会(2/16・Web会議)(欠席)</li> </ul>

令和3年度の評価及び今後の取組の方向	令和4年度の取組方針
<p>【評価及び今後の取組の方向】</p> <p>①岩手県総合防災訓練においては、防災課ほか市町関係機関との連携を図り、計画どおり実施(訓練参加)することができた。また、気象警報発令・地震発生時には、岩手県災害対策本部奥州地方支部運営要領に基づき地方支部を設置し、的確な情報収集に努めた。</p> <p>②令和4年度においても、地方支部における情報収集対応や連絡態勢の確保に引き続き取り組む必要がある。</p> <p>【評価及び今後の取組の方向】</p> <p>①3地方支部合同の実施訓練等のうち、現地拠点施設設置・運営訓練(実動訓練)を中止した以外は、概ね計画どおりに実施した。</p> <p>②なお、今後も鳥インフルエンザ等の発生に備え、発生時における迅速・円滑な対応を実現するため、引き続き関係機関(市町、業界団体、近隣県等)との連携強化を図っていく必要がある。また、今年度、豚熱疑い事例の発生で明らかとなった課題等を踏まえ、マニュアルの見直しを行う予定であったが、具体的な改訂までには至らなかった。今後は、各班で共有すべき内容をまとめた共通マニュアルを作成し、それを踏まえて総務・調整班マニュアルの見直しを進めることとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気象警報発令・地震発生時における適切な地方支部の対応</li> </ul> <p>【県民くらしの安全課主催】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家畜防疫作業支援班研修(書面開催予定)</li> </ul> <p>【3地方支部合同主催】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎研修(担当:花巻支部)</li> <li>・机上訓練(担当:奥州支部)</li> <li>・現地拠点施設設置・運営訓練(担当:奥州支部)</li> </ul> <p>【各地方支部主催】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援員集合施設候補地確認(選定、レイアウト決定含む)</li> <li>・各班による勉強会や研修の実施</li> </ul> <p>【岩手県建設業協会奥州支部との訓練】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防疫対応実地訓練(訓練内容等は今後協議予定)</li> </ul> <p>【日本建設機械レンタル協会訪問】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連携確認(担当:奥州支部)</li> </ul> <p>【県際自治体との連絡先確認】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所等の担当者との連絡先確認(担当:奥州支部)</li> </ul> <p>【地方支部マニュアルの見直し】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共通マニュアルの作成と、それを踏まえて総務・調整班マニュアルの見直しを行う。</li> </ul>
<p>【評価及び今後の取組の方向】</p> <p>①新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、各種会議が書面協議又はWeb形式に変更となったが、概ね計画どおりに実施した。</p> <p>②火山防災対策に係る関係機関との情報共有や連携強化を継続して推進する必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栗駒山火山防災協議会への参加</li> <li>・栗駒山火山防災協議会による火山ガスの学術的評価及び登山道の安全対策等の検討に参画</li> <li>・復興防災部が実施する栗駒山現地調査等への参加</li> </ul>



令和3年度の取組状況・評価及び令和4年度の方針

具体的推進方策	令和3年度の方針内容(実施計画)	令和3年度の方針状況																																				
⑨安全な通行、歩行者の安全確保のための道路整備の推進	(1) 通学路を中心とした歩道整備の推進 ・国道342号 瑞山(一関市) ・花巻大曲線 志戸平(花巻市) ・岩明岩谷堂線 藤里(奥州市) ・胆沢金ヶ崎線 永沢(金ヶ崎町) ・久田笹長根線 六原(金ヶ崎町) ・若柳花泉線 油島(一関市) において事業を実施	<p>・全箇所において事業実施中</p> <p style="text-align: right;">単位：m</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工区</th> <th>R2まで</th> <th>R3</th> <th>今年度末まで</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>瑞山</td> <td>510</td> <td>230</td> <td>740</td> </tr> <tr> <td>志戸平</td> <td>470</td> <td>40</td> <td>510</td> </tr> <tr> <td>藤里</td> <td>330</td> <td>0</td> <td>330</td> </tr> <tr> <td>水沢</td> <td>50</td> <td>0</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>六原</td> <td>0</td> <td>(今年度は用地買収等)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>油島</td> <td>0</td> <td>130</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>940</td> <td>0</td> <td>940</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,300</td> <td>400</td> <td>2,700</td> </tr> </tbody> </table>	工区	R2まで	R3	今年度末まで	瑞山	510	230	740	志戸平	470	40	510	藤里	330	0	330	水沢	50	0	50	六原	0	(今年度は用地買収等)	0	油島	0	130	130	計	940	0	940	計	2,300	400	2,700
	工区	R2まで	R3	今年度末まで																																		
瑞山	510	230	740																																			
志戸平	470	40	510																																			
藤里	330	0	330																																			
水沢	50	0	50																																			
六原	0	(今年度は用地買収等)	0																																			
油島	0	130	130																																			
計	940	0	940																																			
計	2,300	400	2,700																																			
⑩衛生的で快適な生活環境の確保	(1) いわて汚水処理ビジョン2017に基づく汚水処理施設整備の推進 ○管内8市町において、公共下水道事業や農業集落排水事業を実施	・全市町において事業実施中																																				

令和3年度の評価及び今後の取組の方向	令和4年度の方針																		
<p>【指標の状況】</p> <p>・通学路(小学校)における歩道設置延長(m)〔累計〕<b>達成</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td>—</td> <td>400</td> <td>900</td> <td>1,180</td> <td>3,880</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>—</td> <td>600</td> <td>2,300</td> <td>2,700</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>【評価及び今後の取組の方向】</p> <p>①適切な進捗管理及び事業予算の確保により、計画以上に設置することができ、目標を達成することができた。 令和3年度供用：国道342号 瑞山230m、花巻大曲線 志戸平40m、若柳花泉線 油島130m 計400m</p> <p>②事業の着実な推進に向けて、適切な工事監督業務等により事業の進捗管理を行う必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標	—	400	900	1,180	3,880	実績	—	600	2,300	2,700	—	<p>・事業の着実な推進に向けた、適切な工事監督業務等による事業の進捗管理の実施 花巻大曲線 志戸平(花巻市) 岩明岩谷堂線 藤里(奥州市) 胆沢金ヶ崎線 永沢(金ヶ崎町) 若柳花泉線 油島(一関市)</p>
	現状値	2019	2020	2021	2022														
目標	—	400	900	1,180	3,880														
実績	—	600	2,300	2,700	—														
<p>【指標の状況】</p> <p>・汚水処理人口普及率(%) (令和4年9月頃確定見込み) <b>集計中</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td>—</td> <td>81.7</td> <td>83.0</td> <td>84.4</td> <td>86.0</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>79.6</td> <td>80.9</td> <td>81.7</td> <td>集計中</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向】</p> <p>①集計中 ②普及率の向上に向け、市町と連携して汚水処理施設の整備・普及に取り組む必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標	—	81.7	83.0	84.4	86.0	実績	79.6	80.9	81.7	集計中	—	<p>・普及率の向上に向けた、市町と連携した汚水処理施設の整備・普及</p>
	現状値	2019	2020	2021	2022														
目標	—	81.7	83.0	84.4	86.0														
実績	79.6	80.9	81.7	集計中	—														

圏域の振興施策の基本方向	I 多様な交流が生まれ、一人ひとりが生涯を通じて健やかにいきいきと暮らせる地域						
重点施策	3 一人ひとりがいきいきと生活できるコミュニティをつくります						
〔基本方向〕 国際リニアコライダー（I L C）実現を契機とした地域の国際化を見据え、I L C関係者が地域コミュニティの一員として安心して暮らせるよう、受入態勢整備を進めます。 魅力と活力ある持続可能な地域社会の形成を進めるため、多様な主体が活躍する機会の提供等により、県民一人ひとりが地域の担い手として活躍できるよう取り組むとともに、住民やNPO法人等の多様な主体による地域コミュニティづくりや、市町と県との連携又は市町間の連携などによる広域的な課題への取組を進めます。							
重点指標		現状値	2019	2020	2021	2022	重点指標の動きに対するコメント
県外からの移住・定住者数 （市町報告値・県内移動除く）（人）	目標	/	180	200	220	240	集計中（令和4年6月確定見込み） 2020年の実績値は180人となっています。 今後もセミナー開催等により、移住定住者の増加を目指し、市町と連携して取り組めます。
	実績	146	222	180	集計中	—	
〔基本方向の実現に向けた取組〕 ① 国際リニアコライダー（I L C）関係者等と住民が共に安心して暮らせる環境の整備 ② 持続的な地域コミュニティづくりと人材育成・活躍支援 ③ 移住・定住の促進							

令和3年度の取組状況・評価及び令和4年度の方針

具体的推進方策	令和3年度の方針内容(実施計画)	令和3年度の方針状況
①国際リニアコライダー（ILC）関係者等と住民が共に安心して暮らせる環境の整備	<p>(1) 外国人研究者とその家族などの受入態勢整備 ○医療通訳者養成研修会の開催</p> <p>(2) 国際リニアコライダー（ILC）実現後の多文化共生に関する、住民への理解促進 ○管内市町のKEKへの視察（コロナのため中止） ○国立天文台水沢との図書館合同展示等の実施 ○管内市町との意見交換会の開催</p> <p>(3) 住民への国際リニアコライダー（ILC）の普及啓発 ○中学生向けILCセミナーの開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療通訳者養成研修会の開催（11/27～28 受講者 のべ28名）</li> <li>・管内図書館における国立天文台水沢との企画展示、講演会及びワークショップ 【企画展示】 平泉町(7/7～18)、金ヶ崎町(7/24～8/22)、遠野市(8/6～8/11)、一関市(8/27～9/23)、西和賀町(9/1～9/26)、奥州市(11/5～11/17) 花巻市(1/20～2/2) 【講演会・ワークショップ】 講演会：金ヶ崎町(7/17)、西和賀町(9/22) 花巻市(1/22) ワークショップ：西和賀町(7/29)、遠野市(8/8)</li> <li>・第1回管内市町との意見交換会の開催（12月、3月）※12月は書面開催</li> <li>・中学生向けILCセミナー開催 大迫中学校(6/10 3年生26人) 遠野東中(10/29 2年生41人)</li> </ul>

令和3年度の評価及び今後の取組の方向	令和4年度の方針																		
<p>【指標の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療通訳研修会修了者数（人）[累計] <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">達成</span></li> </ul> <table border="1" data-bbox="1587 241 2160 367"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>40</td> <td>50</td> <td>60</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>32</td> <td>48</td> <td>66</td> <td>78</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向】</p> <p>①新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しながら研修会を開催したことにより、目標を達成することができた。</p> <p>②希少言語（ベトナム語、タガログ語）の受講者が少数であることから、今後とも受講者の確保に配慮しつつ進めるとともに、医療通訳以外の受入体制整備の取組について検討する必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		40	50	60	60	実績	32	48	66	78	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の外国人対応に関するスキルアップ研修会及び新規医療通訳希望者向けの養成研修会の開催</li> <li>・国立天文台水沢との図書館合同展示、講演会・ワークショップ等の実施</li> <li>・管内市町との情報共有・意見交換の実施</li> <li>・中学生向けILCセミナーの開催</li> </ul>
	現状値	2019	2020	2021	2022														
目標		40	50	60	60														
実績	32	48	66	78	—														

具体的 推進方策	令和3年度の取組内容(実施計画)	令和3年度の取組状況
<p>②持続的な地域 コミュニティ づくりと人材 育成・活躍支援</p>	<p>(1) 住民等による自主的な地域課題解決の取組や、市町や県の区域を越えた広域的な課題解決の取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○首長懇談会の開催</li> <li>○副首長懇談会の開催</li> <li>○政策・企画部課長会議の開催</li> <li>○政策課題研究会の開催</li> <li>○岩手・宮城県際連絡会議の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・首長懇談会(中止)</li> <li>・副首長懇談会(7/9Web会議)</li> <li>・政策・企画担当部課長会議(4/14、10/26)</li> <li>・政策課題研究会(2/7)</li> <li>・岩手・宮城の関係地方事務所(R3事務局：宮城県栗原地域事務所)と連携した情報発信(広報誌発行と県HP掲載：4回)、岩手・宮城県際連携会議開催(11/11)</li> </ul>
	<p>(2) 伝統文化・民俗芸能の魅力発信や文化芸術と触れ合う機会の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○県文化芸術コーディネーター(CD)設置による相談、情報収集・発信等への支援</li> <li>○若者文化振興事業費補助金による文化芸術活動の支援と機会の創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県文化芸術CDによる文化団体や施設の活動支援：3月末時点20(法人設立、教室開催、文化施設活用方法等の相談対応等)</li> <li>・CD制度の関係機関への周知・活用依頼(7月)</li> <li>・事業実施希望者への補助金交付 交付決定額：1件 738千円 交付対象者：いわて県南アートプロジェクト 内容：能楽と古流武術体験講座</li> </ul>
	<p>(3) 市町が実施する地域内交通の利用促進等の取組の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各市町の地域公共交通会議へ委員として参画</li> <li>○地域公共交通に関する担当者会議の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域公共交通会議への参画(花巻市6/25・1/11、一関市5/20・9/16・1/26、奥州市6/28・7/28、西和賀町8/6、平泉町9/24・1/18、3/29)</li> </ul>
	<p>(4) 住民や地域おこし協力隊などの自主的活動の支援や、関係人口の創出・拡大に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○仙台圏在住者(社会人)を対象としたワークショップの開催</li> <li>○仙台圏在住学生を対象としたワークショップの開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会人対象ワークショップのオンライン開催(説明会8/18、スクールプログラム9/4、11、25)</li> <li>・学生対象ワークショップの開催 説明会(オンライン)6/10 オリエンテーション・講義(学院大)6/30 ゼミ7月～11月に延べ9回、報告会11/11 自主活動として棚田を活用したデイキャンプの実施(10/31)</li> <li>・社会人・学生を対象とした交流イベントの開催2/17 社会人ワークショップ提案企画のグッズを発表(宮沢賢治作品の食に関するオノマトペをモチーフとした手ぬぐい、和紙(漆塗)を使用した野鳥ブックカバー)</li> </ul>

令和3年度の評価及び今後の取組の方向	令和4年度の取組方針																		
<p>【指標の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活性化イベント等による事業創出数(事業/年) <b>達成</b></li> </ul> <table border="1" data-bbox="1587 283 2151 378"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>—</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>【評価及び今後の取組の方向】</p> <p>①仙台圏在住者を対象としたワークショップ実施の結果、社会人においては参加者による岩手県南地域への興味関心を誘発するグッズの制作が、大学生においては参加者による課題解決に向けた現地での活動が行われ、目標を達成することができた。</p> <p>②引き続き市町や地域づくり団体、地域外の人材などと連携し、活力ある持続可能な地域社会の形成を図る必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		2	2	2	2	実績	—	2	2	2	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・首長懇談会の開催(5/23)</li> <li>・副首長懇談会の開催(7/6)</li> <li>・政策・企画部課長会議の開催(第1回4月、第2回10月)</li> <li>・政策課題研究会(南いわて移住定住戦略会議)の開催(第1回4月、第2回6月、第3回9月、第4回11月、第5回2月)</li> <li>・岩手・宮城県際連携会議への参画</li> <li>・文化芸術コーディネーター等関係機関と連携した活動支援と情報発信</li> <li>・管内の団体や関係機関への新型コロナ対策関連を含む支援情報の提供(補助金等支援制度の周知)</li> <li>・各市町の地域公共交通会議へ委員として参画</li> <li>・仙台圏在住の社会人・学生を対象としたワークショップの開催</li> </ul>
	現状値	2019	2020	2021	2022														
目標		2	2	2	2														
実績	—	2	2	2	—														

令和3年度の取組状況・評価及び令和4年度の取組方針

具体的 推進方策	令和3年度の取組内容(実施計画)	令和3年度の取組状況
③移住定住の促進	<p>(1) 市町と連携した県南圏域の魅力の発信 ○U・Iターン相談会における情報提供</p> <p>(2) 移住者が安心して活躍できる環境の整備 ○情報交換会の開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県南地区移住定住推進担当者意見交換会(7/27、1/26)の開催</li> <li>・南いわて暮らしセミナー(10/30)の開催</li> <li>・商工団体総会での働き方改革運動や移住支援金制度等のリーフレット配布(奥州商工会議所、花巻商工会議所)</li> <li>・就業支援員等による事業所訪問時のリーフレット配布</li> <li>・県南地区移住定住推進担当者意見交換会(7/27、1/26)開催(再掲)</li> <li>・振興局と定雇室との意見交換会(9/13)での次年度事業に係る調整実施</li> </ul>

令和3年度の評価及び今後の取組の方向	令和4年度の取組方針																		
<p>【指標の状況】</p> <p>・市町村窓口・移住相談会等における移住相談受付数(人) (令和4年6月頃確定見込み) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">集計中</span></p> <table border="1" data-bbox="1558 304 2160 424"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td>700</td> <td>700</td> <td>700</td> <td>700</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>650</td> <td>950</td> <td>879</td> <td>(1,260)</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値、( )内は速報値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向】</p> <p>①新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、セミナーをオンライン開催する等実施方法を工夫しながら取組を進めた結果、圏域への移住に関する関心を喚起することができ、目標を達成する見込みである。</p> <p>②引き続き圏域での仕事と暮らしの魅力を広く発信するとともに、移住者受入の環境整備を図る必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標	/	700	700	700	700	実績	650	950	879	(1,260)	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町・関係団体等との連携による移住促進セミナー開催、既存情報発信ツール活用等、圏域の魅力発信の一層の強化</li> <li>・人材確保対策と移住定住対策を一体的に取り組むための関係機関等連携体制の構築、転出要因及び転入要因の把握分析、並びに圏域への移住定住促進モデル事業の検討</li> </ul>
	現状値	2019	2020	2021	2022														
目標	/	700	700	700	700														
実績	650	950	879	(1,260)	—														

圏域の振興施策の基本方向	Ⅱ 世界に誇れる産業の集積を進め、岩手で育った人材が地元で働き定着する地域						
重点施策	4 ものづくり産業の集積を進め、競争力を高めます						
〔基本方向〕 世界に通用する技術力・競争力を持ったものづくり産業を支える人材の確保・育成のため、北上川流域ものづくりネットワークや大学等の教育機関などと連携し、企業をけん引する能力の高い人材の育成の取組を支援します。 地域企業の競争力強化を図るため、ものづくり産業の技術力の強化やQCD（品質、コスト、納期）水準の向上の取組を支援するとともに、産業の更なる集積を図るため、自動車や半導体関連産業などへの新規参入や取引拡大などの取組を進めます。 新たな産業の形成や生産性の向上を図るため、産学官連携により国際リニアコライダー（ILC）の関連技術や第4次産業革命（IoT等）の新技术を活用した取組を支援します。また、次世代自動車関連の研究開発を図るため、高度技術者の育成の取組を支援します。 南部鉄器等の伝統産業の振興を図るため、若手の経営者や工芸家等の育成や技術の継承、伝統の技術を生かした新商品開発の支援、商品力やブランドなどの「強み」を生かした販売機会の創出やあらゆる機会を利用した魅力の発信に取り組みます。 工業製品等の輸送の利便性を向上させ産業振興を支援するため、工業団地が集積する内陸部と港湾等を結ぶ路線など、物流の基盤となる道路整備を推進します。							
重点指標		現状値	2019	2020	2021	2022	重点指標の動きに対するコメント
ものづくり関連分野（輸送用機械、半導体製造装置、電子部品・デバイス等）の製造品出荷額（億円）	目標		13,700 (2018)	14,100 (2019)	14,500 (2020)	14,900 (2021)	集計中(令和4年6月末確定見込み) 2020年(2019年)の実績値は14,917億円となっています。 今後も地域企業の技術力向上や人材育成に向けて取り組みます。
	実績	12,910 (2016)	15,631 (2018)	14,917 (2019)	集計中	—	
東北地域ものづくり関連分野の製造品出荷額における県南地域のシェア（%）	目標		13.5 (2018)	14.0 (2019)	14.5 (2020)	15.0 (2021)	集計中(令和4年8月末確定見込み) 2020年(2019年)の実績値は13.6%となっています。 今後も自動車・半導体関連産業への新規参入や、第4次産業革命（IoT等）の新技术を活かした取組を行います。
	実績	12.6 (2016)	13.7 (2018)	13.6 (2019)	集計中	—	
〔基本方向の実現に向けた取組〕 ① 地域企業の技術力向上及び技術革新を含めた生産性向上の支援 ② 自動車・半導体関連産業への一層の参入促進及び国際リニアコライダー（ILC）の関連技術や第4次産業革命（IoT等）の新技术を活用した取組の支援 ③ 伝統産業の魅力発信 ④ 産業を振興する道路整備の推進							

令和3年度の取組状況・評価及び令和4年度の取組方針

具体的推進方策	令和3年度の取組内容(実施計画)	令和3年度の取組状況
①地域企業の技術力向上及び技術革新を含めた生産性向上の支援	(1) QCD能力向上等のための研修を実施 ○ものづくり人材育成講座(集合研修)の開催(年間計画13回(13講座)) ○オーダーメイド研修実施(募集枠5社)	・ものづくり人材育成講座(集合研修)開催(13回168人、11/25 IATF16949規格解説セミナー、12/16 ISO13485規格解説セミナー他実施) ・オーダーメイド研修実施(5社実施83人受講)
②自動車・半導体関連産業への一層の参入促進及び国際リニアライダー(ILC)の関連技術や第4次産業革命(IoT等)の新技术を活用した取組の支援	(1) 自動車や半導体関連産業などへの新規参入、企業間の取引拡大及び、サプライチェーンの構築 ○アドバイザーによる企業訪問(指導) ○現場改善・品質管理実践指導 ○ものづくり企業下請法講座の開催(年3回程度) (2) 第4次産業革命(IoT等)の新技术の導入事例の横展開 ○IoT導入支援セミナー等の開催 ○IT人材とものづくり企業のマッチング支援	・アドバイザーによる企業訪問(4回8/4、10/25、11/10、12/15) ・現場改善・品質管理実践指導(2回11/11、12/16) ・ものづくり企業下請法講座開催(第1回5/21、第2回7/30、第3回10/29)  ・経営課題解決IoT活用セミナー開催(Web)(9/17) ・個別支援(専門家派遣等)(6回)
③伝統産業の魅力発信	(1) 「いわて県南エリア伝統工芸協議会」の活動支援 ○デザイン、販路拡大、商品開発等のセミナー開催支援 (2) 「オープンファクトリー五感市」の開催支援 ○オープンファクトリー五感市実行委員会に参画し、五感市の発展拡大を支援	・いわて県南エリア伝統工芸協議会役員打合せ出席 ・ライブコマース入門セミナー(2/10)開催補助  ・五感市オンラインツアー(8/23)開催補助 ・オープンファクトリー五感市実行委員会役員会への出席、実施事業の調整(オープンファクトリー周遊型は中止、中止に伴うメッセージ動画等制作を補助)

令和3年度の評価及び今後の取組の方向	令和4年度の取組方針																		
<p>【指標の状況】</p> <p>・生産管理関連講座受講者数(人)〔累計〕<u>達成</u></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>1,600</td> <td>1,800</td> <td>2,000</td> <td>2,200</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>1,184</td> <td>1,643</td> <td>1,858</td> <td>2,109</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向】</p> <p>①新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しながら、研修会等生産性向上の取組を実施したことにより、目標を達成することができた。 ②引き続き、ものづくり企業の人材育成について、講座の内容を見直ししながら取り組む必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		1,600	1,800	2,000	2,200	実績	1,184	1,643	1,858	2,109	—	<p>・ものづくり人材育成講座(集合研修)開催(13回(13講座)) ・オーダーメイド研修実施(5社実施)</p>
	現状値	2019	2020	2021	2022														
目標		1,600	1,800	2,000	2,200														
実績	1,184	1,643	1,858	2,109	—														
<p>【指標の状況】</p> <p>・管内ものづくり企業の新規受注件数(件)〔累計〕<u>概ね達成</u></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>240</td> <td>275</td> <td>310</td> <td>345</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>168</td> <td>226</td> <td>268</td> <td>301</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向】</p> <p>①新型コロナウイルス感染拡大の影響による移動等の制限がある中、優先度に応じた対応やオンラインの活用など、効率・効果的な訪問指導を実施したことにより、目標は概ね達成となった。 ②現場改善の進捗に合わせた定期的な訪問を計画しつつ、柔軟なスケジューリングを行うなど、感染拡大状況に合わせて取り組む必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		240	275	310	345	実績	168	226	268	301	—	<p>・アドバイザーによる企業訪問(指導) ・現場改善・品質管理実践指導 ・ものづくり企業下請法講座の開催  ・経営課題解決IoT活用セミナー等の開催 ・IT人材とものづくり企業のマッチング支援</p>
	現状値	2019	2020	2021	2022														
目標		240	275	310	345														
実績	168	226	268	301	—														
<p>【指標の状況】</p> <p>・伝統産業の各種イベント(オープンファクトリー等)への来場者数(人)〔累計〕<u>概ね達成</u></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>4,000</td> <td>6,000</td> <td>4,000</td> <td>6,000</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>—</td> <td>3,966</td> <td>(9,071)</td> <td>3,966</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>( )内は参考値(ONLINE五感市サイトのページビュー数と動画再生回数)であり、実績には含まない</p> <p>【評価及び今後の取組の方向】</p> <p>①新型コロナウイルス感染症拡大防止により、令和3年度の周遊型のオープンファクトリー五感市は中止となった。コロナ禍を受けての目標値の見直しにより、目標は概ね達成となった。 ②伝統産業の更なる認知度の向上や魅力発信、来場者数の増加に取り組む必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		4,000	6,000	4,000	6,000	実績	—	3,966	(9,071)	3,966	—	<p>・デザイン、販路拡大、商品開発等のセミナー開催支援  ・オープンファクトリー五感市実行委員会に参画し、オープンファクトリー五感市開催のほか、通年での製作体験受入れの取組等を支援</p>
	現状値	2019	2020	2021	2022														
目標		4,000	6,000	4,000	6,000														
実績	—	3,966	(9,071)	3,966	—														

令和3年度の取組状況・評価及び令和4年度の取組方針

具体的 推進方策	令和3年度の取組内容(実施計画)	令和3年度の取組状況																						
④産業を振興する道路整備の推進	(1) 工業団地が集積する内陸部と港湾等を結ぶアクセス道路などの広域的な物流の効率化につながる道路整備や内陸部の工業・物流団地間相互やインターチェンジを結び、生産性の向上につながる道路整備の推進 ・国道342号 白崖（一関市） ・国道397号 小谷木橋（奥州市） ・一関北上線 谷地（奥州市）	・全箇所において事業実施中 ・国道397号 小谷木橋が5/31に開通 ・国道342号 白崖が3/29に全線供用開始 単位：m																						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>工区</th> <th>R2まで</th> <th>R3</th> <th>今年度末まで</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>白崖</td> <td>1,830</td> <td>610</td> <td>2,440</td> </tr> <tr> <td>小谷木</td> <td>400</td> <td>1,020</td> <td>1,420</td> </tr> <tr> <td>谷地</td> <td>0</td> <td>(今年度は用地買収等)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>完了路線</td> <td>11,020</td> <td>0</td> <td>11,020</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>13,250</td> <td>1,630</td> <td>14,880</td> </tr> </tbody> </table>	工区	R2まで	R3	今年度末まで	白崖	1,830	610	2,440	小谷木	400	1,020	1,420	谷地	0	(今年度は用地買収等)	0	完了路線	11,020	0	11,020	計	13,250
工区	R2まで	R3	今年度末まで																					
白崖	1,830	610	2,440																					
小谷木	400	1,020	1,420																					
谷地	0	(今年度は用地買収等)	0																					
完了路線	11,020	0	11,020																					
計	13,250	1,630	14,880																					

令和3年度の評価及び今後の取組の方向	令和4年度の取組方針																		
<p>【指標の状況】</p> <p>・物流の基盤となる道路整備延長（m）〔累計〕 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">達成</span></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td>1,250</td> <td>9,470</td> <td>14,880</td> <td>15,400</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td>4,220</td> <td>13,250</td> <td>14,880</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table> <p>【評価及び今後の取組の方向】</p> <p>①適切な進捗管理及び事業予算の確保により、計画以上に整備を進め、目標を達成することができた。                      令和3年度供用：国道397号 小谷木橋 1,020m、                      国道342号 白崖 610m                      供用延長計 1,630m</p> <p>②事業の着実な推進に向けて、適切な工事監督業務等により事業の進捗管理を行う必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標	/	1,250	9,470	14,880	15,400	実績	-	4,220	13,250	14,880	-	・事業の着実な推進に向けた、適切な工事監督業務等による事業の進捗管理 一関北上線 谷地（奥州市）
	現状値	2019	2020	2021	2022														
目標	/	1,250	9,470	14,880	15,400														
実績	-	4,220	13,250	14,880	-														



圏域の振興施策の基本方向	Ⅱ 世界に誇れる産業の集積を進め、岩手で育った人材が地元で働き定着する地域						
重点施策	5 ライフスタイルに応じた新しい働き方ができる環境づくりと人材育成による地元定着を促進します						
<p>〔基本方向〕</p> <p>安定的な雇用の確保と、ライフスタイルに応じた新しい働き方ができる雇用・労働環境の整備を促進し、地域の産業人材の確保・育成・定着を図るため、企業・事業所における働き方改革や人材育成の取組を支援します。</p> <p>地域企業についての理解促進や、働くことへの意識醸成のための小中学生を対象としたキャリア教育を実施するとともに、ものづくり産業を支える人材の育成に向けた高校生から社会人までの技術及び技能の向上に資する取組を実施します。</p> <p>また、高校生、大学生、教員、保護者等に対する地域企業等についての理解促進の取組と魅力発信を行い、若者の県内就職を促進します。</p> <p>多くの人が活躍できる社会の実現と人材確保のため、県と関係機関が連携し、あらゆる働く意欲のある人の就業促進や地元定着を支援するとともに、県外からの就職希望者等に向けた南いわての暮らしや仕事についての情報発信を行います。</p>							
重点指標		現状値	2019	2020	2021	2022	重点指標の動きに対するコメント
県南圏域高校生の管内就職率(%)	目標		85.0	85.0	85.0	85.0	<b>集計中</b> （令和4年8月頃確定見込み） 2021年は目標を概ね達成する見込みです。今後も児童生徒をはじめ、保護者や教員に地域企業の魅力を知ってもらう取組を進めていきます。
	実績	63.9	64.7	67.8	集計中	—	
<p>〔基本方向の実現に向けた取組〕</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 人材確保に向けた地域企業や事業所の魅力向上</li> <li>② 若者の職業意識、地元志向の醸成</li> <li>③ 地域企業の理解促進や高校生の資格取得支援</li> <li>④ 企業を支える人材の育成</li> <li>⑤ 移住・定住の促進</li> </ol>							

令和3年度の取組状況・評価及び令和3年度取組方針

具体的推進方針	令和3年度取組内容(実施計画)	令和3年度取組状況
①人材確保に向けた地域企業や事業所の魅力向上	(1) 働き方改革の取組や労働条件の改善に向けた産業関係団体や企業への要請 ○市町、公共職業安定所などと連携した要請活動の実施	・要請活動の実施(花巻市5/19、北上市5/23、金ケ崎町5/25、奥州市5/31、一関地区5/21)
	(2) 仕事と子育て、介護等との両立や全ての人が働きやすい環境づくりの推進 ○商工団体会報への働き方改革運動や移住支援金制度等の記事掲載依頼 ○就業支援員等による事業所訪問時のパンフレット配布	・商工団体総会での働き方改革運動や移住支援金制度等のリーフレット配布(奥州商工会議所、花巻商工会議所) ・就業支援員等による事業所訪問時のリーフレット配布
②若者の職業意識、地元志向の醸成	(3) 地域企業が希望する人材の確保への支援 ○「いわて県南広域企業ガイド」の学校等への配架、ホームページ掲載	・「いわて県南広域企業ガイド」更新・学校への配架。HP掲載情報の更新(3月末現在182社)
	(4) 地域企業の採用力向上の取組への支援 ○「採用力向上のための勉強会」の開催	・「採用力向上のための勉強会」の開催 高卒採用編(第1回(4/21)15社18名、第2回(5/18)14社16名)、大卒採用編(11/30、20社24名)
①新規高卒者の就職や職場定着の支援	(1) 新規高卒者の就職や職場定着の支援 ○就業支援員、県内就業・キャリア教育コーディネーター(以下、「就業支援員等」という。)による求人情報の収集及び職場定着支援の実施	・就業支援員等による職場定着支援を実施(定着支援件数:507件(3月末現在))
	(2) 小中学生、高校生向けの出前授業等を通じた若者の職業意識の醸成 ○就業支援員等による就職ガイダンスや面接練習等の就職支援 ○地域企業理解に向けた「きたかみ・かねがさきテクノメッセ」の高校生の見学支援 ○地域企業の先輩社員等を講師とした出前授業の開催 ○管内市町と連携した「南いわて地域協働によるキャリア教育研究会」の開催 ○小中学生、高校生等を対象に建設業への理解を深めてもらう「建設業ふれあい事業」の開催	・就業支援員等による高校生の面談や面接練習等の就職支援(学校訪問:1,160件、キャリア教育支援:289件(3月末現在)) ・学校を会場とした企業情報ガイダンスの開催(11/2千厩、11/10水沢工、12/1、12/8一関工) ・一関高専学生と保護者等対象の「地域企業情報ガイダンス」(10/23)開催 ・地域企業の先輩社員等を講師とした出前授業の実施(12/1水沢工) ・「南いわて地域協働によるキャリア教育研究会」の開催(第1回10/20、第2回(書面開催)) (「きたかみ・かねがさきテクノメッセ2021」は感染拡大により中止) ・県南局管内における「建設業ふれあい事業」の開催(7/8西南中、7/14胆沢第一小、10/5室根西小学校、10/28黒沢尻北小学校、10/28一関南小学校、11/16遠野中学校)
(3) U・Iターン希望者への地域企業の情報等の情報提供 ○普通校等を対象とした「いわてで働く!出前授業」の開催 ○「南いわて暮らしセミナー」での企業情報の提供	・普通高校等対象出前授業の開催(6/1花巻北、6/2黒沢尻北、6/17金ケ崎(本庁も自室共催)、6/23大迫、岩谷堂(第1回6/1、第2回10/19)) ・「南いわて暮らしセミナー」の開催(10/30)	

令和3年度の評価及び今後の取組の方向	令和4年度取組方針																																				
<p>【指標の状況】</p> <p>・いわて働き方改革推進運動参加事業所数(社)〔累計〕(令和4年6月頃確定見込み) <span style="float:right">集計中</span></p> <table border="1"> <tr><td></td><td>現状値</td><td>2019</td><td>2020</td><td>2021</td><td>2022</td></tr> <tr><td>目標</td><td></td><td>110</td><td>165</td><td>220</td><td>275</td></tr> <tr><td>実績</td><td>34</td><td>91</td><td>167</td><td>(228)</td><td>—</td></tr> </table> <p>現状値は2017年の値、( )内は速報値</p> <p>・企業ガイド(サイト)閲覧数(回) <span style="float:right">達成</span></p> <table border="1"> <tr><td></td><td>現状値</td><td>2019</td><td>2020</td><td>2021</td><td>2022</td></tr> <tr><td>目標</td><td></td><td>4,000</td><td>4,150</td><td>8,000</td><td>8,000</td></tr> <tr><td>実績</td><td>3,782</td><td>7,439</td><td>8,915</td><td>10,487</td><td>—</td></tr> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向】</p> <p>①いわて働き方改革推進運動参加事業所数については、企業等への要請活動や事業所訪問時に周知を行ったことにより、目標を達成する見込みである。企業ガイド閲覧数については、学校を通じて企業ガイドの周知の機会を多く設けたことにより、目標を達成することができた。</p> <p>②今後も生徒に対し、地域企業の理解促進を図る必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		110	165	220	275	実績	34	91	167	(228)	—		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		4,000	4,150	8,000	8,000	実績	3,782	7,439	8,915	10,487	—	<p>・市町、公共職業安定所等と連携した要請活動の実施</p> <p>・働き方改革運動への参加促進</p> <p>・県南広域振興局人口減少対策連絡会議の設置による、局内関係部との施策実施にかかる調整、情報共有</p> <p>・「いわて県南広域企業ガイド」の学校等への配架、ホームページ掲載、ガイド活用に係る周知</p> <p>・定住推進・雇用労働室と連携した「採用力向上のための勉強会」「雇用・労働フォーラム」の開催</p>
	現状値	2019	2020	2021	2022																																
目標		110	165	220	275																																
実績	34	91	167	(228)	—																																
	現状値	2019	2020	2021	2022																																
目標		4,000	4,150	8,000	8,000																																
実績	3,782	7,439	8,915	10,487	—																																
<p>【指標の状況】</p> <p>・学校を会場とした企業ガイダンス実施支援回数(回) <span style="float:right">やや遅れ</span></p> <table border="1"> <tr><td></td><td>現状値</td><td>2019</td><td>2020</td><td>2021</td><td>2022</td></tr> <tr><td>目標</td><td></td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td></tr> <tr><td>実績</td><td>1</td><td>4</td><td>6</td><td>3</td><td>—</td></tr> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>・キャリア教育支援件数(件) <span style="float:right">概ね達成</span></p> <table border="1"> <tr><td></td><td>現状値</td><td>2019</td><td>2020</td><td>2021</td><td>2022</td></tr> <tr><td>目標</td><td></td><td>180</td><td>180</td><td>350</td><td>350</td></tr> <tr><td>実績</td><td>179</td><td>647</td><td>329</td><td>289</td><td>—</td></tr> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向】</p> <p>①新型コロナウイルス感染拡大の影響により、当初予定していた2月の企業ガイダンスが中止となり、目標を下回った。キャリア教育支援件数については、感染対策を講じながら実施したことにより、目標は概ね達成となった。</p> <p>②今後も学校と連携して、児童や生徒に対し地域企業の理解促進や、働くことへの意識醸成を図る必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		4	4	4	4	実績	1	4	6	3	—		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		180	180	350	350	実績	179	647	329	289	—	<p>・就業支援員等による企業訪問や聞き取りによる職場定着支援の実施</p> <p>・小中高生を対象とした工場見学や出前授業の開催支援</p> <p>・就業支援員等やキャリア教育サポーターによるセミナーやガイダンス、面接練習等の就職支援の実施</p> <p>・高校を会場とした企業情報ガイダンスの開催</p> <p>・管内市町とキャリア教育の先進的取組にかかる情報交換を行う「南いわて地域協働によるキャリア教育研究会」の開催</p> <p>・移住支援金制度の周知と対象法人登録の働きかけの実施</p> <p>・建設業協会と連携し、小中学生を対象とした建設工事機械の操作体験などの実施</p> <p>・職業意識の醸成や地元企業への興味喚起、進学後の県内就職への意識向上を目的とした出前授業の実施</p>
	現状値	2019	2020	2021	2022																																
目標		4	4	4	4																																
実績	1	4	6	3	—																																
	現状値	2019	2020	2021	2022																																
目標		180	180	350	350																																
実績	179	647	329	289	—																																

令和3年度の取組状況・評価及び今後の取組の方向及び令和4年度取組方針

具体的推進方策	令和3年度取組内容(実施計画)	令和3年度取組状況
③地域企業の理解促進や高校生の資格取得支援	<p>(1) 北上川流域ものづくりネットワークによる地域企業への理解促進 ○小中学校や高校等の工場見学や出前授業の開催支援</p> <p>(2) 教員や保護者を対象とした地域企業への理解促進 ○教員向けミニ企業見学会の開催 ○高校を会場とした企業情報ガイダンスの開催 ○実践的キャリア教育研修会の開催支援</p> <p>(3) 工業高校生等を対象とした実技講習等の支援等 ○資格取得に向けた実技講習会の開催支援</p> <p>(4) インターンシップ等を支援し企業を支える質の高い人材の育成と活用 ○受入れ可能企業の掘り起こし</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校：工場見学34件、出前授業15件</li> <li>・工業高校：工場見学3件（オンライン）、出前授業11件</li> <li>・普通高校等対象ものづくり企業等見学会：12校</li> <li>・ものづくり体験教室in工場の開催（7/30(株)アイオー精密、7/31(有)光成工業、1/12鎌田段ボール工業(株)）</li> <li>・教員向けミニ企業見学会の実施（8/3～8/5、1/6～7）</li> <li>・学校を会場とした企業情報ガイダンスの開催（11/2千厩、11/10水沢工、12/1、12/8一関工）（再掲）</li> <li>・一関高専生と保護者等対象の「地域企業情報ガイダンス」（10/23）開催（再掲） （実践的キャリア教育研修会については、県南・中部教育事務所ともに中止（中部では資料提供あり））</li> <li>・P T A向け工場見学会の開催支援（6/30黒沢尻工（本庁も自室共催））</li> <li>・実技講習会（花北青雲（6/19～7/17NC旋盤、7/6～24電子機器組立）、黒沢尻工（8/3～5溶接、11/26～12/10第一種電気工事士））の実施支援</li> <li>・指導者向け研修会（8/10、11シーケンス制御（機械専門部）、8/20電子回路組立（電気専門部））の実施支援</li> <li>・企業に対する照会の機会を活用した、インターンシップ等の受入可否に関する情報収集</li> </ul>
④企業を支える人材の育成	<p>(1) 地域企業の生産性の向上に向けた企業を支える優れた人材育成による企業力の向上 ○「ものづくりいわて塾」「生産性向上のためのからくり改善勉強会」の開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「生産性向上のためのからくり改善勉強会」の開催（初級編（全2回）受講者10人（6/15、7/13）、実践編（全6回予定）受講者6人（7/30、8/27（中止）、9/17（中止）、10/26、11/22、12/14）</li> <li>・「ものづくりいわて塾」受講者4人（10/29、11/19、12/17）</li> <li>・「いわて3Sサミット」（3/3）に向けた運営委員会を開催（5/28、6/25、9/17、10/22、1/20）したが、感染拡大防止のため開催を見送り、改善活動に関心を持つ企業に向けた動画を制作</li> </ul>

令和3年度の評価及び今後の取組の方向	令和4年度取組方針																																				
<p>【指標の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中高校生企業見学・出前授業等の実施回数（回）概ね達成</li> </ul> <table border="1" data-bbox="1567 296 2139 415"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>80</td> <td>80</td> <td>80</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>82</td> <td>96</td> <td>81</td> <td>72</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生の技能検定合格者数（人）達成</li> </ul> <table border="1" data-bbox="1567 499 2139 619"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>400</td> <td>400</td> <td>400</td> <td>400</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>400</td> <td>528</td> <td>232</td> <td>555</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向】</p> <p>①新型コロナウイルス感染拡大の影響により、企業見学・出前授業等については、中止や延期となる学校があったが、目標は概ね達成となった。</p> <p>②地域企業を理解する機会を確保するために、オンライン形式での見学、出前授業の実施支援も視野に入れて取り組む必要がある。また、今後も小中高生、教員、保護者等に対し、地域企業の理解促進や、工業高校生の資格取得に向けて支援する必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		80	80	80	80	実績	82	96	81	72	—		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		400	400	400	400	実績	400	528	232	555	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中高生を対象とした工場見学や出前授業の開催支援（再掲）</li> <li>・教員向けミニ企業見学会の開催</li> <li>・高校を会場とした企業情報ガイダンスの開催（再掲）</li> <li>・工業系高校が資格取得のために実施する実技講習会の開催支援</li> <li>・企業訪問時におけるインターンシップに関する情報収集</li> </ul>
	現状値	2019	2020	2021	2022																																
目標		80	80	80	80																																
実績	82	96	81	72	—																																
	現状値	2019	2020	2021	2022																																
目標		400	400	400	400																																
実績	400	528	232	555	—																																
<p>【指標の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・改善関連勉強会等受講者数（人）やや遅れ</li> </ul> <table border="1" data-bbox="1567 1388 2139 1507"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>30</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>33</td> <td>20</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向】</p> <p>①新型コロナウイルス感染拡大を受け、勉強会等への出席を見合わせる企業もあり、目標を下回った。</p> <p>②研修方法について、オンライン形式の活用など検討をすすめ、企業を支える人材育成を進める必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		30	30	30	30	実績	30	30	33	20	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ものづくりいわて塾」「いわて塾OB会」、「生産性向上のためのからくり改善勉強会」の開催</li> <li>・「いわて3Sサミット」の開催</li> </ul>																		
	現状値	2019	2020	2021	2022																																
目標		30	30	30	30																																
実績	30	30	33	20	—																																

令和3年度の取組状況・評価及び今後の取組の方向及び令和4年度取組方針

具体的推進方策	令和3年度取組内容(実施計画)	令和3年度取組状況
⑤移住・定住の促進(再掲)	(1) 市町と連携した県南圏域の魅力の発信 ○U・Iターン相談会における情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県南地区移住定住推進担当者意見交換会(7/27、1/26)の開催</li> <li>・南いわて暮らしセミナー(10/30)の開催</li> <li>・商工団体総会での働き方改革運動や移住支援金制度等のリーフレット配布(奥州商工会議所、花巻商工会議所)</li> <li>・就業支援員等による事業所訪問時のリーフレット配布</li> </ul>
	(2) 移住者が安心して活躍できる環境の整備 ○情報交換会の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県南地区移住定住推進担当者意見交換会(7/27、1/26)開催(再掲)</li> <li>・振興局と定雇室との意見交換会(9/13)での次年度事業に係る調整実施</li> </ul>

令和3年度の評価及び今後の取組の方向	令和4年度取組方針																		
<p>【指標の状況】</p> <p>・市町村窓口・移住相談会等における移住相談受付数(人) <b>集計中</b> (令和4年6月頃確定見込み)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>700</td> <td>700</td> <td>700</td> <td>700</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>650</td> <td>950</td> <td>879</td> <td>(1,260)</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値、( )内は速報値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向】</p> <p>①新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、セミナーをオンライン開催する等実施方法を工夫しながら取組を進めた結果、圏域への移住に関する関心を喚起することができ、目標を達成する見込みである。</p> <p>②引き続き圏域での仕事と暮らしの魅力を広く発信するとともに、移住者受入の環境整備を図る必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		700	700	700	700	実績	650	950	879	(1,260)	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町・関係団体等との連携による移住促進セミナー開催、既存情報発信ツール活用等、圏域の魅力発信の一層の強化</li> <li>・人材確保対策と移住定住対策を一体的に取り組むための関係機関等との連携体制の構築、転出要因及び転入要因の把握分析、並びに圏域への移住定住促進モデル事業の検討</li> </ul>
	現状値	2019	2020	2021	2022														
目標		700	700	700	700														
実績	650	950	879	(1,260)	—														

圏域の振興施策の基本方向	Ⅲ 世界遺産「平泉の文化遺産」をはじめ多彩な魅力の発信により多くの人々が訪れる地域						
重点施策	6 地域の魅力の発信による交流を広げます						
〔基本方向〕 世界遺産「平泉の文化遺産」をはじめとする歴史・文化や自然景観のみならず、食、伝統工芸、体験などの多彩な地域資源を総合的に活用し、広域的に周遊し滞在する、顧客満足度の高い観光を促進するとともに、地域消費の拡大などを通じて、観光を核とした地域づくりを推進します。 外国人観光客をはじめ、国内外から多くの人に訪れてもらうため、関係機関等と連携した観光情報の発信や、誘客活動を推進するとともに、地域を訪れる国内外からの観光客等の受入態勢を整備し、ホスピタリティの向上を図ります。 生涯を通じて身近な地域でスポーツに親しむことができるよう、地域資源を活用したスポーツ振興を図るとともに、スポーツツーリズムを通じた県内外の人々との交流拡大を支援します。 世界遺産「平泉の文化遺産」をはじめとする観光地へのアクセス向上やラグビーワールドカップ2019 <sup>TM</sup> 釜石開催等の機会を捉えたインバウンドに対応するため、地域間の交流・連携の基盤となる道路整備を推進します。							
重点指標		現状値	2019	2020	2021	2022	重点指標の動きに対するコメント
県南圏域の観光入込客数（延べ人数）（万人回）	目標	/	1,158.5	1,164.6	1,168.9	1,173.1	<b>集計中</b> （令和4年9月確定見込み） 2020年の実績は644.7万人となっています。 2021年は、旅行市場の回復に連動して地域と連携した観光振興の取組を推進します。
	実績	1,147.4	1,151.1	644.7	集計中	—	
〔基本方向の実現に向けた取組〕 ① 世界遺産「平泉の文化遺産」を核とした広域的な周遊・滞在型観光の促進 ② 国内外からの観光客、国際リニアコライダー（ILC）の研究者やビジネス客等の受入に係るホスピタリティ向上 ③ 教育機関や国際リニアコライダー（ILC）の関係者等との連携による海外との相互交流の推進 ④ 地域と連携したスポーツツーリズムの振興 ⑤ 観光地へのアクセス向上や地域の魅力を高めるための道路整備の推進							

具体的推進方策	令和3年度の取組内容(実施計画)	令和3年度の取組状況
<p>①世界遺産「平泉の文化遺産」を核とした広域的な周遊・滞在型観光の促進</p>	<p>(1) 世界遺産「平泉の文化遺産」を核とした観光振興                      ○世界遺産連携推進実行委員会の構成団体として、平泉世界遺産祭等の誘客事業に参加</p> <p>○「ケロ平」を活用したPR</p> <p>○新たな観光コンテンツづくりに向けた支援</p> <p>(2) 国内教育旅行の推進                      ○沿岸圏域を含む連絡会議の設置、教育旅行担当教員の招聘やモニターツアーを実施</p> <p>○首都圏大学生協連と連携し、企業研修を行いながら観光施設を巡る事業を実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界遺産連携推進実行委員会の運営に参画                             <ul style="list-style-type: none"> <li>▶平泉世界遺産祭(7/3, 4)の延期(9/25, 26)⇒中止⇒代替事業:テレビ番組「山海漬」放映(12/4, 11)</li> <li>▶観光コンテンツ造成等業務委託の実施(8/31～) 観光素材の造成等、専門家の観光コンテンツ体験ツアー-催行(11/29～30)、体験コンテンツPR動画制作</li> <li>▶周遊マガジン「ぐるり」(6/30発行)の配布</li> </ul> </li> <li>各種SNSを活用した県南地域の魅力発信 (Twitter129件、Facebook55件、YouTube11件)</li> <li>関係機関や事業者との連携によるPRを実施                             <ul style="list-style-type: none"> <li>▶県庁生協との連携: フリース製作販売(11月)</li> <li>▶岩手大留学生向け: チームケロ平への参画PR(12月)</li> <li>▶催事への出動: ふるさとBUS助っ人マルシェ(12月)</li> <li>▶一関郵便局: 交通安全運動にケロ平を活用(12月)</li> </ul> </li> <li>観光コンテンツ造成等取組状況ヒアリング (訪問: 6月、書面: 8月、オンライン: 12月)</li> <li>観光コンテンツ造成支援の実施(12/10～着手) (12/13～17: 管内8市町との事前打合せ) (1/18～21: 管内8市町での研修会+意見交換会) (2/9: 観光コンテンツ造成対象選考審査会、2件選定) (3/18: 造成コンテンツ体験会+成果発表会) 造成観光コンテンツ 2件 内訳) ・羊の毛刈り&amp;羊毛フェルトづくり体験(花巻市) ・夜の遠野物語(語り部による昔話&amp;飲食)</li> <li>南いわて連携型教育旅行推進事業(教員招聘、AGT訪問等)の委託実施(委託先: 世界遺産平泉・一関DMO、期間 R3.6.10～R4.3.31)</li> <li>教育旅行連絡会議の開催(7/8、釜石市、17団体25名参加)</li> <li>旅行エージェント等訪問(5社、4団体)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>▶12/2 東京: 東武トップツアーズ、東京都中学校長会、全国修学旅行研究協会、日本修学旅行研究協会</li> <li>▶12/16 大阪: 名鉄観光、近畿日本ツリスト、全国修学旅行研究協会、JTB、日本旅行</li> </ul> </li> <li>教育旅行商談会参加(12/15、大阪)</li> <li>首都圏等エージェント訪問(3/10～11 9社) (一社)世界遺産平泉・平泉DMO 立尾部長訪問</li> <li>東武トップツアーズ招聘(3/16～18 4名参加) 陸前高田市、大船渡市、釜石市、大槌町、遠野市、花巻市、平泉町の各観光施設等で視察・研修</li> <li>南いわてインダストリー観光リモートツアーの実施(実施日: 10/23、委託先: 大学生協事業連合、当日参加: 148名)</li> </ul>

令和3年度の評価及び今後の取組の方向	令和4年度の取組方針																																				
<p>【指標の状況】                      《過年度》                      ・平泉町、一関市及び奥州市の観光入込客数(延べ人数)(万人回)</p> <table border="1" data-bbox="1567 352 2142 472"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>580.8</td> <td>587.8</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>567.5</td> <td>590.7</td> <td>338.1</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>《後年度》                      ・平泉町、一関市及び奥州市の観光入込客数(延べ人数)(万人回)                      (令和4年9月確定見込み)</p> <table border="1" data-bbox="1567 619 2142 766"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>—</td> <td>—</td> <td>391.4</td> <td>600.2</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>338.1</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>集計中</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2020年の値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向】                      ①新型コロナウイルス感染拡大の影響が継続しており、オンラインやSNSの活用等、トレンドの変化も取り入れながら事業を実施してきたが、観光入込客数は減少すると見込まれ、目標の達成は困難な見込みである。一方で、教育旅行の入込数は堅調と見込まれる。                      ②コロナ収束後を見据え、観光資源の磨き上げや観光情報の発信などを進める必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		580.8	587.8	—	—	実績	567.5	590.7	338.1	—	—		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		—	—	391.4	600.2	実績	338.1	—	—	集計中	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界遺産連携推進実行委員会におけるアフターDC等を契機とした大型誘客の取組への支援を通じて平泉を核とした誘客を強化</li> <li>今後の観光需要の回復、トレンドの変化を見据え、地域主体による観光コンテンツの磨き上げや新たな造成等、持続可能な受入態勢の構築を支援</li> <li>SNSやYoutube、各種誘客イベントでの情報発信</li> <li>各種PRツールをはじめ、市町・民間事業者との連携促進に向けたアイデアの検討</li> <li>地元団体、学生等との連携による情報発信の推進</li> <li>平泉世界遺産ガイドダンスセンターと東日本大震災津波伝承館をゲートウェイとした旅行コースを核としながら、県南と沿岸圏域の連携や情報共有を継続して実施</li> <li>大学生を対象とした企業研修×観光旅行を現地で催行</li> </ul>
	現状値	2019	2020	2021	2022																																
目標		580.8	587.8	—	—																																
実績	567.5	590.7	338.1	—	—																																
	現状値	2019	2020	2021	2022																																
目標		—	—	391.4	600.2																																
実績	338.1	—	—	集計中	—																																

令和3年度の取組状況・評価及び令和4年度の取組方針

具体的 推進方策	令和3年度 の取組内容 (実施計画)	令和3年度 の取組状況
<p>①世界遺産「平泉の文化遺産」を核とした広域的な周遊・滞在型観光の促進（つづき）</p>	<p>(3) 中京圏からの誘客拡大 ○食と観光を活用したPRを実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社食フェアにおける観光PR  <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">                     (株)豊田自動織機 (5/24～6/16、6/7～11、1/20、1/26)                      (株)デンソー社食フェア (5/24～6/18)                      (株)アイシン社食フェア (11/8～12)                 </div> </li> <li>・協力企業への訪問 (11/5、2社) 社食フェア運営会社(株)魚国総本社、FDA営業本部</li> <li>・岡崎信金連携イベント「いわて日本酒&amp;うまいものフェア」におけるPR (11/3～7)</li> </ul>
	<p>(4) 管内市町・団体や県際地域と連携した観光推進 ○市町・団体との連絡調整、東北DCに係る連携及び情報発信</p> <p>○釜石線沿線広域エリア活性化委員会への参加</p> <p>○岩手・宮城県際広域観光推進研究会に係る連絡調整</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県南広域圏観光担当者情報交換会等の実施 (7/27/奥州合庁、12/13～17オンラインヒアリング)</li> <li>・南いわて観光マップの改訂 (3万部)</li> <li>・南いわて商工相談支援ネットワークによる市町・商工団体への情報発信 (宿泊施設補助等コロナ支援施策、東北DC情報等：53回)</li> <li>・西和賀応援企画の実施 (頒布会11/30・1/26・3/15、貨客混載便の運行12/3～3/25、盛岡駅12/3～5、奥州合庁販売会12/10)</li> <li>・委員会総会への出席 (4/27)</li> <li>・第1回担当者会議出席 (11/26)</li> <li> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">                     &lt;活性化委員会の主な活動&gt;                      東北DCのぼりの制作・掲示、SL銀河パンフレットの制作・配架、各地域でのおもてなし                 </div> </li> <li>※ SL銀河運行 (8/21～12/5)</li> <li>・釜石線沿線広域エリア活性化委員会第1回情報交換会 (3/3 釜石市)</li> <li>・SL銀河パンフレット配布 (3/中旬 管内総務センター、東京事務所他)</li> <li>・幹事会開催 (6/24 奥州合庁、12/10 平泉町役場) 構成機関：両県地方事務所全5団体出席)</li> <li>・研究会開催 (10/19、2/21 ※ オンライン開催) [協議事項]  <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ドライブマップ (電子版) の製作</li> <li>▶研究会の今後の運営について (会長と事務局セットでの輪番制の導入等)</li> </ul>                     書面協議結果：承認 (21団体/23団体) ⇒R4以降                 </li> </ul>

令和3年度 の評価及び 今後の取組 の方向	令和4年度 の取組方針
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの企業とのつながりを生かし、中京圏の企業における社食フェアを中心に観光情報の発信の取組を継続</li> <li>・マイクロツーリズムのトレンドや新たな交通手段の開通を契機とした、岩手・宮城県際地域の連携による観光振興</li> </ul>

具体的推進方策	令和3年度の取組内容(実施計画)	令和3年度の取組状況
②国内外からの観光客、国際リニアコライダー（ILC）の研究者やビジネス客等の受入に係るホスピタリティ向上	(1) 外国人観光客等の受入推進 ○観光・宿泊施設を対象としたセミナーの開催  ○観光宿泊施設緊急対策事業費補助金交付事務	・新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止  ・観光宿泊施設緊急対策事業費補助金に係る関係機関への周知・相談支援・補助金交付（募集期間 6/28～12/28）：支出55件）
	(1) 教育旅行を通じた台湾との相互交流の推進 ○訪日教育旅行の受入学校における生徒間交流の支援	・訪日教育旅行の受入実績校の活動支援等 〔水沢第一高校〕 台湾大理高級中学とのクリスマス交流（12月）を支援 〔一関修紅高校〕 岩手大学の留学生（台湾人・香港人）との交流会開催を支援（※コロナウイルス感染症感染拡大により延期）
③教育機関や国際リニアコライダー（ILC）の関係者等との連携による海外との相互交流の推進		

令和3年度の評価及び今後の取組の方向	令和4年度の取組方針																																				
<p>《過年度》</p> <p>・県南圏域での宿泊者数（万人泊）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td>—</td> <td>189.6</td> <td>192.2</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>185.4</td> <td>230.5</td> <td>167.8</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>《後年度》</p> <p>・県南圏域での宿泊者数（万人泊） （令和4年7月確定見込み）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>127.5</td> <td>194.7</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>167.8</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>集計中</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2020年の値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向】</p> <p>①新型コロナウイルス感染拡大の影響により、宿泊者数の減少により、目標の達成は困難な見込みである。 ②新型コロナウイルス感染症の収束後を見据え、宿泊施設の感染防止対策やワーケーション、マイクロツーリズムに向けたコンテンツ整備について、継続して取り組む必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標	—	189.6	192.2	—	—	実績	185.4	230.5	167.8	—	—		現状値	2019	2020	2021	2022	目標	—	—	—	127.5	194.7	実績	167.8	—	—	集計中	—	<p>・研修会の開催等、観光・宿泊事業者を対象とした経営力向上を目的とした取組の実施</p>
	現状値	2019	2020	2021	2022																																
目標	—	189.6	192.2	—	—																																
実績	185.4	230.5	167.8	—	—																																
	現状値	2019	2020	2021	2022																																
目標	—	—	—	127.5	194.7																																
実績	167.8	—	—	集計中	—																																
<p>【指標の状況】</p> <p>《過年度》</p> <p>・県南圏域での外国人宿泊者数（万人泊）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td>—</td> <td>9.5</td> <td>11.5</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>6.4</td> <td>10.1</td> <td>2.0</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>《後年度》</p> <p>・県南圏域での外国人宿泊者数（万人泊） （令和4年7月確定見込み）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>3.0</td> <td>13.0</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>2.0</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>集計中</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2020年の値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向】</p> <p>①新型コロナウイルス感染拡大の影響により、外国人宿泊者数は減少し、目標の達成は困難な見込みである。 ②新型コロナウイルス感染症の収束後を見据え、訪日教育旅行等、海外との相互交流の推進を図る必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標	—	9.5	11.5	—	—	実績	6.4	10.1	2.0	—	—		現状値	2019	2020	2021	2022	目標	—	—	—	3.0	13.0	実績	2.0	—	—	集計中	—	<p>・新型コロナウイルス感染症の収束後を見据えて関係機関から情報収集を中心に取組を実施</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の収束状況を見て、一関修紅高校と岩手大学の留学生との交流会開催を支援</p>
	現状値	2019	2020	2021	2022																																
目標	—	9.5	11.5	—	—																																
実績	6.4	10.1	2.0	—	—																																
	現状値	2019	2020	2021	2022																																
目標	—	—	—	3.0	13.0																																
実績	2.0	—	—	集計中	—																																



具体的推進方策	令和3年度の実施計画	令和3年度の実施状況																											
④地域と連携したスポーツツーリズムの振興	<p>(1) 地域のスポーツ資源とスポーツアクティビティの魅力の情報発信</p> <p>○地域のスポーツ資源やアクティビティのHPや観光情報SNSでの情報発信(再掲)</p> <p>(2) 東京2020オリ・パラ競技大会関連事業の支援と市町の実施事業の支援</p> <p>○聖火リレー関連事業の支援</p> <p>○地域経営推進費による市町の支援</p> <p>(3) マラソン等連携事業など市町との連携による地域の魅力づくりの支援</p> <p>○いわて県南レジェンドランナーズの実施</p> <p>○県南広域スポーツ等連携実行委員会での情報共有</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いわてスポーツコミッションHP等でのスポーツイベントの発信(レジェンドランナーズ事業)</li> <li>市町のスポーツアクティビティ情報を収集し、ラジオやSNSで発信(再掲)</li> <li>アクティビティにかかる関係団体(NPOフォルダほか)との意見交換(11/11、12/7)</li> <li>サイクリングインフォメーションのHP掲載とリーフレット配布(4月 50カ所、800枚)(再掲)</li> <li>サイクリング・ウォーキングデジタルルートマップサイトによる情報発信(23コース)(再掲)</li> <li>スポーツ&amp;健康づくり情報のチラシ作成、保健所出前授業、工業クラブ等を通じて配布(9月末)(再掲)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>聖火リレーイベントへの支援(6/18)</li> <li>市町の機運醸成事業、ホストタウン、事前合宿事業の支援(市町村地経費)</li> <li>パラリンピック聖火採火式参加(8/12 西和賀)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>いわて県南レジェンドランナーズ参加者募集(エントリー数379名)</li> <li>オンライン企画(5事業)実施、東北襷マラソンでのブース出展(6/26)</li> <li>実行委員会(5/31、2月書面開催)、マラソン連携部会(8/25)開催により、マラソン大会実施方針や市町のスポーツ施策にかかる意見交換を実施</li> <li>市町との意見交換(R4事業内容、マラソン大会開催予定等)を実施(12/7~9)</li> </ul>																											
	<p>(1) 高規格道路等を有効に活用し、県内各地の観光地を周遊する道路の整備を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国道342号 白崖(一関市)</li> <li>国道397号 小谷木橋(奥州市)</li> <li>花巻大曲線 小倉山(西和賀町)</li> <li>釜石遠野線 笛吹峠(遠野市)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全箇所において事業実施中</li> <li>国道397号 小谷木橋が5/31に開通</li> <li>国道342号 白崖が3/29に全線供用開始</li> </ul> <p style="text-align: right;">単位：m</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工区</th> <th>R2まで</th> <th>R3</th> <th>今年度末まで</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>白崖</td> <td>1,830</td> <td>610</td> <td>2,440</td> </tr> <tr> <td>小谷木</td> <td>400</td> <td>1,020</td> <td>1,420</td> </tr> <tr> <td>小倉山</td> <td>0</td> <td>(今年度はトンネル掘削)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>笛吹</td> <td>0</td> <td>3,640</td> <td>3,640</td> </tr> <tr> <td>完了路線</td> <td>8,050</td> <td>0</td> <td>8,050</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>10,280</td> <td>5,270</td> <td>15,550</td> </tr> </tbody> </table>	工区	R2まで	R3	今年度末まで	白崖	1,830	610	2,440	小谷木	400	1,020	1,420	小倉山	0	(今年度はトンネル掘削)	0	笛吹	0	3,640	3,640	完了路線	8,050	0	8,050	計	10,280	5,270
工区	R2まで	R3	今年度末まで																										
白崖	1,830	610	2,440																										
小谷木	400	1,020	1,420																										
小倉山	0	(今年度はトンネル掘削)	0																										
笛吹	0	3,640	3,640																										
完了路線	8,050	0	8,050																										
計	10,280	5,270	15,550																										

令和3年度の評価及び今後の取組方向	令和4年度の実施方針																		
<p>【指標の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ施設入場者数(万人) (令和4年8月確定見込み) <span style="float: right;">集計中</span></li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>338</td> <td>338</td> <td>338</td> <td>338</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>338</td> <td>304</td> <td>192</td> <td>集計中</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組方向】</p> <p>①新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和3年度もスポーツイベントの中止や施設の一時閉鎖が相次ぎ、スポーツ施設の利用が減少したことから、目標を下回る見込みである。</p> <p>②市町と連携して地域のスポーツ資源の魅力を発信し、県民のスポーツへの参加促進と交流人口の拡大を図る必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		338	338	338	338	実績	338	304	192	集計中	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>管内のスポーツイベントやスポーツアクティビティなど地域資源の魅力を市町や関係機関と連携して発信</li> <li>サイクリング・ウォーキングリーフレット等による情報発信(再掲)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>市町の意向を把握しつつ、大会やスポーツ合宿の誘致を支援</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>いわて県南レジェンドランナーズなど市町と連携した取組を実施</li> <li>実行委員会での市町との情報共有及び意見交換</li> </ul>
	現状値	2019	2020	2021	2022														
目標		338	338	338	338														
実績	338	304	192	集計中	—														
<p>【指標の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>観光地へのアクセス道路整備延長(m) [累計] <span style="float: right;">達成</span></li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>1,250</td> <td>9,470</td> <td>11,910</td> <td>15,910</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>—</td> <td>1,250</td> <td>10,280</td> <td>15,550</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>【評価及び今後の取組方向】</p> <p>①適切な進捗管理により、計画以上に整備を進め、目標を達成することができた。</p> <p>令和3年度供用：国道397号 小谷木橋 1,020m 国道342号 白崖 610m、 釜石遠野線 笛吹峠 3,640m 供用延長計 5,270m</p> <p>②事業の着実な推進に向けて、適切な工事監督業務等により事業の進捗管理を行う必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		1,250	9,470	11,910	15,910	実績	—	1,250	10,280	15,550	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の着実な推進に向けた、適切な工事監督業務等による事業の進捗管理(釜石遠野線 笛吹峠(遠野市))</li> </ul>
	現状値	2019	2020	2021	2022														
目標		1,250	9,470	11,910	15,910														
実績	—	1,250	10,280	15,550	—														

圏域の振興施策の基本方向	Ⅲ 世界遺産「平泉の文化遺産」をはじめ多彩な魅力の発信により多くの人々が訪れる地域						
重点施策	7 食産業のネットワークを活用し、交流人口の拡大を図ります						
<p>〔基本方向〕</p> <p>「食と観光」の連携により、地域の魅力向上を図り、交流人口の増加を促進します。</p> <p>国内外での取引拡大に向け、各マーケットでの販売活動に加え、地域食材の地域内流通や消費者のニーズに応じた販売方法に取り組む企業への支援を推進します。</p> <p>競争力向上のため、南いわて食産業クラスター形成ネットワークを活用した企業の連携ビジネスの創出や人材育成を推進します。</p>							
重点指標		現状値	2019	2020	2021	2022	重点指標の動きに対するコメント
食料品製造出荷額 (億円)	目標		853 (2018)	861 (2019)	870 (2020)	879 (2021)	<b>集計中</b> （令和4年6月末確定見込み） 2020年（2019年）の実績は916億円となっています。 今後も商談会等を活用した国内外への販路拡大や企業力向上に向けて取り組めます。
	実績	837 (2016)	939 (2018)	916 (2019)	集計中	—	
<p>〔基本方向の実現に向けた取組〕</p> <p>① 地域食材を生かした魅力的な地域づくりの支援と交流人口の拡大</p> <p>② 国内外への取引拡大の推進</p> <p>③ 「南いわて食産業クラスター形成ネットワーク」を生かした企業力向上の推進</p>							

具体的推進方策	令和3年度の取組内容(実施計画)	令和3年度の取組状況
<p>①地域食材を生かした魅力的な地域づくりの支援と交流人口の拡大</p>	<p>(1) 地域の特色ある食材を切り口とした体験型イベント等の開催                      ○旬彩ごほうびフェアの3市町から県南広域への展開                      ○新たな食の誘客コンテンツイベント(シェフ交流ディナー)等の開催                      ○着地型旅行商品造成に向けた取組</p> <p>(2) 食のまちの核となる人材育成とネットワーク強化                      ○食のまちづくりチームの結成と人材育成研修</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>旬彩ごほうびフェア開催(10月 奥州市、花巻市、遠野市を追加 19店舗⇒29店舗に拡大 来客数29,546人、フェアメニュー提供数1,999件)</li> <li>旬彩ごほうびフェアPRのための取組(パンフ配布、専用HP、Facebook、Instagram)</li> <li>食の誘客コンテンツイベント内容検討及び実施に係る企画コンペ実施(7/28)</li> <li>新型コロナウイルス感染拡大に伴う食の誘客コンテンツイベント実施方法見直し検討 (※シェフ交流ディナー⇒食の誘客コンテンツ総合検討会に変更)</li> <li>食のまちづくり関係者打合(9/14)</li> <li>食のまちづくりセミナーin西和賀開催(10/28 参加者31名)</li> <li>食のまちづくりチーム候補者へのインタビュー、メンバー選定</li> <li>食のまちづくりセミナーで取り上げた地域食材(ブラウンスイス種:乳肉兼用牛)のメニュー化についてワークショップ実施(12/9 生産者3名、飲食店等7名)</li> <li>県南食材を活用したオリジナルメニューの検討についてワークショップ実施(1/31 飲食店3名、助言者2名)</li> <li>食のまちづくりチーム(研究会)の活動実績検討会の実施(3/7 食クラ会員24名、講師、関係者等13名)</li> </ul>
<p>②国内外への取引拡大の推進</p>	<p>(1) 商談会等を活用した販路拡大                      ○県主催商談会への出展支援                      ○仙台圏販路拡大事業の実施                      ○中京圏社食フェアの開催支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県主催商談会出展支援(6/7盛岡 31社参加、7/13名古屋 6社参加、11/10大阪 6社参加、2/8仙台 11社参加、2/16~18東京 11社参加)</li> <li>岩手県産(株)との仙台圏販路拡大事業委託契約                      [期間R3.7.9~R4.3.11                      受託者:岩手県産(株) 委託額:440千円]                      (7/29(株)日本アクセス商談会 8社出品、2月仙台圏バイヤーモニタリング事業、20社41品)</li> <li>(株)豊田自動織機社食フェア(5/24~6/16、6/7~11、1/20、1/26)</li> <li>(株)デンソー社食フェア(5/24~6/18)</li> <li>アイシン精機(株)フェア(11/8~12)</li> <li>魚国総本社訪問(11/5) ※再掲</li> <li>銀座「ロックフィッシュ」食材取引商談支援(6/6 エーデルワイン、一関ミート等)</li> <li>輸出商社(株)宇奥ジャパン)企業視察アテンド(7/1~7/2 上閉伊酒造、世嬉の一酒造等)</li> </ul>

令和3年度の評価及び今後の取組の方向	令和4年度の取組方針																																				
<p>【指標の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地産地消イベント参加人数(人) <span style="float:right">達成</span></li> </ul> <table border="1" data-bbox="1567 275 2151 394"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>14,400</td> <td>19,200</td> <td>24,000</td> <td>28,800</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>—</td> <td>43,222</td> <td>30,168</td> <td>29,546</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>【評価及び今後の取組の方向】</p> <p>①新型コロナウイルス感染拡大の影響により、飲食店の利用者数は伸び悩んでいたが、「新型コロナウイルス感染対策認証制度」の認証店を対象とし、多様なPRを連携させることにより、目標を達成することができた。</p> <p>②引き続き、県南地域における「食のまち」づくりを推進するため、「食」を切り口とした情報の発信を強化し、ファンの拡大を図るとともに、事業者連携を図りながら南いわてオリジナルの食の誘客コンテンツの造成を図る必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		14,400	19,200	24,000	28,800	実績	—	43,222	30,168	29,546	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域食材の活用を促進する「旬彩ごほうびフェア」の広域展開</li> <li>食クラネット専用HPを活用した県南の食材のPRの強化</li> <li>県南地域の魅力ある食材の発掘・磨き上げ</li> <li>南いわての食の体験メニューの造成</li> </ul>																		
	現状値	2019	2020	2021	2022																																
目標		14,400	19,200	24,000	28,800																																
実績	—	43,222	30,168	29,546	—																																
<p>【指標の状況】</p> <p>《過年度》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>商談会での取引成立件数(件)</li> </ul> <table border="1" data-bbox="1567 1171 2190 1291"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>105</td> <td>110</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>99</td> <td>113</td> <td>66</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>《後年度》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>商談会での取引成立件数(オンラインを含む)(件) <span style="float:right">集計中</span></li> </ul> <table border="1" data-bbox="1567 1409 2190 1528"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>—</td> <td>—</td> <td>115</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>66</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>(67)</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2020年の値、( )内は速報値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向】</p> <p>①仙台圏バイヤーモニタリング事業など、新たな取組を展開しながら販路拡大を図り、また、本年度の集計中数値が昨年度実績を超えたことから回復傾向がみられるものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響による商談会への参加企業数減に伴い、目標の達成は困難な見込みである。</p> <p>②引き続き、商談会の活用やバイヤー招聘等により、事業者の県内外における販路開拓を支援する必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		105	110	—	—	実績	99	113	66	—	—		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		—	—	115	120	実績	66	—	—	(67)	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>県主催商談会への出展支援</li> <li>国分東北(株)主催商談会出展など仙台圏バイヤーを対象とした取引拡大支援</li> <li>中京圏社食フェア開催支援</li> </ul>
	現状値	2019	2020	2021	2022																																
目標		105	110	—	—																																
実績	99	113	66	—	—																																
	現状値	2019	2020	2021	2022																																
目標		—	—	115	120																																
実績	66	—	—	(67)	—																																

令和3年度の取組状況・評価及び令和4年度の取組方針

具体的推進方針	令和3年度の取組内容(実施計画)	令和3年度の取組状況
②国内外への取引拡大の推進(つづき)	<p>(2) インターネット通販の取組拡大 ○インターネット通販参画支援セミナー(ビジネス交流会での講演会)の開催</p> <p>(3) 地域食材の輸出拡大 ○釜石港国際物流ルート構築実証実験</p>	<p>(インターネット通販参画支援セミナー(2月)は中止)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>食クラネット会員の通販サイト参画状況の把握と南いわて食産業アドバイザー派遣の働きかけ(アドバイザー派遣 延べ4回)</li> <li>白金運輸㈱との実証実験委託契約及び参加企業募集(4月～3月) [期間R3.4.19～R4.3.22 受託者:白金運輸㈱ 委託額:1,320千円] 1回目(6/18出港、3社混載、上海・大連) 2回目(8/18出港、4社混載、上海・大連・香港) 3回目(12/4出港、1社リーファー、タイ) 4回目(12/13出港、7社混載、大連) 5回目(3/8出港、1社リーファー、上海)</li> <li>実証参加に向けた調整(団体・企業訪問40社)</li> <li>八戸市地域商社視察(6/14:㈱ファーストインターナショナル、11/9:㈱ロコラボ)</li> <li>次年度の取組に向けた関係者協議(県、白金運輸、ジェトロ、岩手県産 10月～)</li> <li>花巻工業クラブでの実証事業PR(10/12)</li> <li>㈱朝日通商(高松市)主催「瀬戸内グローバルラボ(瀬戸内地域の地域商社)」オンラインセミナーへの参加(11/1)</li> <li>実証実験成果報告書とりまとめ(3月)</li> </ul>
③「南いわて食産業クラスター形成ネットワーク」を生かした企業力向上の推進	<p>(1) 食クラネット連携体制の充実 ○運営委員会、定例総会、ビジネス交流会の開催 ○ネットワークを活用した連携ビジネスの創出及び取引拡大の推進</p> <p>(2) 個々の企業の経営課題への解決支援 ○専門家派遣事業(マーケティング、情報発信、HACCP) ○HACCP導入支援(保健所主催説明会等の周知)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1回運営委員会書面審議(5/13)</li> <li>定例総会書面審議(6/1)</li> <li>食クラネット課題別研究会設置に係る検討</li> </ul> <p>(ビジネス交流会の集合開催(2月)は中止)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ビジネス交流会集合開催中止に伴う実施方法の見直し検討</li> <li>食クラネット運営委員会開催(10/18～22・3会場での分散開催) ※課題別研究会、ビジネス交流会代替事業案(仙台圏バイヤーモニタリング)、専用HP構築について運営委員と協議⇒了承、3月公開</li> <li>食クラ会員に対し、課題別研究会、仙台圏バイヤーモニタリング事業への参加企業募集(12/2 通知発出、1月中旬に確定、20社41品)</li> <li>第3回運営委員会(3/7)</li> <li>専門家派遣(3月末現在) マーケティング:18社、HACCP:2社、情報発信:4社⇒計24社</li> <li>保健所主催HACCPワークショップ開催支援(9/30:県南3社参加、10/27:県南5社参加、11/24:県南2社参加)</li> <li>食クラネット専用HP構築(11月～3月)</li> </ul>

令和3年度の評価及び今後の取組の方向	令和4年度の取組方針																																				
<p>【評価及び今後の取組の方向】</p> <p>①企業の輸出促進に向け、輸送費用の圧縮につながる県内港を活用した輸送ルートを構築し、次年度から白金運輸によるチャーター便運行が開始されることとなった。</p> <p>②県内港活用ルートの利用促進に向け、県内企業に対してコストメリットをPRするとともに、輸出に関する総合窓口としての地域商社の設立に向けて研究活動に取り組む必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Eコマース活用セミナーの開催</li> <li>Eコマース研究会の運営によるネット通販参画支援</li> <li>釜石港国際物流ルート利用促進に向けたPR推進</li> <li>輸出促進地域商社設立研究会の運営による海外販路開拓支援</li> </ul>																																				
<p>【指標の状況】</p> <p>・企業間連携プロジェクト支援件数(件) [累計] <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">達成</span></p> <table border="1" data-bbox="1567 1144 2139 1262"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>17</td> <td>19</td> <td>21</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>12</td> <td>17</td> <td>19</td> <td>21</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>・ネットワーク組織参加団体数(団体) [累計] <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">達成</span></p> <table border="1" data-bbox="1567 1367 2139 1484"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>390</td> <td>400</td> <td>410</td> <td>420</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>364</td> <td>398</td> <td>405</td> <td>412</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向】</p> <p>①ネットワーク組織の順調な拡大に伴い、企業間連携の動きも進み、目標を達成することができた。</p> <p>②引き続き、ビジネス交流会の開催や専門家を講師とした課題別研究会の運営に取り組み、連携体制の充実と企業力向上を支援する必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		17	19	21	23	実績	12	17	19	21	—		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		390	400	410	420	実績	364	398	405	412	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営委員会、定例総会の開催</li> <li>ビジネス交流会の開催</li> <li>専用HPによるネットワーク会員間の連携と情報発信</li> <li>食クラネット運営体制における企業間連携のあり方検討</li> <li>課題別研究会に係る専門家派遣(食のまちづくり、Eコマース、輸出)※再掲</li> <li>保健所と連携したHACCP導入支援</li> </ul>
	現状値	2019	2020	2021	2022																																
目標		17	19	21	23																																
実績	12	17	19	21	—																																
	現状値	2019	2020	2021	2022																																
目標		390	400	410	420																																
実績	364	398	405	412	—																																

圏域の振興施策の基本方向	Ⅲ 世界遺産「平泉の文化遺産」をはじめ多彩な魅力の発信により多くの人々が訪れる地域						
重点施策	8 文化芸術を生かした地域づくりを進めます						
<p>〔基本方向〕</p> <p>世界遺産「平泉の文化遺産」を地域の財産として次世代に確実に継承していくために、その価値・理念の普及と県内外への魅力発信を推進します。</p> <p>また、地域の民俗芸能や伝統工芸、歴史文化など次世代への継承に向けた取組を支援します。多様な文化芸術の創作活動へ参加・鑑賞できる機会の提供等を推進するため、文化芸術活動への支援や、文化をめぐる新しい動向を踏まえた文化芸術の新たな魅力発信を推進します。</p> <p>国内外の観光客等が地域の文化芸術に触れ、親しみを持つことができるよう、地域の文化財や文化芸術活動の魅力を伝える人材の育成を支援します。</p>							
重点指標		現状値	2019	2020	2021	2022	重点指標の動きに対するコメント
公立文化施設における催事数（件）	目標		574	580	586	592	やや遅れ 2021年の実績値は372件となっています。
	実績	562	493	243	372	—	今後も、伝統文化・民俗芸能の魅力発信や文化芸術と触れ合う機会の創出に取り組めます。
<p>〔基本方向の実現に向けた取組〕</p> <p>① 伝統文化・民俗芸能・伝統工芸等の魅力発信</p> <p>② 文化芸術と触れ合う機会の創出</p> <p>③ 地域の文化財や文化芸術活動の魅力を伝える人材の育成</p>							

令和3年度の取組状況・評価及び令和4年度の取組方針

具体的推進方策	令和3年度の取組内容(実施計画)	令和3年度の取組状況
①伝統文化・民俗芸能・伝統工芸等の魅力発信	<p>(1) 「平泉の文化遺産」の価値・魅力の発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○平泉の価値魅力発信のためのラジオミニ番組の制作・放送及びPR</li> <li>○平泉の価値や魅力発信のため制作した紙芝居動画の公開・広告、幼稚園等での出前授業の実施</li> </ul> <p>(2) 伝統産業の販路拡大促進や魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○デザイン、販路拡大、商品開発等のセミナー開催支援(再掲)</li> <li>○オープンファクトリー五感市実行委員会に参画し、五感市の発展拡大を支援(再掲)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラジオミニ番組制作・放送(IBC委託:13回シリーズ放送6/7~8/30、再放送11/21、28、12/5、オンデマンド放送6/10~3/31)、ミニポスター配布</li> <li>・ガイダンスセンター開館の周知(局SNS、IBCラジオカー684中継11/24)</li> <li>・ガイダンスセンターPR動画(研修会用に制作した5分動画)の活用促進(平泉町観光協会へ提供)</li> <li>・紙芝居動画「みんななかよしひらいずみ」のお披露目(平泉幼稚園)と県公式YouTubeチャンネルでの公開(6/23)、各種SNS等での情報発信</li> <li>・紙芝居動画のインストリーム広告(第1期:6/23~7/22、第2期:11/20~12/19)再生回数:約17万回</li> <li>・管内小中へのラジオ番組及び紙芝居動画ポスター掲出依頼及び幼稚園等への紙芝居動画活用依頼</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いわて県南エリア伝統工芸協議会役員打合せ出席(再掲)</li> <li>・ライブコマース入門セミナー(2/10)開催補助(再掲)</li> <li>・五感市オンラインツアー(8/23)開催補助(再掲)</li> <li>・オープンファクトリー五感市実行委員会役員会への出席、実施事業の調整(再掲) (オープンファクトリー周遊型は中止、中止に伴うメッセージ動画等制作を補助)</li> </ul>
②文化芸術と触れ合う機会の創出	<p>(1) 伝統文化・民俗芸能の魅力発信や文化芸術と触れ合う機会の創出(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○県文化芸術コーディネーター(CD)設置による相談、情報収集・発信等への支援</li> <li>○若者文化振興事業費補助金による文化芸術活動の支援と機会の創出</li> </ul> <p>(2) 文化芸術CD、関係機関のネットワーク強化と研修会等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○文化ホール催事企画の充実に向けた研修会を開催</li> </ul> <p>(3) 文化芸術への参加意欲の醸成と情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「いわての文化情報大辞典」等での情報発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県文化芸術CDによる文化団体や施設の活動支援:3月末時点20件(法人設立、教室開催、文化施設活用方法等の相談対応等)</li> <li>・CD制度の関係機関への周知・活用依頼(7月)</li> <li>・補助事業実施希望者公募・決定 (交付決定額:1件 831千円 交付対象者:いわて県南アートプロジェクト 内容:能楽と古流武術体験講座)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化芸術活動支援ネットワーク会議の開催(第1回9/30:17名 第2回10/28:14名 文化ホールのあり方やプログラム企画立案の研修・グループワークをオンラインで実施)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「いわての文化情報大辞典」や振興局のSNS等での情報発信(12月末現在:大辞典FB投稿 83件)</li> </ul>

令和3年度の評価及び今後の取組の方向	令和4年度の取組方針																																				
<p>【指標の状況】 《過年度》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界遺産等の来訪者数(万人回)</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>221.5</td> <td>224.5</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>216.1</td> <td>206.5</td> <td>90.3</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>《後年度》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界遺産等の来訪者数(万人回) (令和4年9月確定見込み) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">集計中</span></li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> <td>90.3</td> <td>229.3</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>90.3</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>集計中</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2020年の値</p> <p>【評価及び今後の取組の方向】</p> <p>①新型コロナウイルス感染拡大の影響により、インバウンドを中心に平泉町の観光客数が大きく減少し、目標の達成は困難な見込みである。</p> <p>②引き続き、新型コロナウイルス感染拡大の状況を見ながら、関係機関と連携して平泉の文化遺産の価値と魅力を発信し、交流人口の拡大を図る必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		221.5	224.5	-	-	実績	216.1	206.5	90.3	-	-		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		-	-	90.3	229.3	実績	90.3	-	-	集計中	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙芝居動画DVDなどを活用し、平泉文化の価値と魅力の普及のための情報発信を引き続き実施</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デザイン、販路拡大、商品開発等のセミナー開催支援(再掲)</li> <li>・オープンファクトリー五感市実行委員会に参画し、オープンファクトリー五感市開催のほか、通年での製作体験受入れの取組等を支援(再掲)</li> </ul>
	現状値	2019	2020	2021	2022																																
目標		221.5	224.5	-	-																																
実績	216.1	206.5	90.3	-	-																																
	現状値	2019	2020	2021	2022																																
目標		-	-	90.3	229.3																																
実績	90.3	-	-	集計中	-																																
<p>【指標の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化施設入場者数(千人) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">未達成</span></li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>85.4 (2018)</td> <td>86.3 (2019)</td> <td>87.2 (2020)</td> <td>88.1 (2021)</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>84.5</td> <td>96.2</td> <td>73.7</td> <td>15.5</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化芸術活動研修会参加者数(人) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">達成</span></li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>25</td> <td>50</td> <td>75</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>-</td> <td>29</td> <td>63</td> <td>94</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>【評価及び今後の取組の方向】</p> <p>①新型コロナウイルス感染拡大の影響により、文化施設入場者数については、令和3年度も施設の一時閉鎖や催事の中止が相次ぎ、目標を達成することができなかった。研修会参加者数については、コロナ禍での企画力向上をテーマにオンラインで開催し、目標を達成することができた。</p> <p>②引き続き、文化芸術コーディネーターと連携し、文化施設等の催事力の向上支援と情報発信を行いながら県民が文化芸術に触れる機会を創出する必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		85.4 (2018)	86.3 (2019)	87.2 (2020)	88.1 (2021)	実績	84.5	96.2	73.7	15.5	-		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		25	50	75	100	実績	-	29	63	94	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化芸術コーディネーター等関係機関と連携した活動支援と情報発信を実施(再掲)</li> <li>・管内の団体や関係機関への新型コロナ対策関連を含む支援情報の提供(補助金等支援制度の周知)(再掲)</li> <li>・管内の団体や関係機関のネットワークの強化や次世代育成・継承のための研修会を開催するなど人材育成の取組を継続</li> </ul>
	現状値	2019	2020	2021	2022																																
目標		85.4 (2018)	86.3 (2019)	87.2 (2020)	88.1 (2021)																																
実績	84.5	96.2	73.7	15.5	-																																
	現状値	2019	2020	2021	2022																																
目標		25	50	75	100																																
実績	-	29	63	94	-																																

令和3年度の実績・評価及び令和4年度の実績方針

具体的 推進方策	令和3年度の実績内容(実施計画)	令和3年度の実績状況
③地域の文化財や文化芸術活動の魅力を伝える人材の育成	(1) 地域の文化財や文化芸術活動の魅力を伝える人材の育成 ○ボランティアガイド研修会等の開催	・研修会内容検討のための関係団体や講師との調整(文化振興課、ガイド団体、講師2名ほか) ・「東北に広がる奥州平泉とこれからの平泉文化」をテーマにスキルアップ研修会をオンライン開催(11/26 オンライン参加34名)、DVD貸出による研修内容の周知(視聴申込16団体・視聴者数90名)

令和3年度の実績及び今後の実績の方針	令和4年度の実績方針																		
<p>【指標の状況】</p> <p>・講習会参加者数(人)〔累計〕 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">概ね達成</span></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td>—</td> <td>50</td> <td>100</td> <td>150</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>—</td> <td>57</td> <td>103</td> <td>137</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>【評価及び今後の実績の方針】</p> <p>①新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンラインにより開催し、目標を概ね達成することができた。</p> <p>②今後も地域の歴史文化、魅力を伝える観光ガイド等への情報提供を継続する必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標	—	50	100	150	—	実績	—	57	103	137	—	・観光ガイド等への歴史・文化芸術関係情報の提供を継続
	現状値	2019	2020	2021	2022														
目標	—	50	100	150	—														
実績	—	57	103	137	—														

圏域の振興施策の基本方向	IV 米・園芸・畜産や林業などの多様な経営体が収益性の高い農林業を実践する地域						
重点施策	9 企業の経営体を中心となった収益性の高い産地の形成と協働・連携による農村地域の活性化を進めます						
<p>〔基本方向〕</p> <p>地域農業をけん引する企業の経営体を育成するため、認定農業者等の経営力の向上や規模拡大の取組等を促進するとともに、ほ場整備等を契機として、農地の集積・集約化などによる効率的な地域営農体制の構築を支援するほか、将来の産地を担う新規就農者の確保・定着を図ります。</p> <p>また、収益性の高い産地形成を進めるため、県オリジナル水稻新品種のブランド確立や、園芸・畜産の大規模経営体の育成、労働力の安定確保等を図るとともに、安全・安心で高品質な農畜産物の生産や一層の高付加価値化に向けた6次産業化等を促進します。</p> <p>さらに、農村地域でのいきいきとした暮らしの継承に向け、小規模兼業農家も参加した地域ビジョン等の作成とその実現に向けた実践活動のほか、企業との協働・連携活動、都市住民等との交流など、農村資源の保全や活用による地域づくりの取組を促進します。</p>							
重点指標		現状値	2019	2020	2021	2022	指標の動きに対するコメント
農業産出額（億円）	目標		976 (2018)	979 (2019)	983 (2020)	987 (2021)	<b>集計中</b> （令和4年6月末確定見込み） 2020年（2019年）の実績値は1,030億円となり目標を達成しています。 今後も産地をけん引する企業の経営体の育成等により収益性の高い産地形成を図り、産出額の拡大に向けて取り組みます。
	実績	974 (2016)	1,033 (2018)	1,030 (2019)	集計中	—	
<p>〔基本方向の実現に向けた取組〕</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 産地をけん引する企業の経営体の育成</li> <li>② 競争力の高い米産地の育成</li> <li>③ 園芸産地の生産構造の強化</li> <li>④ 畜産経営の生産性向上と規模拡大の促進</li> <li>⑤ 農畜産物のブランド化・高付加価値化の促進</li> <li>⑥ 協働・連携による農村地域の保全・活性化</li> </ol>							



令和3年度の取組状況・評価及び令和4年度の取組方針

具体的推進方策	令和3年度の取組内容(実施計画)	令和3年度の取組状況
① 産地をけん引する企業的经营体の育成	(1) 地域農業マスタープランの実質化・実践及び圃場整備事業による生産基盤の整備、農地の集積・集約化 ○地域農業マスタープランの実践促進 ○ほ場整備事業等による生産基盤の整備 ○農地中間管理事業を活用した農地の集積・集約化の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実質化した地域農業マスタープラン(162プラン:花巻38、遠野11、奥州51、一関62)の実践に向けた地方推進会議等の開催</li> <li>・工事が完了した農地の引き渡し(180ha:花巻15ha、奥州145ha、一関38ha)、地元説明会や事前審査会の実施、新規採択に向けた調査計画の推進</li> <li>・工事の発注(契約件数70/72件) 建設関連業務委託の発注(契約件数100/100件)</li> <li>・ほ場整備地区営農推進サポートチーム会議等の開催(管内延べ6回)、農地の集積・集約化を推進するためモデル地区(6地区:花巻3、遠野1、奥州1、一関1)の設定 〔集積状況(3月末):実績121.56ha、目標108.7ha〕</li> <li>・中心経営体である法人の今後の意向確認、農地中間管理事業等による農地集積等に係るモデル地区への助言</li> </ul>
	(2) 企業的经营体の育成や集落営農組織等の法人化や経営の高度化 ○企業的经营体*の育成に向けた支援 ※ 販売額概ね3,000万円以上又は所得概ね1,000万円以上の経営体(集落型法人等含む) ○集落営農組織の法人化の促進と経営の高度化の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重点指導農業者の選定及び意向確認、支援経営体候補リストの更新</li> <li>・企業的经营体育成候補を選定、個別指導の実施(60経営体655回)と実績評価</li> <li>・専門家と連携した課題解決指導の実施により、1経営体が法人化(奥州)</li> <li>・経営発展研修会の開催(10/27、11/8、12/15)</li> <li>・重点支援集落営農組織に対する法人化や園芸導入等の支援</li> <li>・集落営農組織4組織(奥州:農事組合法人 小山東、農事組合法人 南津田イレブン、農事組合法人 おらほ、農事組合法人 北下幅)が法人化 (R3目標19組織〔R2累計実績171組織、R2法人化9組織〕)</li> <li>・集落営農組織の法人化推進研修会、集落営農法人情報交換会等の開催(4地域33回)、相談窓口の設置</li> </ul>

令和3年度の評価及び今後の取組方向	令和4年度の取組方針																																																						
<p>【指標の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水田整備面積(ha)〔累計〕 (令和4年6月頃確定見込み) <span style="float:right">集計中</span></li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>13,569</td> <td>13,785</td> <td>14,003</td> <td>14,210</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>13,056</td> <td>13,518</td> <td>13,766</td> <td>集計中</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組方向】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①水田の大区画化、汎用化を図る水田整備については、早期の発注と的確な進捗管理により、目標を概ね達成する見込みである。</li> <li>②生産コストの低減、高収益作物の導入及び農地利用集積・集約化の促進等に向け、今後も水田整備を着実に推進する必要がある。</li> </ol> <p>【指標の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業的经营体の育成数(経営体)〔累計〕 <span style="float:right">達成</span></li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>34</td> <td>42</td> <td>63</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>19</td> <td>51</td> <td>61</td> <td>72</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集落型農業法人数(法人)〔累計〕 <span style="float:right">概ね達成</span></li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>173</td> <td>182</td> <td>190</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>148</td> <td>167</td> <td>171</td> <td>175</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組方向】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①企業的经营体については、今後育成すべき経営体を追加選定し、農家カルテ等による課題の共有と解決支援により、目標を達成することができた。 また、集落営農組織の法人化については、研修会や個別相談会等の開催や専門家の支援により、目標は概ね達成となった。</li> <li>②農業経営体数の減少が続く中、引き続き産地をけん引する企業的经营体の育成や、基盤整備後の担い手となる集落営農組織の法人化を進める必要がある。</li> </ol>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		13,569	13,785	14,003	14,210	実績	13,056	13,518	13,766	集計中	—		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		34	42	63	70	実績	19	51	61	72	—		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		173	182	190	200	実績	148	167	171	175	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担い手の経営効率化に向けたスマート農業の普及や機械・施設の導入支援等により、集落における地域農業マスタープランの実践を促進</li> <li>・ほ場整備事業等による生産基盤の整備を促進</li> <li>・ほ場整備を契機とした農地集積・集約化による中心経営体の育成や集落営農組織の法人化、園芸導入等の経営の高度化を支援</li> <li>・農地中間管理機構との連携により、地域農業マスタープランに位置付けられた中心経営体への農地の集積・集約化を促進</li> <li>・若手経営者の経営改善意識向上・発展に向けた研修会等の開催や、いわて農業経営相談センターとの連携等による育成対象経営体*支援</li> <li>・農地の集積・集約や機械・施設等の整備等の支援</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>※企業的经营体の育成対象は、現状の所得額にこだわらず、中長期経営計画等において、企業的经营体レベルを目指している意欲的な経営体を選定</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集落営農組織の経営発展段階に応じた法人化の支援法人間の連携促進、経営多角化の取組等の支援</li> <li>・課題解決を図る研修会等の開催による、経営の高度化の支援</li> </ul>
	現状値	2019	2020	2021	2022																																																		
目標		13,569	13,785	14,003	14,210																																																		
実績	13,056	13,518	13,766	集計中	—																																																		
	現状値	2019	2020	2021	2022																																																		
目標		34	42	63	70																																																		
実績	19	51	61	72	—																																																		
	現状値	2019	2020	2021	2022																																																		
目標		173	182	190	200																																																		
実績	148	167	171	175	—																																																		

令和3年度の取組状況・評価及び令和4年度の取組方針

具体的 推進方策	令和3年度の取組内容(実施計画)	令和3年度の取組状況
	<p>(3) <b>新規就農者の確保及び自立支援や青年・女性農業者の活動強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○新規就農者の確保及び就農後の自立支援</li> <li>○青年・女性農業者の活動強化やネットワーク化を支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規就農者確保のためワンストップ就農相談窓口等の設置、新規就農現地見学会等の開催(相談者のべ105名、相談回数177回)</li> <li>・新規就農者の就農計画作成、達成に関する支援</li> <li>・オンラインを活用した新規就農相談窓口を設置(8月～隔月)</li> <li>・先進農家による新規就農者の技術習得支援(花巻3経営体、遠野1経営体、奥州1経営体・1名、一関19名)</li> <li>・マイナビ農林水産FEST仙台出展(12/11:相談者5名、奥州・一関)</li> <li>・女性グループ等に対する補助事業導入支援(幸せ創る事業・花巻5グループ、遠野2グループ)</li> </ul>
<p>② <b>競争力の高い米産地の育成</b></p>	<p>(1) <b>新品種等県産米の早期ブランド確立</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「金色の風」、「銀河のしずく」等の高品質・良食味米生産体制強化</li> <li>○生産販売・流通体制の構築支援</li> <li>○その他(江刺金札米関連)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「金色の風」面積244ha(R2:275ha)、経営体数145経営体(R2:164)「銀河のしずく」面積561ha(R2:451ha)、経営体数186経営体(R2:170)(集荷数量は集計中)</li> <li>・「金色の風」「銀河のしずく」栽培研究会の活動支援(巡回指導、技術情報の発行等)、栽培実証圃(5ヶ所:遠野1、奥州4)の設置</li> <li>・「金色の風」栽培研究会現地研修会(奥州・一関合同、7/14、34名参加)、適期肥培管理を促進</li> <li>・「銀河のしずく」生産者マイスターの登録(5名・花巻)</li> <li>・首都圏米穀専門店2業者と「銀河のしずく」生産者マイスター・JAとのリモート産地交流会を開催(10/29、1/25)、「銀河のしずく」おにぎり配布PRを実施(12/8、花巻空港)、おにぎりを切り口とした神奈川県米穀店とのPRの実施(3/1～3/20)、「銀河のしずく」PR動画が完成(1月末)、花巻農業応援隊フェイスブックに掲載(2/4)</li> <li>・「金色の風サポーター」の登録(83名、うち新規11名)とPRグッズ送付による新米PR協力依頼</li> <li>・レベルアップ検討会(6回:4・6・7・8月、12/17、1/25)、及びオンライン意見交換会の開催(6/23、28名参加・うちサポーター6名)</li> <li>・「金色の風サポーター」15名を対象に調製方法を見直ししたR3年産米求評用サンプルを送付(9/28)、求評結果を情報共有(12/17)</li> <li>・関係機関と連携し「金色の風」新米を飲食店や学校給食に提供(11/4～6、2店舗・1小学校)及びひらいずみ産業まつりでPR(11/7)、集客に向けタウン誌へ記事掲載(10/28発行)</li> <li>・「金色の風」「銀河のしずく」を活用した食農教育(1中学校)</li> <li>・「江刺金札米」が100周年を迎えたことから江刺金札米100周年記念行事実行委員会によるプロジェクトを実施(「江刺金札米学会」シンポジウム:11/19、約50名 オンライン約90名、江刺金札米100周年記念博物館:11/20～3/27、於えさし郷土文化館)</li> <li>・取組状況の報告のため、実行委員長等による知事表敬を実施(12/13)</li> <li>・県庁地下食堂における「江刺金札米」の提供(12/20～28、140食/日)、いわて江刺金札米全国送料無料キャンペーンへの協力(デスクネットのインフォメーションに掲載)</li> <li>・シンポジウムの動画公開(3/7)</li> </ul>

令和3年度の評価及び今後の取組方向	令和4年度の取組方針																		
<p>【指標の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認定新規就農者数(人)〔累計〕 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">達成</span></li> </ul> <table border="1" data-bbox="1590 254 2160 373"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>62</td> <td>92</td> <td>118</td> <td>145</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>20</td> <td>60</td> <td>94</td> <td>143</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組方向】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①認定新規就農者については、就農相談者が増えたことや相談から就農後までの支援システムにより、目標を達成することができた。</li> <li>②新規就農者は、毎年90人前後で推移しており、積極的に情報発信や相談窓口体制の強化等により更に確保する必要がある。</li> </ol>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		62	92	118	145	実績	20	60	94	143	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産地リーダー等と関係機関等が連携して各地域に整備されている協議会が中心となり、技術・経営指導を実施</li> <li>・就農準備から就農後フォローアップまでの『就農支援システム』により早期自立を支援</li> <li>・県内外の就農相談フェアへの参加による情報発信</li> <li>・相談対応力向上のための研修会の開催等による就農相談窓口機能の強化</li> <li>・農業従事者の高齢化に対応した、経営資源や技術の事業承継の取組を支援</li> <li>・交流会や研修会の開催等による、青年・女性農業者の活動強化やネットワーク化の支援</li> </ul>
	現状値	2019	2020	2021	2022														
目標		62	92	118	145														
実績	20	60	94	143	—														
<p>【指標の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・米のオリジナル新品種販売数量(トン) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">概ね達成</span></li> </ul> <table border="1" data-bbox="1590 751 2160 871"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>3,170</td> <td>3,700</td> <td>4,308</td> <td>4,871</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>1,738</td> <td>3,136</td> <td>3,393</td> <td>3,825</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組方向】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①「金色の風」の作付面積は拡大しなかったものの、「銀河のしずく」の作付面積が拡大したこと、栽培管理指導等により単収は向上し、目標は概ね達成となった。</li> <li>②高品質・安定生産体制の強化やブランド化、単収向上等によるオリジナル新品種の作付面積拡大を進める必要がある。</li> </ol>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		3,170	3,700	4,308	4,871	実績	1,738	3,136	3,393	3,825	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現地展示・実証ほの設置や現地研修会の開催</li> <li>・栽培研究会等への栽培マニュアルの遵守指導による高品質・良食味米の生産体制の強化。特に、金色の風について、品質のばらつき軽減を支援</li> <li>・金色の風では首都圏米専門店等のサポーターを対象とした産地ツアー等、銀河のしずくでは生産者マイスターによる首都圏米穀専門店におけるPR活動等の実施による、認知度向上とブランド確立の推進</li> <li>・各種イベント等を利用した消費者等へのPR、地元飲食店及び学校給食との連携等による、県産米ブランド応援意識の醸成</li> <li>・多様なニーズに対応できる産地の構築</li> </ul>
	現状値	2019	2020	2021	2022														
目標		3,170	3,700	4,308	4,871														
実績	1,738	3,136	3,393	3,825	—														

令和3年度の取組状況・評価及び令和4年度の取組方針

具体的 推進方策	令和3年度の取組内容(実施計画)	令和3年度の取組状況
	<p>(2) 低コスト技術の普及拡大及びスマート農業技術の導入促進、水田における土地利用型作物の生産性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○低コスト生産技術の普及促進</li> <li>○スマート農業技術の導入促進</li> <li>○土地利用型作物等の生産性向上支援</li> <li>○主食用米以外の品目への作付転換推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低コストモデル経営体(4経営体、奥州2、一関2)の選定、栽培技術、経営管理等指導</li> <li>・直播等面積調査(9月)・・・486.1ha</li> <li>・R4年度次期モデル経営体の選定及び導入技術検討(12月～、一関2)</li> <li>・水位・水温センサーの設置(12ヶ所:花巻2、奥州5、一関5)、実証実施(5月～9月)により省力支援</li> <li>・自動操舵トラクター(8台)、ブームスプレイヤー(1台)導入支援(一関)</li> <li>・リモートセンシング技術等の活用による食味の向上、小麦(花巻)の刈取適期判断</li> <li>・花北遠野地域スマート農業推進会議実績検討会の開催(書面、3月)</li> <li>・新たな土地利用型作物の実証圃設置(奥州6ヶ所:大豆5ヶ所、加工用ばれいしょ1ヶ所)</li> <li>・取引先との作付け拡大打合せ、新規収穫機械導入支援(奥州 ばれいしょ)</li> <li>・大豆乾燥調製施設竣工、10月下旬供用開始、小麦種子乾燥調製竣工(3/4)(花巻)</li> <li>・4年度の作付転換を支援する国庫事業:水田リノベーション事業(2協議会)、麦・大豆生産性向上事業(9経営体)の要望提出</li> </ul>

令和3年度の評価及び今後の取組方向	令和4年度の取組方針
<p>【評価及び今後の取組方向】</p> <p>①低コストモデル経営体の米生産費10,000円/60kg超の見込み(一関)である。 また、水位・水温センサーの設置やドローンの活用による省力化等の実証により、大規模経営体におけるスマート農業への関心が高まっている。</p> <p>②米価下落を受けて、主食用米以外の品目への作付転換、生産性向上による所得を確保する必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模経営体への低コスト技術導入に向けた研修会の開催や実証試験の実施等による乾田直播等省力技術の普及拡大</li> <li>・水位・水温センサーの活用による省力管理等、スマート農業技術の体系的な実証による、経営規模やほ場条件に応じたスマート農業技術の導入促進</li> <li>・米以外の土地利用型作物の生産性向上による所得確保の支援</li> <li>・集落営農組織等への技術指導や、暗渠排水の整備等のほ場整備を進め、水田を活用した麦・大豆・たまねぎ・じゃがいも等の導入・拡大を推進</li> </ul>

令和3年度の取組状況・評価及び令和4年度の取組方針

具体的推進方策	令和3年度の取組内容(実施計画)	令和3年度の取組状況																																																																																
③園芸産地の生産構造の強化	(1) 産地の中核を担う経営体の経営拡大促進 ○施設園芸団地や土地利用型団地の形成促進、大規模経営体の育成 ○スマート農業技術の導入等による生産性向上支援 ○労働力の安定確保体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>「いわて型野菜トップモデル産地創造事業(県単)」により整備された6団地(ピーマン、トマト、たまねぎ、ねぎ)に係る各産地の集中支援チームによる栽培管理指導の実施</li> <li>重点園芸品目の系統販売数量・額(t、千円):R4.2月末現在</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">前年同期</th> <th colspan="2">前年対比</th> </tr> <tr> <th>数量</th> <th>金額</th> <th>数量</th> <th>金額</th> <th>数量</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トマト</td> <td>2,608</td> <td>854,715</td> <td>2,507</td> <td>911,279</td> <td>104%</td> <td>94%</td> </tr> <tr> <td>ミニトマト</td> <td>4,603</td> <td>1,501,825</td> <td>4,182</td> <td>1,923,226</td> <td>110%</td> <td>78%</td> </tr> <tr> <td>たまねぎ</td> <td>187</td> <td>13,265</td> <td>207</td> <td>14,196</td> <td>90%</td> <td>93%</td> </tr> <tr> <td>ねぎ</td> <td>763</td> <td>183,058</td> <td>780</td> <td>224,135</td> <td>98%</td> <td>82%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・6団地の取組状況について(上段:面積 ha、下段:販売額 千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">※R3実績数値は10月現在</th> <th colspan="2">R2</th> <th colspan="2">R3</th> </tr> <tr> <th>目標</th> <th>実績</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>花北地域園芸産地協議会(ピーマン)</td> <td>23.3 402,767</td> <td>24.3 518,736</td> <td>26.3 467,568</td> <td>集計中</td> </tr> <tr> <td>遠野地域ピーマン産地協議会(ピーマン)</td> <td>4.22 69,306</td> <td>5.2 136,262</td> <td>4.22 69,306</td> <td>5.60 114,184</td> </tr> <tr> <td>奥州金ヶ崎施設園芸協議会(ピーマン)</td> <td>36.3 577,220</td> <td>37.0 810,888</td> <td>37.6 599,440</td> <td>集計中</td> </tr> <tr> <td>一関地域園芸産地協議会(トマト・ピーマン)</td> <td>206,000</td> <td>212,000</td> <td>250,000</td> <td>199,000</td> </tr> <tr> <td>花巻地域園芸産地協議会(たまねぎ)</td> <td>31.8 67,775</td> <td>16.0 6,001</td> <td>40.5 90,187</td> <td>集計中</td> </tr> <tr> <td>江刺地域園芸産地協議会(ねぎ)</td> <td>10.7 65,912</td> <td>6.5 20,709</td> <td>15.0 96,600</td> <td>集計中</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>ねぎ排水対策実証圃の設置(奥州1ヶ所)、実演会開催(4/15、40名)</li> <li>若手野菜経営体に対する技術・経営の重点指導(随時)</li> <li>環境モニタリングシステム機器導入のため事業活用や環境制御機器を整備した農家の管理指導の実施</li> <li>パワーアシストスーツによる果樹作業の省力化実証(花巻)</li> <li>J A無料職業紹介所等の求人募集の周知や雇用情報等の提供</li> <li>農福連携による農作業実証や農福連携支援員による農家と福祉事業所等のマッチング</li> </ul> <p>(福祉事業所8施設(R3新規4施設)、受入農家等14経営体(R3新規6経営体)、契約数16件(R3新規契約数7件))</p>		実績		前年同期		前年対比		数量	金額	数量	金額	数量	金額	トマト	2,608	854,715	2,507	911,279	104%	94%	ミニトマト	4,603	1,501,825	4,182	1,923,226	110%	78%	たまねぎ	187	13,265	207	14,196	90%	93%	ねぎ	763	183,058	780	224,135	98%	82%	※R3実績数値は10月現在	R2		R3		目標	実績	目標	実績	花北地域園芸産地協議会(ピーマン)	23.3 402,767	24.3 518,736	26.3 467,568	集計中	遠野地域ピーマン産地協議会(ピーマン)	4.22 69,306	5.2 136,262	4.22 69,306	5.60 114,184	奥州金ヶ崎施設園芸協議会(ピーマン)	36.3 577,220	37.0 810,888	37.6 599,440	集計中	一関地域園芸産地協議会(トマト・ピーマン)	206,000	212,000	250,000	199,000	花巻地域園芸産地協議会(たまねぎ)	31.8 67,775	16.0 6,001	40.5 90,187	集計中	江刺地域園芸産地協議会(ねぎ)	10.7 65,912	6.5 20,709	15.0 96,600	集計中
		実績		前年同期		前年対比																																																																												
数量		金額	数量	金額	数量	金額																																																																												
トマト	2,608	854,715	2,507	911,279	104%	94%																																																																												
ミニトマト	4,603	1,501,825	4,182	1,923,226	110%	78%																																																																												
たまねぎ	187	13,265	207	14,196	90%	93%																																																																												
ねぎ	763	183,058	780	224,135	98%	82%																																																																												
※R3実績数値は10月現在	R2		R3																																																																															
	目標	実績	目標	実績																																																																														
花北地域園芸産地協議会(ピーマン)	23.3 402,767	24.3 518,736	26.3 467,568	集計中																																																																														
遠野地域ピーマン産地協議会(ピーマン)	4.22 69,306	5.2 136,262	4.22 69,306	5.60 114,184																																																																														
奥州金ヶ崎施設園芸協議会(ピーマン)	36.3 577,220	37.0 810,888	37.6 599,440	集計中																																																																														
一関地域園芸産地協議会(トマト・ピーマン)	206,000	212,000	250,000	199,000																																																																														
花巻地域園芸産地協議会(たまねぎ)	31.8 67,775	16.0 6,001	40.5 90,187	集計中																																																																														
江刺地域園芸産地協議会(ねぎ)	10.7 65,912	6.5 20,709	15.0 96,600	集計中																																																																														
	(2) 果樹・花きの実需者ニーズに対応した生産出荷等による産地拡大 ○産地リーダーが主体となった園芸品目毎の実践プランの取組を支援 ○花き・園芸の実需者ニーズに対応した品種構成等の見直しや生産性向上の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>産地支援行動計画に基づき、産地リーダーが主体となった園芸品目毎の実践プランの取組を支援</li> <li>重点園芸品目(トマト、きゅうり、ピーマン、なす、アスパラガス、ねぎ、りんどう、小ぎく)等に係る栽培指導会(随時)、難防除病害虫対策検討(随時)等による支援</li> <li>りんごジョイント栽培実証圃設置(奥州1ヶ所)</li> </ul>																																																																																

令和3年度の取組状況	令和3年度の評価及び今後の取組方向	令和4年度の取組方針																																				
<p>【指標の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>重点園芸品目の系統販売額(百万円/年)(令和4年6月頃確定見込み) <span style="float:right">集計中</span></li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>4,754</td> <td>4,836</td> <td>4,918</td> <td>5,050</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>4,580</td> <td>4,931</td> <td>5,242</td> <td>集計中</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>※トマト、きゅうり、ピーマン、なす、アスパラガス、ねぎ、りんどう、小ぎくの合計 現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組方向】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①団地化と単収技術向上等の支援によりピーマン等果菜類では出荷量は増加したが、単価安により、目標は概ね達成する見込みである。</li> <li>②規模拡大した農家への継続した栽培管理や経営管理能力向上支援をする必要がある。</li> </ol>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		4,754	4,836	4,918	5,050	実績	4,580	4,931	5,242	集計中	—	<p>【指標の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>販売額1,000万円以上の園芸農家戸数(戸)(令和4年6月頃確定見込み) <span style="float:right">集計中</span></li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>84</td> <td>86</td> <td>89</td> <td>92</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>81</td> <td>77</td> <td>96</td> <td>集計中</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組方向】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①単収改善が進んだが販売単価が低く推移したものの、目標を達成する見込みである。</li> <li>②産地の生産性向上に向けた栽培の省力化や単収向上を引き続き支援する必要がある。</li> </ol>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		84	86	89	92	実績	81	77	96	集計中	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関・団体等から構成される「地域集中支援チーム」等による重点支援、生産性向上に向けた機械・施設等の整備支援による、産地の中核を担う大規模経営体の育成</li> <li>特に若手経営体への集中的な総合支援の実施</li> <li>環境制御技術等のスマート農業技術の導入促進や作業工程等の改善指導による、生産性の向上や規模拡大の促進</li> <li>農福連携を志向する農業者と福祉施設のマッチングや各種連携の優良事例の共有化の推進</li> <li>地域のワークシェアの検討による、短期雇用など労働力確保及び就労体系の確立を支援</li> <li>外部専門家による作業工程等の改善指導、農業経営者の雇用導入に係るスキルアップ研修会等の開催による、規模拡大に向けた安定的な労働力の確保</li> </ul>
	現状値	2019	2020	2021	2022																																	
目標		4,754	4,836	4,918	5,050																																	
実績	4,580	4,931	5,242	集計中	—																																	
	現状値	2019	2020	2021	2022																																	
目標		84	86	89	92																																	
実績	81	77	96	集計中	—																																	
	<p>【評価及び今後の取組方向】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①実証圃の設置による難防除病害虫対策検討等により、各展示圃について、病害発生がおおむね低く抑えられるなど効果が見られた。</li> <li>②果樹・花きの実需者ニーズに対応した安定出荷に向け、品種構成や作型の見直し、計画的な新改植等を引き続き促進する必要がある。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>産地支援行動計画に基づき、産地リーダーが主体となった園芸品目毎の実践プラン等の取組を支援</li> <li>品種構成や作型の見直し、計画的な新改植等の促進、生産性向上に向けた機械・施設等の整備を支援</li> </ul>																																				

令和3年度の取組状況・評価及び令和4年度の取組方針

具体的推進方策	令和3年度の取組内容(実施計画)	令和3年度の取組状況																																							
④畜産経営の生産性向上と規模拡大の促進	<p>(1) 担い手の生産性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○新技術の導入や飼養管理方式の改善を支援</li> <li>○素牛導入、施設整備等による生産基盤の強化</li> <li>○牛伝染性リンパ腫等の感染防止体制整備、暑熱ストレス低減の技術普及</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管内「いわて牛」、子牛出荷状況 ※釜石、大槌含む</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">R 2</th> <th colspan="2">R 3</th> </tr> <tr> <th>頭数</th> <th>平均価格</th> <th>頭数</th> <th>平均価格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上段: 県南</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>下段: 全県</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>いわて牛出荷頭数</td> <td>3,526</td> <td>—</td> <td>883</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>5,367</td> <td></td> <td>1,229</td> <td></td> </tr> <tr> <td>子牛市場</td> <td>6,271</td> <td>674,021</td> <td>6,111</td> <td>723,507</td> </tr> <tr> <td>※価格は税込み(円)</td> <td>18,860</td> <td>660,869</td> <td>18,188</td> <td>713,656</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・酪農・肉牛サポートチームによる飼養管理等改善指導(随時) 分娩間隔短縮4/4戸(肉牛)、乳量向上3/3戸(酪農)</li> <li>・畜産公共事業等を活用した施設整備や家畜導入の支援 [草地基盤整備事業: 奥州、生産基盤拡大加速化事業(繁殖・肥育素牛導入): 奥州、畜産クラスター事業: 一関]</li> <li>・乳房炎ワクチンの活用を管内全域に支援し、新たに3経営体が取組開始(ワクチン活用農家 奥州5経営体)</li> <li>・牛伝染性リンパ腫の対策を行うモデル農家(一関4経営体)、公共牧場(奥州・一関)、キャトルセンター(奥州)への分離飼養等の指導(防虫ネット設置、アブキャップ設置、アブジャケット着用)</li> </ul>		R 2		R 3		頭数	平均価格	頭数	平均価格	上段: 県南					下段: 全県					いわて牛出荷頭数	3,526	—	883	—		5,367		1,229		子牛市場	6,271	674,021	6,111	723,507	※価格は税込み(円)	18,860	660,869	18,188	713,656
		R 2		R 3																																					
頭数		平均価格	頭数	平均価格																																					
上段: 県南																																									
下段: 全県																																									
いわて牛出荷頭数	3,526	—	883	—																																					
	5,367		1,229																																						
子牛市場	6,271	674,021	6,111	723,507																																					
※価格は税込み(円)	18,860	660,869	18,188	713,656																																					
(2) 外部支援組織の強化・有効活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○キャトルセンターの機能強化・運営支援、公共牧場へのICT技術促進等</li> <li>○良質な自給飼料確保のためのコントラクター組織の育成・強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地経費を活用した暑熱対策(遮熱シート設置)による牛房温度の低減実証</li> <li>・キャトルセンター、公共牧場の飼養・衛生管理技術向上支援</li> <li>・良質な粗飼料を確保するための肥培管理・草地更新指導、受胎率改善に向けた飼料設計支援(花巻・遠野・奥州・一関)</li> <li>・BLEタグによる放牧省力化支援、ドローンと人工知能を活用した、採草地の植生診断と改善対策(草地更新)の提案(奥州)</li> <li>・広域コントラクター(県農業公社)と地域コントラクターの作業調整(作業スケジュールに合わせた品種選定、肥培管理、作業分担: 奥州)</li> <li>・地域コントラクターの運営改善支援(収穫量調査、原価計算、価格設定等: 奥州)</li> </ul>																																							

令和3年度の評価及び今後の取組方向	令和4年度の取組方針																		
<p>【指標の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・繁殖牛20頭以上の経営体数(経営体) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">概ね達成</span></li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td style="border: none;">/</td> <td>163</td> <td>167</td> <td>167</td> <td>172</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>158</td> <td>164</td> <td>163</td> <td>156</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組方向】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①サポートチームによる飼養管理支援やキャトルセンターの活用により、目標は概ね達成となった。</li> <li>②担い手の生産性向上を図るため、肥育素牛確保、粗飼料生産・供給体制の強化や、牛伝染性リンパ腫感染予防として分離飼養等の普及啓発に引き続き取り組む必要がある。</li> </ol> <p>【評価及び今後の取組方向】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①暑熱対策(遮熱シート設置)については牛房温度の低減により、人工授精頭数が増加する等、効果が実証された。また、キャトルセンター等への飼養・衛生管理技術向上指導により、肥育素牛の増体が向上した。</li> <li>②外部支援組織の有効利用による担い手の規模拡大を促進するため、キャトルセンター・公共牧場等の強化と有効利用に引き続き取り組む必要がある。</li> </ol>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標	/	163	167	167	172	実績	158	164	163	156	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サポートチームによる定期巡回指導やICT等新技術の導入支援による分娩間隔の短縮等の実施</li> <li>・生産性を阻害する要因(牛伝染性リンパ腫等)の排除に向け、感染防止の体制整備や暑熱ストレス低減のための技術普及など飼養管理方式の改善を支援</li> <li>・「全国和牛能力共進会inかごしま」への出品農家の支援や肉用牛改良・育成技術に係る先進地研修の実施により、管内和牛子牛の評価向上を図る</li> <li>・素牛導入や施設整備等による生産基盤強化の支援、経営力向上に係る研修会開催による、担い手農家の規模拡大支援</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャトルセンターの機能強化、公共牧場の牧野管理技術の向上等による運営支援</li> <li>・初妊牛の乳房炎対策や携帯式超音波画像診断器を活用した受胎率向上対策等による収益力向上支援</li> <li>・「コントラクター等育成・強化プラン」に基づく、コントラクターの課題解決、新規育成、連携・調整等の取組支援</li> </ul>
		現状値	2019	2020	2021	2022													
	目標	/	163	167	167	172													
実績	158	164	163	156	—														

令和3年度の取組状況・評価及び令和4年度の取組方針

具体的 推進方策	令和3年度の取組内容(実施計画)	令和3年度の取組状況	令和3年度の評価及び今後の取組方向	令和4年度の取組方針																																										
<p>⑤ 農畜産物のブランド化・高付加価値化の促進</p>	<p>(1) 農畜産物ブランドの評価向上 ○地域特産物のブランド化支援、PR活動支援 ○ブランド化のためのGAP認証取得、確認・登録の促進</p>	<p>[二子さといも(北上)] ・栽培面積19ha(R2:26ha)、出荷数量(集計中)t(R2:179t) ・生産拡大に向けた栽培管理指導(随時)及び種芋確保のための貯蔵方法の試験データを生産者向け情報紙に掲載し情報共有(6回)</p> <p>[西わらび(西和賀)] ・栽培面積47.1ha(R2:45.7ha)、出荷数量22.9t(R2:24.8t) ・G I 認証申請に向けた関係機関打合せ12回、わらび選別等研修会開催(5/31)、わらび原種圃設置(1ヶ所)、生育巡回(8月)、わらび原種圃・系統圃・施肥試験圃:調査指導11回、わらび餅の里づくり協議会・餅加工試験打合せ等支援8回</p> <p>[りんご(奥州)] ・栽培面積(R2):奥州ロマン501a(R1:450ha)、江刺ロマン193a ・「奥州ロマン」「江刺ロマン」の品種特性把握実証圃の設置(2ヶ所)、栽培マニュアル発行に向けた協議(JA江刺りんご部会品種栽培班、8/6)、マニュアル原稿完成(12月) ・県版GAP審査指導(奥州 団体2 個人12、教育1) ・「金色の風」栽培研究会のASIAGAP(団体認証)に向けた農場個別指導(計4回)、団体事務局指導(5/31) (一関) ・GAP概要説明や研修会の開催(株エーデルワインや農事組合法人、花巻農業高校、ばれいしょ農家等)</p> <p>■GAP認証等取得状況</p> <table border="1" data-bbox="721 1003 1486 1218"> <thead> <tr> <th>GAP種類</th> <th>花巻</th> <th>遠野</th> <th>奥州</th> <th>一関</th> <th>県南計</th> <th>県計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>グローバル</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>2</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>アジア</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>JGAP</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>13</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>県版GAP</td> <td>7</td> <td></td> <td>13</td> <td>3</td> <td>21</td> <td>52</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>13</td> <td>1</td> <td>15</td> <td>12</td> <td>39</td> <td>80</td> </tr> </tbody> </table>	GAP種類	花巻	遠野	奥州	一関	県南計	県計	グローバル	1			1	2	5	アジア			1	2	3	3	JGAP	5	1	1	6	13	20	県版GAP	7		13	3	21	52	計	13	1	15	12	39	80	<p>【評価及び今後の取組方向】</p> <p>①・二子さといもについては、栽培面積が前年を下回ったものの出荷量が前年を上回る見込み。疫病予防、害虫防除の情報発信により本年度の疫病は確認されなかった。 ・西わらびについては、新規作付面積増加するも高齢化等による面積減があり、コロナの影響で収穫作業ボランティア中止となったことあり集荷数量は前年度を下回った。G I 登録については「青果」としての再申請を進めており、進捗は順調。 ・「奥州ロマン」「江刺ロマン」については、栽培面積は前年を上回り、R4は推奨品種として推進し作付け予定増(奥州ロマン: R3:4a→R4:40a)であるが、今年度は凍霜害による結実量の不足、果実品質の低下がみられた。</p> <p>②農畜産物ブランド力の向上に向け、関係機関・団体等と連携したPR・販売活動を展開するとともに、地理的表示保護制度(G I)の活用等による評価向上の取組を引き続き支援する必要がある。</p>	<p>・「西わらび」や「金色の風」等、ブランド農畜産物の安定的な生産体制づくりの支援、更なる認知度向上や販路・需要拡大に向け、関係機関・団体等と連携したPR活動や販促活動を支援 ・農畜産品目のブランド化にとどまらず、他の地域資源(食材や食文化、伝統工芸等)との連携による高付加価値化の取組を推進 ・農業生産工程管理(GAP)の認証取得や維持、確認・登録の促進</p>
	GAP種類	花巻	遠野	奥州	一関	県南計	県計																																							
グローバル	1			1	2	5																																								
アジア			1	2	3	3																																								
JGAP	5	1	1	6	13	20																																								
県版GAP	7		13	3	21	52																																								
計	13	1	15	12	39	80																																								
<p>(2) 地域資源の高付加価値化 ○6次産業化及び起業化、経営改善支援 ○産直の運営改善、食品衛生法改正に伴う衛生管理の取組等の支援</p>	<p>・地元の食品企業等のニーズに対応した商品開発等の6次産業化の取組支援 花巻:ハコショウ食品 朝ごはんプロジェクト主要メンバーとの話し合い(11月) 遠野:宮守川上流生産組合 6次化支援センター支援案件として専門家派遣等支援実施中(4月~3月) 奥州:いさわ産直センター 多機能型事業所わかくさと連携したりんご加工作業開始(12月~) 一関:きんいろパン屋 専門家派遣実施(4月) アグリ平泉、きんいろパン屋関係者との話し合い(課題の洗い出し等)(10月~11月)</p> <p>・6次産業化実践支援研修会(1/27→コロナにより中止、花巻) ・食品開発基礎講座の実施(6~7月、計4回 のべ179人) ・食品衛生法改正に係る産直・小規模向け研修会開催(遠野:4/7、11/29・各21人、奥州:5/17・51人、一関:10/18、19・計51人) ・農薬適正使用研修会(一関:11/29・9産直23名)</p>	<p>【指標の状況】</p> <p>・商品開発等の支援による6次産業化件数(件) [累計] <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">達成</span></p> <table border="1" data-bbox="1587 1291 2160 1417"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>3</td> <td>6</td> <td>14</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>14</td> <td>19</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の実績値</p> <p>【評価及び今後の取組方向】</p> <p>①個別相談会の開催やプランナー等の支援により、目標を達成することができた。 ②農家の所得向上のため、地域資源の活用を促進するとともに、あらかじめ販路を見据えた商品開発を引き続き支援する必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		3	6	14	17	実績	1	5	14	19	—	<p>・重点支援対象を取組モデルに位置づけるとともに、6次化支援担当者のスキルアップ、実践者の発展段階に応じた専門家派遣や研修会等を実施 ・既に6次産業化に取り組む事業者の経営課題の解決を支援 ・産直施設の運営改善及び販売拡大に向けた専門家派遣や運営改善研修会の開催、食品衛生法改正に伴うHACCPに沿った衛生管理等の取組を支援</p>																									
	現状値	2019	2020	2021	2022																																									
目標		3	6	14	17																																									
実績	1	5	14	19	—																																									

令和3年度の取組状況・評価及び令和4年度の取組方針

具体的 推進方策	令和3年度の取組内容(実施計画)	令和3年度の取組状況
<p>⑥ 協働・連携による農村地域の保全・活性化</p>	<p>(1) 企業や都市住民等と農村との協働・連携による農村地域の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○中山間地域の活性化に向けた「地域ビジョン」の作成・実践支援</li> <li>○企業や都市住民等と農村との協働・連携活動の促進</li> <li>○都市住民等と農村の交流促進</li> <li>○食文化・農村文化の維持・継承</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域ビジョン」策定を志向する地区との打合せ実施2回、補助事業の導入支援(奥州:新規策定1地区)</li> <li>・「世界・日本農業遺産」の再申請に向けた取組を通じた地域活性化支援(奥州・一関)</li> <li>・東稲山麓地域世界農業遺産認定推進協議会の運営(総会(6/1)、幹事会(5/21、3/18))</li> <li>・世界農業遺産認定推進協議会企画推進室の開設(設置期間:7/26～R4/3/31)</li> <li>・農村トラスト制度<sup>※</sup>への参加企業:0社(新型コロナウイルス拡大の影響により、首都圏企業2社が今年度の参加を見送り) ※企業による応援型社会貢献プログラム</li> <li>・地域説明会の開催(3地区:10/28、11/2、12/2)</li> <li>・有識者等との意見交換会の実施(10/15、10/22)</li> <li>・地域活動団体による地域活性化の取組支援(赤生津地域活性化協議会、3市町物産販売促進委員会他)</li> <li>・農村トラスト制度PRに係る委託契約(12/23)</li> <li>・各グリーンツーリズム協議会等の新型コロナ対応、県内からの受入再開支援(花巻)</li> <li>・「FarmStayいわて奥州」ワークショップを実施(10/25、11/15、11/29、12/13、1/14)、日帰り体験コンテンツをブラッシュアップ</li> <li>・食の匠のDVD作成(遠野、花巻、奥州)、前年度作成したDVDの図書館等への提供(花巻・遠野:3月に県立図書館へ提供、奥州:5/28提供。貸出実績は奥州市立図書館12回、各地区センター計78回)</li> </ul>
	<p>(2) 地域協働による農村資源の維持・保全</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○日本型直接支払制度の活用等による地域の生産基盤、多面的機能の維持・保全体制の構築</li> <li>○農業水利施設の防災減災対策や補修・更新</li> <li>○総合的な鳥獣被害防止対策の取組促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本型直接支払制度の実施手続き支援</li> <li>・農業水利施設の防災減災対策の円滑な実施</li> <li>・被害予測条件等の情報提供による防災重点ため池ハザードマップ作成支援(R3作成事業認定74ヶ所:花巻15、奥州48、一関11)</li> <li>・各市町の鳥獣被害防止対策への助言、鳥獣被害防止総合支援事業の円滑な実施に向けた計画書作成支援等</li> <li>・ドローンによるニホンジカ生息数調査(対象地区:遠野市小友町11/30:県農業振興課)</li> </ul>

令和3年度の評価及び今後の取組方向	令和4年度の取組方針																																				
<p>【指標の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ビジョンに基づく実践活動実施集落(集落)〔累計〕概ね達成</li> </ul> <table border="1" data-bbox="1590 296 2160 415"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>11</td> <td>13</td> <td>15</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>6</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>13</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組方向】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①農村地域活性化のため対象地域を重点的に支援したことにより、目標は概ね達成となった。</li> <li>②地域ビジョンに基づき、活性化に取組む集落等の掘り起しと実践の支援をする必要がある。また、農業遺産登録認定に向けた取組等により農村地域の活性化を図るため、都市住民との協働や首都圏企業と連携した地域活性化の活動等を引き続き支援する必要がある</li> </ul>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		11	13	15	17	実績	6	10	11	13	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模・兼業農家も参加して集落が作成する「地域ビジョン」の実践の取組を支援</li> <li>・都市住民との協働や首都圏企業と連携した地域活性化の活動等を支援</li> <li>・各地域グリーン・ツーリズム推進協議会における研修会等の開催、地域の食材や食文化、農村文化や伝統行事と各種体験を併せた企画等の提案により、コロナ感染症収束後を見据えた受入団体等の取組を支援</li> <li>・食文化や農村文化の維持継承に向け、食の匠の伝承活動や継承者育成を支援</li> </ul>																		
	現状値	2019	2020	2021	2022																																
目標		11	13	15	17																																
実績	6	10	11	13	—																																
<p>【指標の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グリーン・ツーリズム交流人口(千人回) (令和4年6月頃確定見込み) 集計中</li> </ul> <table border="1" data-bbox="1590 930 2160 1050"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>490</td> <td>495</td> <td>500</td> <td>505</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>481</td> <td>422</td> <td>311</td> <td>集計中</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組方向】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①新型コロナウイルス感染拡大の影響により、旅行者が減少したことから、目標の達成は困難な見込みである。</li> <li>②コロナ収束後を見据えた支援を検討する必要がある。</li> </ul> <p>【指標の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域共同活動による農地等の保全管理への参加人数(人/年) (令和4年6月頃確定見込み) 集計中</li> </ul> <table border="1" data-bbox="1590 1381 2160 1501"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>59,534</td> <td>59,534</td> <td>59,534</td> <td>59,534</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>59,534</td> <td>59,048</td> <td>60,155</td> <td>集計中</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組方向】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①農業生産基盤である農地・農業用施設の維持・保全に向けた地域協働による実践活動支援により、目標を達成する見込みである。</li> <li>②地域協働による実践活動支援を継続していく必要がある。</li> </ul>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		490	495	500	505	実績	481	422	311	集計中	—		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		59,534	59,534	59,534	59,534	実績	59,534	59,048	60,155	集計中	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本型直接支払制度の活用や、集落戦略の作成、アドプト協定に係る取組を支援</li> <li>・防災重点ため池の耐震診断やハザードマップ作成支援、施設機能診断に基づく補修・更新</li> <li>・地域ぐるみによる侵入防止柵の設置、わなや一斉捕獲等による駆除を組み合わせた総合的な被害防止対策を支援</li> </ul>
	現状値	2019	2020	2021	2022																																
目標		490	495	500	505																																
実績	481	422	311	集計中	—																																
	現状値	2019	2020	2021	2022																																
目標		59,534	59,534	59,534	59,534																																
実績	59,534	59,048	60,155	集計中	—																																

圏域の振興施策の基本方向	IV 米・園芸・畜産や林業などの多様な経営体が収益性の高い農林業を実践する地域						
重点施策	10 森林資源の循環利用により、林業・木材産業を振興します						
〔基本方向〕 担い手の育成・確保及び先進的な技術の導入や、低コスト林業による森林資源の循環利用を進めるとともに、特用林産物のブランド力の回復と販路拡大に取り組みます。							
重点指標		現状値	2019	2020	2021	2022	指標の動きに対するコメント
木材生産額（百万円）	目標		5,150	5,160	5,180	5,200	集計中（令和5年3月確定見込み） 2020年の実績値は4,235百万円となっています。 今後も先進的な技術の導入や森林資源の循環利用に取り組みます。
	実績	5,120	4,837	4,235	集計中	—	
〔基本方向の実現に向けた取組〕 ① 森林・林業の理解促進やイメージアップによる担い手の育成・確保 ② 森林施業の集約化の促進や情報通信技術（ICT）の導入等による林業経営の効率化 ③ 低コスト林業の推進や未利用資源の有効活用による木材の安定供給 ④ 特用林産物の産地再生とブランド力の回復 ⑤ 地域に根ざした特用林産物の生産振興							



令和3年度の取組状況・評価及び令和4年度の取組方針

具体的推進方策	令和3年度の取組内容(実施計画)	令和3年度の取組状況
①森林・林業の理解促進やイメージアップによる担い手の育成・確保	(1) 森林・林業への理解醸成や就労者の確保 ○講座や現場体験の実施 ○苗木のスクールステイ実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>花巻森組職場見学会の開催（花巻：8/2 1名）</li> <li>県就業支援員と情報交換（花巻：6/14、7/1、11/24）</li> <li>県就業支援員主催の企業見学会への支援（花巻1年31名：11/26 花巻森組）</li> <li>県就業支援員の企業ガイダンスによる理解醸成（花巻：中止）</li> <li>職業学習のためのアンケート実施（奥州：6校）</li> <li>職業学習のための学校訪問（奥州：3校）</li> <li>森林・林業体験講座・現場体験（奥州：中止）</li> <li>いわて林業アカデミー修了生と管内高校生等の懇談（遠野：中止）</li> <li>高等学校を対象とした森林・林業体験教室の実施（一関：中止）</li> <li>林業アカデミーオープンキャンパス参加（7/27、28 5名）</li> <li>林業アカデミー畑わさび研修支援（遠野：4/19）</li> <li>森林教室・作業体験（奥州：10/14 1校、一関：10/15、11/1、11/16 2校）</li> <li>R5全国植樹祭に向けた苗木のスクールステイ(小学校対象)を通じた森林環境学習の実施（花巻：1校、遠野：10校、一関：2校）</li> <li>R4職業学習等要望調査（奥州：2/10 3校）</li> </ul>
	(2) 知識と技術を備えた現場技術者の育成・確保 ○技術研修の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林経営専門家派遣研修（県南：6/25）</li> <li>伐木技術普及研修の開催 遠野：9/28(9名)、花巻：10/26(3名)、奥州：11/25(6名)、一関：2/8(4名)</li> <li>先進地事例調査（久慈）の実施（花巻：5/12、6/7）</li> <li>林業労働力災害防止対策の徹底 現場指導実施（県南：8/10、30、9/7）</li> <li>花巻森組労働安全研修会での指導（花巻：12/10）</li> <li>労働災害防止集団指導会（1/19）での指導及び資料配付</li> </ul>

令和3年度の評価及び今後の取組方向	令和4年度の取組方針																		
<p>【指標の状況】</p> <p>・林業技能者数(人)〔累計〕 <span style="float: right;">達成</span></p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">180</td> <td style="text-align: center;">190</td> <td style="text-align: center;">200</td> <td style="text-align: center;">210</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">163</td> <td style="text-align: center;">182</td> <td style="text-align: center;">193</td> <td style="text-align: center;">212</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組方向】</p> <p>①学校の状況に対応した見学会、体験等の開催、各種研修の実施等により、目標を達成することができた。</p> <p>②就労確保のため、学校等の状況に合わせた職業学習等を支援していく必要がある。 また、労働災害防止のため、指導の強化と伐木技術の向上を図る必要がある。</p> <p>(1) 森林・林業への理解醸成や就労者の確保</p> <p>【評価及び今後の取組方向】</p> <p>①学校の状況に対応した見学会、体験等の開催等により、理解醸成を図ることができた。</p> <p>②就労確保のため、学校等の状況に合わせた職業学習等を支援していく必要がある。</p> <p>【評価及び今後の取組方向】</p> <p>①各現地機関において、伐木技術研修を実施し、伐木技術の向上を図ることができた。</p> <p>②研修会や指導会を活用し、労働災害防止のため、指導を強化する必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標	/	180	190	200	210	実績	163	182	193	212	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>林業の担い手の育成と確保を図るため、高校生等に対する森林・林業への理解醸成や現場技術者の知識と技術の向上</li> <li>林業アカデミーオープンキャンパスへの参加を支援</li> <li>学校等の希望に合わせた講座・体験会等の開催</li> <li>各種研修情報の提供と参加への働きかけ</li> <li>労働災害防止のための巡回指導及び伐木技術研修の実施</li> </ul>
	現状値	2019	2020	2021	2022														
目標	/	180	190	200	210														
実績	163	182	193	212	-														

令和3年度の取組状況・評価及び令和4年度の取組方針

具体的 推進方策	令和3年度の取組内容(実施計画)	令和3年度の取組状況
<p>②森林施業の集約化の促進や情報通信技術（ICT）の導入等による林業経営の効率化</p>	<p>(1) 「意欲と能力のある林業経営体」を育成・強化                      ○森林施業プランナーの育成                      ○機械設備の導入支援                      ○経営基盤強化支援                      ○新規事業体への経営指導</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・林業成長産業化構想技術者育成研修（奥州：1名）</li> <li>・林業成長産業化総合対策事業                      ハーベスタ1台導入（奥州：2/21完了）                      グラップルソー1台リース（花巻：10/15完了）</li> <li>・管内3森林組合長との意見交換（花巻：4/14）</li> <li>・森林組合経営検討委員会                      （奥州：4/27、8/2、10/28、2/8、花巻：7/27、11/22、2/4）</li> <li>・森林組合月例会の開催                      （奥州：6/2、7/29、10/1、10/27、11/26、12/22、3/17）</li> <li>・森林組合職員スキル向上勉強会                      （奥州：7/29以降月例会と同日開催）</li> <li>・事業主改善計画の作成指導・進達（奥州：2社、遠野：1社）</li> <li>・意欲と能力のある林業経営体への新規（一関：1社）</li> <li>・生産性向上及び作業道開設等指導（花巻：5/24、11/9、3/14）</li> <li>・スマート林業促進の補助事業働きかけ（遠野：11/11、24）</li> <li>・ドローン操作研修（遠野：9/13）</li> <li>・QGISの活用方法を個別指導（花巻：6/8、奥州：9/7）</li> <li>・ドローン操作及びQGISの活用方法を個別指導（花巻：3/8、3/9）</li> <li>・タブレット端末操作研修会の参加への支援                      （花巻：6/15 1社）</li> <li>・マプリア（森林測量アプリケーション）のデモンストレーション見学会（奥州：11/18）</li> <li>・マプリア試験運用操作体験会（奥州：3/8）</li> <li>・営農大学林業講座（林業講演会）の開催（一関：2/24）</li> <li>・素材生産新規参入事業体 指導                      （遠野：9/10、10/12、1/24 1社）</li> </ul>

令和3年度の評価及び今後の取組方向	令和4年度の取組方針																		
<p>【指標の状況】                      ・森林経営計画認定面積(ha) <span style="float:right">概ね達成</span></p> <table border="1" data-bbox="1605 260 2214 380"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td>52,000</td> <td>54,000</td> <td>57,000</td> <td>60,000</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>50,650</td> <td>49,592</td> <td>50,938</td> <td>48,837</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組方向】                      ①組合長との意見交換や職員の勉強会を実施し、集約化や経営効率化を担う人材の育成を図ったことにより、目標は概ね達成となった。                      ②施業集約化に向けた意識醸成や資格取得に向けた研修会の開催と併せ、経営基盤の強化を図り、ICT技術の活用により業務の効率化を図る必要がある。</p> <p>(1) 「意欲と能力のある林業経営体」を育成・強化                      【評価及び今後の取組方向】                      ①機械設備の導入や経営検討委員会や月例会での指導、勉強会の開催により、事業体を育成・強化することができた。                      ②より一層の施業集約化に向け、経営基盤の強化と業務の効率化を図る必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標		52,000	54,000	57,000	60,000	実績	50,650	49,592	50,938	48,837	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の林業経営を担う「意欲と能力のある林業経営体」の育成・強化                      効率的な林業経営を図るため、「意欲と能力のある林業経営体」や市町と連携した、森林施業の集約化や森林経営計画の作成を支援するとともに、ドローンや情報通信技術（ICT）の活用などによるスマート林業の推進</li> <li>・森林経営計画の作成に当たり、施業提案を担う施業プランナー資格取得に向けた研修会の開催</li> <li>・既存事業体への経営改善指導の実施</li> <li>・ICT技術の活用による業務効率化の支援</li> <li>・育成林業経営体の意欲と能力のある林業経営体登録への働きかけ</li> </ul>
	現状値	2019	2020	2021	2022														
目標		52,000	54,000	57,000	60,000														
実績	50,650	49,592	50,938	48,837	—														

令和3年度の取組状況・評価及び令和4年度の取組方針

具体的 推進方策	令和3年度の取組内容(実施計画)	令和3年度の取組状況
② 森林施業の集約化の促進や情報通信技術（ICT）の導入等による林業経営の効率化	(2) 効率的な林業経営のための森林施業集約化 ○森林経営計画の作成支援 ○森林経営管理制度に係る市町支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県有林伐採跡地における経営計画説明会（県南：5/14）</li> <li>・ 県行造林所有者に対する再造林の働きかけ（花巻：7/16）</li> <li>・ 森林整備地域活動支援交付金事業完了（花巻：3/17 72.85ha）</li> <li>・ 林業事業体等の森林経営計画作成に係る指導・助言（奥州：1組合、花巻：1社、一関：1社）</li> <li>・ 森林経営計画説明会（奥州：10/26）</li> <li>・ 経営計画作成の助言（花巻市個別相談：12月～3月の水曜日）</li> <li>・ 森林経営計画制度の活用に係る意見交換会（一関：10/13）</li> <li>・ システム構築推進員と連携した市町の指導（奥州市3回、金ヶ崎町3回、花巻市11回、北上市3回、一関市4回、平泉町3回、遠野市2回、西和賀町7回）</li> <li>・ 他県委託情報提供（遠野：9/17）</li> <li>・ 意向調査林分及び集約化範囲の情報提供（奥州：7/16、11/1）</li> <li>・ 森林経営管理に関する地域説明会（花巻：10/26、11/2、9、11）</li> <li>・ 平泉町実施方針策定（HP公表6/8）</li> <li>・ 地区対策会議（一関：7/8、1/19）</li> </ul>
	(3) 境界確認や現況調査等の効率化 ○情報通信技術（ICT）等の活用促進	<p>【再掲】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ スマート林業促進の補助事業働きかけ（遠野：11/11、24）</li> <li>・ ドローン操作研修（遠野：9/13）</li> <li>・ QGISの活用方法を個別指導（花巻：6/8、奥州：9/7）</li> <li>・ ドローン操作及びQGISの活用方法を個別指導（花巻：3/8、3/9）</li> <li>・ タブレット端末操作研修会の参加への支援（花巻：6/15 1社）</li> <li>・ マプリー（森林測量アプリケーション）のデモンストラーション見学会（奥州：11/18）</li> <li>・ マプリー試験運用操作体験会（奥州：3/8）</li> </ul>

令和3年度の評価及び今後の取組方向	令和4年度の取組方針
<p>【評価及び今後の取組方向】</p> <p>①説明会や指導により、経営計画作成を支援することができた。また、システム構築推進員と連携した市町の指導により、意向調査に向けた支援を実施できた。</p> <p>②施業提案等による森林経営計画作成を指導する必要がある。また、森林経営管理制度を進めるため、関係機関と協力し、市町を支援する必要がある。</p> <p>【評価及び今後の取組方向】</p> <p>①ドローンやQGISの研修や指導により、スマート林業を促進することができた。</p> <p>②GNSSシステムの実践や、新たな情報通信技術の情報収集に努め、活用を指導する必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画終期を迎えた森林経営計画の更新及び森林経営計画の作成促進に向けた事業体等への指導</li> <li>・ 森林所有者に対する意向調査の結果を踏まえた施業提案による施業集約化</li> <li>・ 森林経営管理制度の実施方針策定支援及び進捗管理</li> <li>・ 意向調査に向けた支援及び進捗管理</li> <li>・ 地区対策会議等による情報提供</li> <li>・ 効率的な調査と調査結果の活用のため、令和4年度の地上レーザ計測に向けた打合せを実施</li> <li>・ GNSSシステム測量の活用に関する指導</li> </ul>

令和3年度の取組状況・評価及び令和4年度取組方針

具体的推進方針	令和3年度の取組内容(実施計画)	令和3年度の取組状況
③低コスト林業の推進や未利用資源の有効活用による木材の安定供給	(1) 安定供給のための林業・木材産業等関係者間の情報共有及び公共施設や非住宅等への木材利用の促進 ○情報共有 ○公共建築物等整備支援 ○木材利用のPR ○木質バイオマス利用の普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ・ウッドショックの影響に関する聞取り（奥州5社、遠野4社、一関4社）</li> <li>・花巻市木材利用促進協議会総会（書面開催）</li> <li>・花北地域木材安定供給促進会議（7/19）</li> <li>・森林のくに遠野・協同機構定例会（遠野：9回）</li> <li>・森林の再生を考える会（遠野：7回）</li> <li>・経営管理指導事業（遠野：5回）</li> <li>・南いわて暮らしセミナー（遠野：10/30 22名）</li> <li>・県南広域木材需給連絡会議（1/21）</li> <li>・一関市カスケード利用協同協議会（1/13）</li> <li>・林業・木材産業成長産業化事業（R2繰越）完了確認（花巻：7/28 黒沢尻幼稚園（北上市））</li> <li>・いわてヤタイ貸出9件（貸出先6者）花巻</li> <li>・“地域の木”身近に木づかい促進事業 出張おもちゃ美術館出張展示 （一関：9/28、北上：10/11、遠野11/6、金ケ崎11/25 参加者：親子123名） 地域材ワークショップ「地域材ふれあい体験会」開催（奥州：10/31 参加者60名） 地域材を活用した木製品の試作・展示（奥州：木製PC台、2wayテーブル他 庁舎内）</li> <li>・地域材を活用したPC台の導入（奥州：職員分）</li> <li>・市庁舎への木製品展示支援（遠野：12/20）</li> <li>・チップボイラー導入に関する補助要件等周知（花巻：9/10 富士大学、㈱いわてウッドパワー）</li> <li>・地域エコシステム構築推進地域協議会に参加（花巻：8/25, 12/16, 3/14）</li> <li>・事業再構築補助金（経産省）に係る情報収集（遠野：仲山林業 9/30、11/18）</li> <li>・林野庁調査事業導入に係る市との調整（遠野：12/16）</li> <li>・一関市内のバイオマス発電計画に関する情報収集及び地域課題等助言（一関：4回）</li> </ul>

令和3年度の評価及び今後の取組方向	令和4年度取組方針																																				
<p>【指標の状況】</p> <p>・再造林面積 (ha) <span style="float: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">集計中</span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 10%;">現状値</th> <th style="width: 10%;">2019</th> <th style="width: 10%;">2020</th> <th style="width: 10%;">2021</th> <th style="width: 10%;">2022</th> </tr> <tr> <td>目標</td> <td style="border: none;">/</td> <td>180</td> <td>185</td> <td>190</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>176</td> <td>170</td> <td>195</td> <td>(179)</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>現状値は2017年の値、（ ）内は速報値</p> <p>・県産材供給量 (千m<sup>3</sup>) <span style="float: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">集計中</span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 10%;">現状値</th> <th style="width: 10%;">2019</th> <th style="width: 10%;">2020</th> <th style="width: 10%;">2021</th> <th style="width: 10%;">2022</th> </tr> <tr> <td>目標</td> <td style="border: none;">/</td> <td>508</td> <td>510</td> <td>511</td> <td>513</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>506</td> <td>511</td> <td>集計中</td> <td>集計中</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組方向】</p> <p>①再造林面積は、施業の集約化等に基づく森林整備事業等の支援により目標を概ね達成することができた。県産材供給量については、国の公表数値をもとに算出しており、例年2年遅れとなっている。（集計中）</p> <p>②岩手県産木材の利用機会の創出や森林資源の循環利用に向けた関係者の連携や基盤整備を進めていく必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標	/	180	185	190	200	実績	176	170	195	(179)	—		現状値	2019	2020	2021	2022	目標	/	508	510	511	513	実績	506	511	集計中	集計中	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木材需要者への地域材の安定供給を図るため、林業・木材産業等関係者間の情報共有を促進</li> <li>・低コスト林業を進めるため、伐採から再造林を行う一貫作業、路網整備の促進及び搬出技術の向上を支援</li> <li>・森林が持つ多面的機能の維持・増進を図るため、計画的な森林整備、集約化の支援や「いわての森林づくり県民税」等を活用した森林整備を促進</li> <li>・荒廃地等については治山施設の整備や植栽等により、森林の維持保全を推進</li> <li>・松くい虫の被害対策について、駆除に加え、樹種転換を図るとともに、被害材等未利用資源について、発電や熱等の木質バイオマスエネルギー等への利用を促進</li> <li>・ナラ枯れ被害対策については、駆除に加え、被害を未然に防止するため、伐採・更新（若返り）と併せ、広葉樹材の有効利用を促進</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岩手県産木材等利用促進条例に基づく県産木材等利用促進基本計画の推進</li> <li>・地元企業と連携した地域材の需要拡大に向けた検討と県民に対する利用機会の創出</li> <li>・地域材ふれあい体験会等の開催</li> <li>・出張おもちゃ美術館による木育</li> </ul>
	現状値	2019	2020	2021	2022																																
目標	/	180	185	190	200																																
実績	176	170	195	(179)	—																																
	現状値	2019	2020	2021	2022																																
目標	/	508	510	511	513																																
実績	506	511	集計中	集計中	—																																

令和3年度の取組状況・評価及び令和4年度の取組方針

具体的 推進方策	令和3年度の取組内容(実施計画)	令和3年度の取組状況
③低コスト林業の推進や未利用資源の有効活用による木材の安定供給	(2) 低コスト林業のため、一貫作業及び搬出技術等の啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低コスト林業技術研修、技術力維持・向上対策研修への参加要請</li> <li>・県行造林土地所有者へ再造林働きかけ（花巻：7/16）</li> <li>・一貫作業 R2繰越 15.62ha完了（100%）2件 R3事業 26.00ha（R4へ繰越）</li> <li>・森林整備事業（造林）162.94ha完了（100%）36件</li> <li>・森林環境再生造林 R3事業16.45ha（R4に繰越）</li> <li>・生産間伐 R1繰越 4.89ha完了（100%）1件 R2繰越 142.06ha完了（84%）13件、46.21ha繰越（1件） R3事業 86.13ha完了（44%）14件、107.50ha繰越（5件）</li> <li>・林道 R1繰越 126m完了（100%）1件 R2繰越 1,749m完了（100%）3件 R3 398m繰越</li> <li>・作業道 R1繰越 1,427m完了（100%）1件 R2繰越 19,568m完了（79%）9件、5,115m繰越（1件） R3事業 11,682m完了（48%）7件、12,778m繰越（5件）</li> </ul>
	(3) 被害材等未利用資源の有効活用の促進 ○樹種転換の促進  ○アカマツの広葉樹林化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アカマツ100%活用促進事業（花巻） 搬出作業データ収集業務委託契約（10/29） （運搬作業データ収集委託業務は中止） 搬出-搬業務実施に係る協議（10/24、29、12/16）</li> <li>・特殊地拵 R3事業 10.32ha完了（100%）5件</li> <li>・アカマツの広葉樹林化 R3事業 8.30ha完了（25%）4件、24.71ha繰越（4件）</li> </ul>
	(4) ナラ枯れ被害防止を図るため、伐採・更新(若返り)の推進 ○伐採利用の促進 ナラ林健全化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施に向けた打合せ（奥州：6/14、6/16）</li> <li>・対象森林打合せ（遠野：6/29）</li> <li>・事業説明（花巻：4月）</li> <li>・ナラ林健全化促進事業 R2繰越 4.72ha完了（100%）1件 R3事業 4.14ha完了（18%）1件、19.16ha繰越（2件）</li> <li>・県南広域ナラ枯れ被害対策連絡会議（3/11、書面）</li> </ul>

令和3年度の評価及び今後の取組方向	令和4年度の取組方針
<p>【評価及び今後の取組方向】</p> <p>①各種事業を通じて森林整備や路網整備を実施し、再造林を促進することができた。</p> <p>②森林資源の循環利用に向けて再造林と路網整備を推進する必要がある。</p> <p>【評価及び今後の取組方向】</p> <p>①アカマツ伐採に関する検討会等の実施により、関係者間で施業や残材の取扱いに関する課題を共有することができた。</p> <p>②樹種転換の促進のために、林地残材の有効活用を支援する必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林資源の循環利用に向けた再造林の促進と低コスト林業実現のための基盤整備の推進</li> <li>・伐採跡地におけるいわて環境の森整備事業の活用も含めた再造林の働きかけ</li> <li>・枯死木を含めたアカマツの通年利用に向けた検討</li> <li>・アカマツ未利用材活用システムの検討</li> </ul>
<p>【評価及び今後の取組方向】</p> <p>①ナラ枯れ被害対策連絡会議の開催により、県南地域におけるナラ枯れ被害の状況と対策について情報共有をすることができた。</p> <p>②被害拡大を抑制するため、ナラ枯れ被害木の駆除と周辺広葉樹の伐採利用を支援する必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ナラ枯被害木の駆除と周辺広葉樹の伐採利用</li> <li>・ナラ枯れ被害対策連絡会議等の開催</li> <li>・令和4年度の脱出期前の適切な処理に向け駆除等の支援を実施</li> </ul>

令和3年度の取組状況・評価及び令和4年度の取組方針

具体的 推進方策	令和3年度の取組内容(実施計画)	令和3年度の取組状況
④ 特用林産物の 産地再生とブ ランド力の回 復	<p>(1) 原木しいたけの産地再生を図るため、生産体制の整備や後継者の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○出荷制限解除</li> <li>○栽培管理指導の実施</li> <li>○原木等生産資材の導入支援 特用林産施設等体制整備事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・解除資料提出（ロット追加含む） （花巻3名、奥州2名、一関6名）</li> <li>・新規生産者の出荷制限解除7/20 （花巻2名、奥州2名、一関1名）</li> <li>・県南広域原木しいたけ生産販売体制強化事業 栽培管理指導 （花巻：11回、遠野：7回、県南：3回、一関：8回） 産地応援隊会議開催（6/2、11/30、2/28書面）</li> <li>・きのこ原木処理事業（一関：3/25完了確認、遠野：11/29完了確認、花巻：12/15完了）</li> <li>・R2繰越完了確認調査 （花巻：8/5 10,780本 一関：7/9 58,200本）</li> <li>・西和賀町産原木における収量比較調査打合せ （奥州：10/22）</li> <li>・西和賀町産原木における収量比較調査（3/8）</li> <li>・ほだ木から子実体へ移行する放射性物質調査に係る共同研究（調査対象120本）の承諾、子実体送付 （一関：1回目 11月 2回目 12月）</li> <li>・R3交付決定（遠野：7/5 17,230本 一関：7/2 54,000本）</li> <li>・一関：（交付決定8/11,完了確認1/14）</li> </ul>
	<p>(2) ブランド力回復のため、大消費地への出荷・販売量の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地元飲食店等への利用・販売促進</li> </ul> <p>○試食販売会・販路開拓調査</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一関市乾しいたけ品評会開催 審査会運営補助(5/26)、展示・販売会運営補助（JAファーマーズ）(5/28)</li> <li>・江刺給食センター打合せ（奥州：8/31）</li> <li>・常盤小給食センター打合せ（奥州：10/21） サンプル提供（12/15）、給食への活用（1/21、26）</li> <li>・原木しいたけ生産・販売に関する生産者意向調査 （一関：対象者3名、意見交換（10/21））</li> </ul>

令和3年度の評価及び今後の取組方向	令和4年度の取組方針																		
<p>【指標の状況】</p> <p>・乾しいたけ植菌本数（千本） <span style="float: right;">集計中</span></p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">124</td> <td style="text-align: center;">126</td> <td style="text-align: center;">129</td> <td style="text-align: center;">132</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">119</td> <td style="text-align: center;">108</td> <td style="text-align: center;">95</td> <td style="text-align: center;">(88)</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値（ ）内は速報値</p> <p>【評価及び今後の取組方向】</p> <p>①栽培管理の指導や生産資材の導入支援、利用・販売促進を進めてきたが、生産者の高齢化等により、目標を下回る見込みである。</p> <p>②品質向上・収量増加の為に栽培技術指導、地域内原木の活用に向けた取組を進めるとともに、原木しいたけの販売促進を支援していく必要がある。</p> <p>(1) 原木しいたけの産地再生を図るため、生産体制の整備や後継者の育成</p> <p>【評価及び今後の取組方向】</p> <p>①5名について新たに出荷制限を解除することができた。原木については、国庫補助事業を活用した導入支援と併せて、収量比較調査により、地域内原木の利用に向けたデータを収集することができた。</p> <p>②引き続き希望者の出荷制限解除を進めるとともに、原木の導入支援を併せて地域内原木の利用促進を図る必要がある。</p> <p>【評価及び今後の取組方向】</p> <p>①一関市において乾しいたけ品評会（展示・販売会含む）を開催するとともに、奥州市での学校給食への利用により生産者の意欲喚起と販売促進を図ることができた。</p> <p>②生産者の意向調査をもとに新たな販路開拓を支援するとともに、地域での利用を促進するため、引き続き学校給食への利用促進を図る必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標	/	124	126	129	132	実績	119	108	95	(88)	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原木しいたけの産地再生を図るため、出荷制限解除に向けた取組や栽培管理とともに、安定的なしいたけ原木の確保を進め、生産再開した生産者の意欲向上や収益向上に係る取組などを促進し、県南地区原木しいたけのブランド力の再興を支援</li> <li>・春子の解除検査実施を指導 （一関：3名（ロット追加含む））</li> <li>・種菌メーカー等と協力した品質向上・収量増加のための栽培指導支援</li> <li>・貸し付け制度等の利用を生産者に促す（一関）</li> <li>・地域内原木の活用に向けた調査の実施</li> <li>・放射性物質濃度調査（安全の確保）</li> <li>・西和賀産原木の収量調査（利用可能性）</li> <li>・子実体の放射性物質濃度及び収量調査（一関）</li> <li>・地域ブランドの強化</li> <li>・地元イベントにおける原木しいたけの認知度向上</li> <li>・学校給食への利用促進</li> </ul>
	現状値	2019	2020	2021	2022														
目標	/	124	126	129	132														
実績	119	108	95	(88)	-														

令和3年度の取組状況・評価及び令和4年度取組方針

具体的推進方策	令和3年度取組内容(実施計画)	令和3年度取組状況
⑤地域に根差した特用林産物の生産振興	<p>(1) 新たな産地形成のため、林間畑わさびの栽培や漆林の造成等を支援</p> <p>○栽培面積確保に向けた講習会等開催</p> <p>○巡回指導の実施</p> <p>○あじさい園支援</p> <p>○新たな漆産地の形成検討</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>畑わさび産地づくり支援事業</li> <li>初心者向け講習会（遠野：6/15）</li> <li>種苗育成研修会、生産者意見交換会（中止）</li> <li>モデル圃場委託契約（遠野：9/3）</li> <li>モデル圃場現地指導（奥州、一関：9/8）</li> <li>区域設定、土壌採取、現地確認・指導（奥州：8/20、8/26、9/8）</li> <li>モデル圃場への植栽（奥州 0.8a・一関 3.2a：10/14）及び電気柵等設置（奥州：11/16、一関：12/8）</li> <li>モデル圃場協定締結（奥州・一関：12/8）</li> <li>パンフレット栽培の手引き作成（遠野：3/10）</li> <li>わさび虫害への対策（サンプルを送付し、病虫害防除所からの同定結果提示）</li> <li>先進地調査（遠野：12/3 岩泉）</li> <li>都営地下鉄への公告（一関 6/11～22）</li> <li>開園式開催準備・出席（一関）</li> <li>いわて漆振興実務者連絡会議への取組状況報告（一関6/18、2/9）</li> </ul>

令和3年度の評価及び今後の取組方向	令和4年度取組方針																		
<p>【指標の状況】</p> <p>・林間畑わさび生産量（トン） <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">未達成</span></p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">20</td> <td style="text-align: center;">31</td> <td style="text-align: center;">38</td> <td style="text-align: center;">38</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">15</td> <td style="text-align: center;">21</td> <td style="text-align: center;">10</td> <td style="text-align: center;">13</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>【評価及び今後の取組方向】</p> <p>①環境要因（土壌、気象等）やシカ被害により、目標を達成することができなかった。</p> <p>②栽培指導の強化、県南広域振興圏内の生産者掘り起こし等により、生産量の増に向けて取り組む必要がある。</p>		現状値	2019	2020	2021	2022	目標	/	20	31	38	38	実績	15	21	10	13	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>山村の活性化に資する特用林産物の新たな産地を形成するため、林間畑わさびの栽培面積の拡大や漆林の造成に係る適正な保育指導を推進</li> <li>新規栽培希望者に対する講習会の開催</li> <li>遊休農地等を活用した現地研修会の開催</li> <li>県選抜優良系統の導入栽培試験</li> <li>試験栽培圃場の設定</li> <li>あじさい園のPR活動を支援</li> <li>漆植栽地の適正な管理について継続指導</li> </ul>
	現状値	2019	2020	2021	2022														
目標	/	20	31	38	38														
実績	15	21	10	13	—														



目指す将来像

人とのつながり、県南圏域の産業集積や農林業、多様な地域資源を生かしながら、暮らしと産業が調和し、世界に向け岩手の未来を切り拓く地域

【令和4年度の取組方向】

<p><b>I 多様な交流が生まれ、一人ひとりが生涯を通じて健やかにいきいきと暮らせる地域</b></p> <p>【基本方向】</p> <p>① 質の高い医療介護サービスを提供できる体制構築、関係団体との連携による環境保全の取組</p> <p>② 安全・安心な生活を支える社会資本整備・維持管理</p> <p>③ 国際化を見据えた生活環境整備、魅力ある地域づくり</p> <p><b>1 健やかに安心して暮らせる地域社会をつくります</b></p> <p>【健康づくりの推進】</p> <p>① 生活習慣病の予防に向け、スーパーマーケット等と連携し、健康的な食生活実践のための意識啓発</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">○がん、心疾患及び脳血管疾患で死亡する人数(人口10万人当たり) H28:297.4人→R4:266.9人(男性) H28:152.4人→R4:130.3人(女性)</p> <p>② 心の健康の知識を持ち、地域や職場での見守りができるゲートキーパーの養成等の総合的対策に向けた研修等の開催</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">○自殺死亡率(人口10万人当たり)H29:21.5人→R4:17.5人</p> <p>【地域医療の確保充実と医療と介護等の連携体制の構築】</p> <p>① 医療職の人材確保に向け、高校生を対象とした医療セミナーの開催</p> <p>② 介護・保育職の人材確保に向け、高校生を対象とした福祉カフェ等の開催 <b>【広新規】</b></p> <p>【障がい者の自立活動の支援】</p> <p>① 障がいへの理解促進に向けた講演会等の開催</p> <p>② 農福連携の推進に向けた障がいサービス事業者と農業者とのマッチング支援</p> <p>【結婚支援対策・子育てしやすい環境整備】</p> <p>① 「いわて子育てにやさしい企業等」認証制度の普及拡大、「いわて子育て応援の店」の協賛店拡充</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">○「いわて子育てにやさしい企業等」認証件数(累計) H29:39社→R4:139社</p> <p><b>2 快適で安全・安心な生活環境をつくります</b></p> <p>【環境保全の推進・野生鳥獣の保護管理・動物との共生社会の実現】</p> <p>① 「いわて地球環境にやさしい事業所」認定制度の普及拡大、エコスタッフの養成に向けた研修等の実施</p> <p>② 有害鳥獣の個体数管理の役割を担う狩猟者の育成と鳥獣被害防止に向けた普及啓発</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">○新規狩猟免許取得件数(累計) H29:116件→R4:796件</p> <p>③ 多頭飼育問題に関連する関係機関等の情報共有・意見交換を行う検討会の開催</p> <p>【安全・安心の確保】</p> <p>① 通学路の歩道整備の推進や、橋梁の耐震補強、水位周知河川の指定等防災・減災対策の推進</p> <p><b>3 一人ひとりがいきいきと生活できるコミュニティをつくります</b></p> <p>【地域の国際化への対応・地域コミュニティの形成】</p> <p>① ILC関係者など、外国人が安心して医療を受けられる体制の整備や災害時の外国人支援体制の構築のため、奥州市国際交流協会と連携し、医療通訳等のスタッフを育成する研修会の開催 <b>【地一部新規】</b></p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">○医療通訳研修会修了者数(累計) H29:32人→R4:60人</p> <p>② 関係人口拡大に向け、仙台圏在住の学生・社会人を対象としたワークショップの開催とフォローアップの実施 <b>【広新規】</b></p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">○地域活性化イベント等による事業創出数 H29:0(事業/年)→R4:2件(事業/年)</p>	<p><b>II 世界に誇れる産業の集積を進め、岩手で育った人材が地元で働き定着する地域</b></p> <p>【基本方向】</p> <p>① 地域企業の技術力と競争力の向上等による一層の産業集積の推進</p> <p>② 地域の伝統産業の振興</p> <p>③ 圏域の産業を支える人材の確保・育成・定着</p> <p><b>1 ものづくり産業の集積を進め、競争力を高めます</b></p> <p>【ものづくり企業の競争力強化】</p> <p>① ものづくり企業の自動車産業や医療機器産業の参入促進につながる品質マネジメント講座や、企業ニーズに対応したオーダーメイド研修の開催</p> <p>② ものづくり企業の生産性向上の取組支援のため、第4次産業革命技術(IoT等)の高度技術者養成講座の開催による導入支援、盛岡局と連携したIT企業とものづくり企業とのマッチング支援</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">○ものづくり関連分野の製造品出荷額 H28:12,910億円→R4:14,900億円 ○東北地域ものづくり関連分野の製造品出荷額における県南地域のシェア H28:12.6%→R4:15.0%</p> <p>【自動車・半導体産業への参入促進】</p> <p>① ものづくり産業アドバイザーによる新規参入・取引拡大に向けた企業訪問や現場改善指導の実施</p> <p>【伝統産業の振興】</p> <p>① 伝統産業の魅力発信と交流人口の拡大に向けた「オープンファクトリー五感市(ごかんいち)」の開催支援や、参加企業間・異業種とのコラボ商品開発・コラボ企画の展開支援</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">○伝統産業の各種イベント等への来場者数(累計) H29:—人→R4:6,000人</p> <p>【道路整備による産業振興】</p> <p>① 広域的な物流の効率化、生産性の向上につながる道路整備(一関北上線 谷地)</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">○物流の基盤となる道路整備延長(累計) H29:0m→R4:15,400m</p> <p><b>2 ライフスタイルに応じた新しい働き方ができる環境づくりと人材育成による地元定着を促進します</b></p> <p>【人材確保、地域企業の理解促進】</p> <p>① 企業・事業所における人材育成の取組及び働き方改革への支援、高校生を対象とした地域企業を知る企業ガイダンスや出前授業の実施 <b>【広新規】</b></p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">○高卒者の圏域内就職率 H29:63.9%→R4:85.0%</p> <p>② 「いわて県南広域企業ガイド」の高等学校等への設置や配布、ホームページ掲載・SNS発信による生徒・保護者等への地域企業の情報提供 <b>【広新規】</b></p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">○企業ガイド(サイト)閲覧数 H29:3,782回→R4:8,000回</p> <p>【若者の職業意識・地元志向の醸成、企業の人材育成】</p> <p>① 職業意識の醸成に向け、県内就業・キャリア教育コーディネーターや就業支援員によるキャリア教育支援、小中学生を含めた企業見学・出前授業の実施</p> <p>② 県南地域の強みを生かした人口減少対策の検討・実施に向け、管内市町や団体等と連携した「南いわて移住定住戦略会議」の設置及び県南地域の強みを生かしたモデル事業の検討 <b>【広新規】</b></p> <p>③ U・Iターンの促進に向け、首都圏等在住者を対象としたセミナーの開催 <b>【広新規】</b></p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">○市町村窓口・移住相談会等における移住相談受付数 H29:650回→R4:700回</p>
--	---



【令和4年度の取組方向】

<p><b>Ⅲ 世界遺産「平泉の文化遺産」をはじめ多彩な魅力の発信により多くの人々が訪れる地域</b></p> <p>【基本方向】</p> <p>① 平泉の文化遺産などの歴史文化や食文化などの地域の魅力発信による観光振興</p> <p>② 観光客やビジネス客の受け入れのためのホスピタリティ向上</p>	<p><b>Ⅳ 米・園芸・畜産や林業などの多様な経営体が収益性の高い農林業を実践する地域</b></p> <p>【基本方向】</p> <p>① 企業的経営体の育成、収益性の高い産地の形成、活力ある地域づくりの推進</p> <p>② 林業の担い手の育成・確保、低コスト林業による森林資源の循環利用、特産林産物のブランド力回復と販路拡大</p>
<p><b>1 地域の魅力の発信による交流を広げます</b></p> <p>【観光振興による交流拡大】</p> <p>① 市町、関係団体等との協働により、世界遺産「平泉の文化遺産」を核とした地域の魅力を体感できる観光コンテンツの造成</p> <p>② 県南圏域の特性を踏まえ、教育旅行やビジネス客等をターゲットにした観光商品造成の試行・検証 【地新規】</p> <p>③ 旅行市場のトレンドの変化に対応した観光事業者向けの研修会・意見交換会の開催 ○県南圏域の観光入込客数（延べ人数）H29:1147.4万人回→R4:1173.1万人回</p> <p>【スポーツによる交流拡大】</p> <p>① 市町との連携事業「いわて県南レジェンドランナース」は、新型コロナウイルス感染症及び県南地域のマラソン大会の動向に応じ、見直しつつ開催</p> <p>【道路整備による観光振興】</p> <p>① 県内各地の観光地を周遊する道路整備（釜石遠野線 笛吹峠） ○観光地へのアクセス道路整備延長（累計）H29:-m→R4:15,910m</p>	<p><b>1 企業的経営体を中心となった収益性の高い産地の形成と協働・連携による農村地域の活性化を進めます</b></p> <p>【企業的経営体の育成】</p> <p>① 若手経営者の経営改善意識向上・発展に向けた研修会・意見交換会の開催</p> <p>② 新規就農者確保に向けた就農相談の実施や、新規就農者を対象とした研修会の開催【広新規】 ○企業的経営体の育成対象数（累計）H29:19経営体→R4:70経営体</p> <p>【産地の育成・強化】</p> <p>〔米〕リモートセンシング技術の活用、スマート農業技術普及のための実演会や研修会の開催 米穀専門店との連携を密にした、品質向上と流通拡大に向けた意見交換会や産地ツアーの開催 ○米のオリジナル新品種販売数量 H29:1,738 t→R4:4,871 t</p> <p>〔園芸〕大規模園芸経営体育成のための技術及び経営の重点支援、農福連携を志向する農業者と福祉施設のマッチング支援 ○重点園芸品目の系統販売額 H29:4,580百万円→R4:5,050百万円</p> <p>〔畜産〕担い手の経営規模拡大に係る研修会の開催、乳房炎・暑熱ストレス対策のモデル実証、牛伝染性リンパ腫感染予防に向けたモデル事業の実施【地一部新規】</p> <p>【農畜産物のブランド化・高付加価値化、農村地域の活性化】</p> <p>① 地理的表示保護制度（GI）等を活用した他産地との差別化支援</p> <p>② 東稲山麓地域世界農業遺産認定推進協議会による世界農業遺産認定に向けた取組を支援するとともに、企業や地域住民等との協働・連携活動を促進し地域活性化に向けた取組支援【地拡充】 ○農業産出額 H28:974億円→R4:987億円</p>
<p><b>2 食産業のネットワークを活用し、交流人口の拡大を図ります</b></p> <p>【食による交流拡大】</p> <p>① 地域食材をPRする「旬彩ごほうびフェア」の広域開催、県南地域の魅力ある食材の発掘・磨き上げや南いわての食の体験メニューの造成【地一部新規】 ○地産地消イベント参加人数 H29:-人→R4:28,800人</p> <p>② 貨客混載バスを活用した地域間交流を促進する「ふるさとバスケット（BUS・助っ人）」プロジェクトの取組内容を拡大・発展【地一部新規】</p> <p>【国内外への取引拡大】</p> <p>① 釜石港を起点とする小口混載輸出ルートの利用促進や海外販路開拓に向けたマーケティング調査の実施【広新規】</p> <p>② 「南いわて食産業クラスター形成ネットワーク」を活用し、経営課題に即した分科会の設置による企業間連携の体制づくりや、仙台圏での大手卸売企業主催展示会に出展【地一部新規】</p> <p>③ 管内食品事業者とバイヤーのマッチングに向けたビジネス交流会の実施 ○食料品製造出荷額 H28:837億円→R4:879億円 ○商談会での取引成立件数 H29:99件→R4:120件</p>	<p><b>2 森林資源の循環利用により、林業・木材産業を振興します</b></p> <p>【担い手の育成・確保、ICTの導入等による経営効率化】</p> <p>① 林業の担い手確保に向け、高校生や林業就業者を対象とした森林・林業の職業学習・作業体験会の開催 ○林業技能者数（累計）H29:163人→R4:210人</p> <p>【未利用資源を含む木材の利用促進・安定供給】</p> <p>① 松くい虫被害材（アカマツ）の有効利用手法の実証</p> <p>② 木育推進のため出張展示の開催</p> <p>③ 地域材の需要拡大に向けた林業事業者間連携の取組支援 【地一部新規】 ○木材生産額 H29:5,120百万円→R4:5,200百万円</p> <p>【特産林産物の生産振興】</p> <p>① 原木しいたけの栽培指導・原木の安定供給の支援 ○乾しいたけ植菌本数 H29:119千本→R4:132千本</p> <p>② 野生山菜等の出荷制限解除に向けた調査と解除後の出荷管理・指導</p> <p>③ 林間畑わさびの新規栽培希望者への講習会の開催や、栽培の手引きの作成・配布、栽培技術の普及・定着のための定期巡回指導等の実施</p>
<p><b>3 文化芸術を生かした地域づくりを進めます</b></p> <p>【伝統文化等の魅力発信】</p> <p>① 紙芝居動画（DVD）や「ケロ平」の活用による平泉文化の紹介を通じ、「平泉」の理念と魅力をわかりやすく発信</p> <p>② 文化芸術とふれあう機会を創出するため、文化芸術関係団体等を対象に研修会の開催 ○文化芸術活動研修会参加者数（累計）H29:-人→R4:100人</p>	

平成31年3月に策定した、いわて県民計画（2019～2028）第1期アクションプラン「地域振興プラン（2019年度～2022年度）県南広域振興圏」について、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、具体的推進方策指標の一部を次のとおり変更した。

頁	変更前	変更後																				
9	<p>I 多様な交流が生まれ、一人ひとりが生涯を通じて健やかにいきいきと暮らせる地域</p> <p>1 健やかに安心して暮らせる地域社会をつくります</p> <p>① 事業所等と連携したところと体の健康づくりの推進目標</p> <p>・岩手県脳卒中予防県民会議の会員数（団体）〔累計〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>98</td> <td>108</td> <td>113</td> <td>118</td> <td>123</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p>	現状値	2019	2020	2021	2022	98	108	113	118	123	<p>I 多様な交流が生まれ、一人ひとりが生涯を通じて健やかにいきいきと暮らせる地域</p> <p>1 健やかに安心して暮らせる地域社会をつくります</p> <p>① 事業所等と連携したところと体の健康づくりの推進目標</p> <p>・岩手県脳卒中予防県民会議の会員数（団体）〔累計〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>98</td> <td>108</td> <td>113</td> <td>132</td> <td>141</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p>	現状値	2019	2020	2021	2022	98	108	113	132	141
現状値	2019	2020	2021	2022																		
98	108	113	118	123																		
現状値	2019	2020	2021	2022																		
98	108	113	132	141																		
9	<p>・メンタルヘルス人材育成のための研修会等の参加者数（人）〔累計〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>461</td> <td>1,461</td> <td>1,961</td> <td>2,461</td> <td>2,961</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>② [略]</p>	現状値	2019	2020	2021	2022	461	1,461	1,961	2,461	2,961	<p>・メンタルヘルス人材育成のための研修会等の参加者数（人）〔累計〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>461</td> <td>1,461</td> <td>1,961</td> <td>2,261</td> <td>2,561</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>② [略]</p>	現状値	2019	2020	2021	2022	461	1,461	1,961	2,261	2,561
現状値	2019	2020	2021	2022																		
461	1,461	1,961	2,461	2,961																		
現状値	2019	2020	2021	2022																		
461	1,461	1,961	2,261	2,561																		
10	<p>③ 地域医療の確保充実と医療と介護等の連携体制の推進目標</p> <p>・地域医療連携会議等の参加機関数（機関）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>93</td> <td>102</td> <td>102</td> <td>102</td> <td>102</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p>	現状値	2019	2020	2021	2022	93	102	102	102	102	<p>③ 地域医療の確保充実と医療と介護等の連携体制の推進目標</p> <p>・地域医療連携会議等の参加機関数（機関）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>93</td> <td>102</td> <td>102</td> <td>99</td> <td>99</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p>	現状値	2019	2020	2021	2022	93	102	102	99	99
現状値	2019	2020	2021	2022																		
93	102	102	102	102																		
現状値	2019	2020	2021	2022																		
93	102	102	99	99																		
10	<p>・感染症対策実地訓練など実施回数（回）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>④～⑦ [略]</p>	現状値	2019	2020	2021	2022	3	3	3	3	3	<p>・感染症対策実地訓練など実施回数（回）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>30</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>④～⑦ [略]</p>	現状値	2019	2020	2021	2022	3	3	3	30	9
現状値	2019	2020	2021	2022																		
3	3	3	3	3																		
現状値	2019	2020	2021	2022																		
3	3	3	30	9																		

頁	変更前	変更後																				
16	<p>2 快適で安全・安心な生活環境をつくります</p> <p>① [略]</p> <p>② 循環型地域社会の構築に向けた廃棄物対策の推進</p> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物排出事業者等説明会への参加企業数(社) [累計]</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>836</td> <td>2,008</td> <td>2,738</td> <td>3,468</td> <td>4,198</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>③ [略]</p>	現状値	2019	2020	2021	2022	836	2,008	2,738	3,468	4,198	<p>2 快適で安全・安心な生活環境をつくります</p> <p>① [略]</p> <p>② 循環型地域社会の構築に向けた廃棄物対策の推進</p> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物排出事業者等説明会への参加企業数(社) [累計]</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>836</td> <td>2,008</td> <td>2,738</td> <td>2,463</td> <td>2,870</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>③ [略]</p>	現状値	2019	2020	2021	2022	836	2,008	2,738	2,463	2,870
現状値	2019	2020	2021	2022																		
836	2,008	2,738	3,468	4,198																		
現状値	2019	2020	2021	2022																		
836	2,008	2,738	2,463	2,870																		
17	<p>④ 野生鳥獣等の適正な保護管理</p> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規狩猟免許取得件数(件) [累計]</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>116</td> <td>316</td> <td>416</td> <td>516</td> <td>616</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p>	現状値	2019	2020	2021	2022	116	316	416	516	616	<p>④ 野生鳥獣等の適正な保護管理</p> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規狩猟免許取得件数(件) [累計]</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>116</td> <td>316</td> <td>416</td> <td>660</td> <td>796</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p>	現状値	2019	2020	2021	2022	116	316	416	660	796
現状値	2019	2020	2021	2022																		
116	316	416	516	616																		
現状値	2019	2020	2021	2022																		
116	316	416	660	796																		
17	<p>⑤ 人と動物が共生する社会の実現に向けた取組</p> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・猫の譲渡会の開催回数(回) [累計]</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>20</td> <td>30</td> <td>40</td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table> <p>⑥～⑩ [略]</p>	現状値	2019	2020	2021	2022	0	20	30	40	50	<p>⑤ 人と動物が共生する社会の実現に向けた取組</p> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・猫の譲渡会の開催回数(回) [累計]</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>20</td> <td>30</td> <td>98</td> <td>126</td> </tr> </tbody> </table> <p>⑥～⑩ [略]</p>	現状値	2019	2020	2021	2022	0	20	30	98	126
現状値	2019	2020	2021	2022																		
0	20	30	40	50																		
現状値	2019	2020	2021	2022																		
0	20	30	98	126																		
20	3 [略]	3 [略]																				

頁	変更前	変更後																				
27	<p>Ⅱ 世界に誇れる産業の集積を進め、岩手で育った人材が地元で働き定着する地域</p> <p>4 ものづくり産業の集積を進め、競争力を高めます</p> <p>①、② [略]</p> <p>③ 伝統産業の魅力発信</p> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統産業の各種イベント（オープンファクトリー等）への来場者数（人）〔累計〕</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>4,000</td> <td>6,000</td> <td>8,000</td> <td>10,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>④ [略]</p>	現状値	2019	2020	2021	2022	—	4,000	6,000	8,000	10,000	<p>Ⅱ 世界に誇れる産業の集積を進め、岩手で育った人材が地元で働き定着する地域</p> <p>4 ものづくり産業の集積を進め、競争力を高めます</p> <p>①、② [略]</p> <p>③ 伝統産業の魅力発信</p> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統産業の各種イベント（オープンファクトリー等）への来場者数（人）〔累計〕</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>4,000</td> <td>6,000</td> <td>4,000</td> <td>6,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>④ [略]</p>	現状値	2019	2020	2021	2022	—	4,000	6,000	4,000	6,000
現状値	2019	2020	2021	2022																		
—	4,000	6,000	8,000	10,000																		
現状値	2019	2020	2021	2022																		
—	4,000	6,000	4,000	6,000																		
30	<p>5 ライフスタイルに応じた新しい働き方ができる環境づくりと人材育成による地元定着を促進します</p> <p>① 人材確保に向けた地域企業や事業所の魅力向上</p> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業ガイド（サイト）閲覧数（回）</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3,782</td> <td>4,000</td> <td>4,150</td> <td>4,300</td> <td>4,450</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p>	現状値	2019	2020	2021	2022	3,782	4,000	4,150	4,300	4,450	<p>5 ライフスタイルに応じた新しい働き方ができる環境づくりと人材育成による地元定着を促進します</p> <p>① 人材確保に向けた地域企業や事業所の魅力向上</p> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業ガイド（サイト）閲覧数（回）</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3,782</td> <td>4,000</td> <td>4,150</td> <td>8,000</td> <td>8,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p>	現状値	2019	2020	2021	2022	3,782	4,000	4,150	8,000	8,000
現状値	2019	2020	2021	2022																		
3,782	4,000	4,150	4,300	4,450																		
現状値	2019	2020	2021	2022																		
3,782	4,000	4,150	8,000	8,000																		
30	<p>② 若者の職業意識、地元志向の醸成</p> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育支援件数（件）</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>179</td> <td>180</td> <td>180</td> <td>180</td> <td>180</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>③～⑤ [略]</p>	現状値	2019	2020	2021	2022	179	180	180	180	180	<p>② 若者の職業意識、地元志向の醸成</p> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育支援件数（件）</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>179</td> <td>180</td> <td>180</td> <td>350</td> <td>350</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>③～⑤ [略]</p>	現状値	2019	2020	2021	2022	179	180	180	350	350
現状値	2019	2020	2021	2022																		
179	180	180	180	180																		
現状値	2019	2020	2021	2022																		
179	180	180	350	350																		

頁	変更前	変更後																														
38	<p>Ⅲ 世界遺産「平泉の文化遺産」をはじめ多彩な魅力の発信により多くの人々が訪れる地域</p> <p>6 地域の魅力の発信による交流を広げます</p> <p>① 世界遺産「平泉の文化遺産」を核とした広域的な周遊・滞在型観光の促進</p> <p>目標</p> <p>・平泉町、一関市及び奥州市の観光入込客数（延べ人数）（万人回）</p> <table border="1" data-bbox="197 400 913 469"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>567.5</td> <td>580.8</td> <td>587.8</td> <td>593.9</td> <td>600.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p>	現状値	2019	2020	2021	2022	567.5	580.8	587.8	593.9	600.2	<p>Ⅲ 世界遺産「平泉の文化遺産」をはじめ多彩な魅力の発信により多くの人々が訪れる地域</p> <p>6 地域の魅力の発信による交流を広げます</p> <p>① 世界遺産「平泉の文化遺産」を核とした広域的な周遊・滞在型観光の促進</p> <p>目標</p> <p><b>【過年度】</b></p> <p>・平泉町、一関市及び奥州市の観光入込客数（延べ人数）（万人回）</p> <table border="1" data-bbox="1227 400 1944 469"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>567.5</td> <td>580.8</td> <td>587.8</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p><b>【後年度】</b></p> <p>・平泉町、一関市及び奥州市の観光入込客数（延べ人数）（万人回）</p> <table border="1" data-bbox="1227 616 1944 684"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>338.1</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>391.4</td> <td>600.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2020年の値</p>	現状値	2019	2020	2021	2022	567.5	580.8	587.8	—	—	現状値	2019	2020	2021	2022	338.1	—	—	391.4	600.2
現状値	2019	2020	2021	2022																												
567.5	580.8	587.8	593.9	600.2																												
現状値	2019	2020	2021	2022																												
567.5	580.8	587.8	—	—																												
現状値	2019	2020	2021	2022																												
338.1	—	—	391.4	600.2																												
38	<p>② 国内外からの観光客、国際リニアコライダー（ILC）の研究者やビジネス客等の受入れに係るホスピタリティ向上</p> <p>目標</p> <p>・県南圏域での宿泊者数（万人泊）</p> <table border="1" data-bbox="197 935 913 1003"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>185.4</td> <td>189.6</td> <td>192.2</td> <td>193.4</td> <td>194.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p>	現状値	2019	2020	2021	2022	185.4	189.6	192.2	193.4	194.7	<p>② 国内外からの観光客、国際リニアコライダー（ILC）の研究者やビジネス客等の受入れに係るホスピタリティ向上</p> <p>目標</p> <p><b>【過年度】</b></p> <p>・県南圏域での宿泊者数（万人泊）</p> <table border="1" data-bbox="1227 935 1944 1003"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>185.4</td> <td>189.6</td> <td>192.2</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p><b>【後年度】</b></p> <p>・県南圏域での宿泊者数（万人泊）</p> <table border="1" data-bbox="1227 1134 1944 1203"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>167.8</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>127.5</td> <td>194.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2020年の値</p>	現状値	2019	2020	2021	2022	185.4	189.6	192.2	—	—	現状値	2019	2020	2021	2022	167.8	—	—	127.5	194.7
現状値	2019	2020	2021	2022																												
185.4	189.6	192.2	193.4	194.7																												
現状値	2019	2020	2021	2022																												
185.4	189.6	192.2	—	—																												
現状値	2019	2020	2021	2022																												
167.8	—	—	127.5	194.7																												

頁	変更前	変更後																														
38	<p>③ 教育機関や国際リニアコライダー（I L C）の関係者等との連携による海外との相互交流の推進 目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県南圏域での外国人宿泊者数（万人泊）</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6.4</td> <td>9.5</td> <td>11.5</td> <td>12.2</td> <td>13.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>④、⑤ [略]</p>	現状値	2019	2020	2021	2022	6.4	9.5	11.5	12.2	13.0	<p>③ 教育機関や国際リニアコライダー（I L C）の関係者等との連携による海外との相互交流の推進 目標</p> <p><u>【過年度】</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県南圏域での外国人宿泊者数（万人泊）</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6.4</td> <td>9.5</td> <td>11.5</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p><u>【後年度】</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県南圏域での外国人宿泊者数（万人泊）</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2.0</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>3.0</td> <td>13.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2020年の値</p> <p>④、⑤ [略]</p>	現状値	2019	2020	2021	2022	6.4	9.5	11.5	—	—	現状値	2019	2020	2021	2022	2.0	—	—	3.0	13.0
現状値	2019	2020	2021	2022																												
6.4	9.5	11.5	12.2	13.0																												
現状値	2019	2020	2021	2022																												
6.4	9.5	11.5	—	—																												
現状値	2019	2020	2021	2022																												
2.0	—	—	3.0	13.0																												
42	<p>7 食産業のネットワークを活用し、交流人口の拡大を図ります</p> <p>① [略]</p> <p>② 国内外への取引拡大の推進 目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 商談会での取引成立件数（件）</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>99</td> <td>105</td> <td>110</td> <td>115</td> <td>120</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>③ [略]</p>	現状値	2019	2020	2021	2022	99	105	110	115	120	<p>7 食産業のネットワークを活用し、交流人口の拡大を図ります</p> <p>① [略]</p> <p>② 国内外への取引拡大の推進 目標</p> <p><u>【過年度】</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 商談会での取引成立件数（件）</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>99</td> <td>105</td> <td>110</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p><u>【後年度】</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 商談会での取引成立件数（オンラインを含む）（件）</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>66</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>115</td> <td>120</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2020年の値</p> <p>③ [略]</p>	現状値	2019	2020	2021	2022	99	105	110	—	—	現状値	2019	2020	2021	2022	66	—	—	115	120
現状値	2019	2020	2021	2022																												
99	105	110	115	120																												
現状値	2019	2020	2021	2022																												
99	105	110	—	—																												
現状値	2019	2020	2021	2022																												
66	—	—	115	120																												

頁	変更前	変更後																														
44	<p>8 文化芸術を生かした地域づくりを進めます</p> <p>① 伝統文化・民俗芸能・伝統工芸等の魅力発信 目標</p> <p>・世界遺産等の来訪者数（万人回）</p> <table border="1" data-bbox="197 300 913 368"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>216.1</td> <td>221.5</td> <td>224.5</td> <td>226.9</td> <td>229.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>②、③ [略]</p>	現状値	2019	2020	2021	2022	216.1	221.5	224.5	226.9	229.3	<p>8 文化芸術を生かした地域づくりを進めます</p> <p>① 伝統文化・民俗芸能・伝統工芸等の魅力発信 目標</p> <p><b>【過年度】</b></p> <p>・世界遺産等の来訪者数（万人回）</p> <table border="1" data-bbox="1227 300 1944 368"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>216.1</td> <td>221.5</td> <td>224.5</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p><b>【後年度】</b></p> <p>・世界遺産等の来訪者数（万人回）</p> <table border="1" data-bbox="1227 517 1944 585"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90.3</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>90.3</td> <td>229.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2020年の値</p> <p>②、③ [略]</p>	現状値	2019	2020	2021	2022	216.1	221.5	224.5	—	—	現状値	2019	2020	2021	2022	90.3	—	—	90.3	229.3
現状値	2019	2020	2021	2022																												
216.1	221.5	224.5	226.9	229.3																												
現状値	2019	2020	2021	2022																												
216.1	221.5	224.5	—	—																												
現状値	2019	2020	2021	2022																												
90.3	—	—	90.3	229.3																												
51	<p>IV 米・園芸・畜産や林業などの多様な経営体が収益性の高い農林業を実践する地域</p> <p>9 企業の経営体を中心となった収益性の高い産地の形成と協働・連携による農村地域の活性化を進めます</p> <p>① 産地をけん引する企業の経営体の育成 目標</p> <p>・企業の経営体の育成数（経営体） [累計]</p> <table border="1" data-bbox="197 967 913 1035"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>19</td> <td>34</td> <td>42</td> <td>51</td> <td>60</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p>	現状値	2019	2020	2021	2022	19	34	42	51	60	<p>IV 米・園芸・畜産や林業などの多様な経営体が収益性の高い農林業を実践する地域</p> <p>9 企業の経営体を中心となった収益性の高い産地の形成と協働・連携による農村地域の活性化を進めます</p> <p>① 産地をけん引する企業の経営体の育成 目標</p> <p>・企業の経営体の育成数（経営体） [累計]</p> <table border="1" data-bbox="1227 967 1944 1035"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>19</td> <td>34</td> <td>42</td> <td>63</td> <td>70</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p>	現状値	2019	2020	2021	2022	19	34	42	63	70										
現状値	2019	2020	2021	2022																												
19	34	42	51	60																												
現状値	2019	2020	2021	2022																												
19	34	42	63	70																												
52	<p>② 競争力の高い米産地の育成 目標</p> <p>・米のオリジナル新品種販売数量（トン）</p> <table border="1" data-bbox="197 1217 913 1286"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,738</td> <td>3,170</td> <td>3,700</td> <td>4,240</td> <td>4,800</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p>	現状値	2019	2020	2021	2022	1,738	3,170	3,700	4,240	4,800	<p>② 競争力の高い米産地の育成 目標</p> <p>・米のオリジナル新品種販売数量（トン）</p> <table border="1" data-bbox="1227 1217 1944 1286"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,738</td> <td>3,170</td> <td>3,700</td> <td>4,308</td> <td>4,871</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p>	現状値	2019	2020	2021	2022	1,738	3,170	3,700	4,308	4,871										
現状値	2019	2020	2021	2022																												
1,738	3,170	3,700	4,240	4,800																												
現状値	2019	2020	2021	2022																												
1,738	3,170	3,700	4,308	4,871																												

頁	変更前	変更後																				
52	<p>③ 園芸産地の生産構造の強化 目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>重点園芸品目の系統販売額（百万円/年）</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4,580</td> <td>4,754</td> <td>4,836</td> <td>4,918</td> <td>5,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>※トマト、きゅうり、ピーマン、なす、アスパラガス、ねぎ、りんどう、小ぎくの合計 現状値は2017年の値</p>	現状値	2019	2020	2021	2022	4,580	4,754	4,836	4,918	5,000	<p>③ 園芸産地の生産構造の強化 目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>重点園芸品目の系統販売額（百万円/年）</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4,580</td> <td>4,754</td> <td>4,836</td> <td>4,918</td> <td>5,050</td> </tr> </tbody> </table> <p>※トマト、きゅうり、ピーマン、なす、アスパラガス、ねぎ、りんどう、小ぎくの合計 現状値は2017年の値</p>	現状値	2019	2020	2021	2022	4,580	4,754	4,836	4,918	5,050
現状値	2019	2020	2021	2022																		
4,580	4,754	4,836	4,918	5,000																		
現状値	2019	2020	2021	2022																		
4,580	4,754	4,836	4,918	5,050																		
52	<p>④ 畜産経営の生産性向上と規模拡大の促進 目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>繁殖牛20頭以上の経営体数（経営体）</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>158</td> <td>163</td> <td>167</td> <td>171</td> <td>175</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p>	現状値	2019	2020	2021	2022	158	163	167	171	175	<p>④ 畜産経営の生産性向上と規模拡大の促進 目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>繁殖牛20頭以上の経営体数（経営体）</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>158</td> <td>163</td> <td>167</td> <td>167</td> <td>172</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p>	現状値	2019	2020	2021	2022	158	163	167	167	172
現状値	2019	2020	2021	2022																		
158	163	167	171	175																		
現状値	2019	2020	2021	2022																		
158	163	167	167	172																		
52	<p>⑤ 農畜産物のブランド化・高付加価値化の促進 目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>商品開発等の支援による6次産業化件数（件）〔累計〕</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>9</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年単年の実績値、目標値は2019年からの累計</p> <p>⑥ [略]</p>	現状値	2019	2020	2021	2022	1	3	6	9	12	<p>⑤ 農畜産物のブランド化・高付加価値化の促進 目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>商品開発等の支援による6次産業化件数（件）〔累計〕</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>14</td> <td>17</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年単年の実績値、目標値は2019年からの累計</p> <p>⑥ [略]</p>	現状値	2019	2020	2021	2022	1	3	6	14	17
現状値	2019	2020	2021	2022																		
1	3	6	9	12																		
現状値	2019	2020	2021	2022																		
1	3	6	14	17																		
54	10 [略]	10 [略]																				



## 令和4年度 広域振興事業・地域経営推進費(県事業) 事業一覧

広域振興事業費 15,831千円

No.	事業名	事業内容	担当	事業費 (千円)
1	いわて県南移住定住総合コーディネート事業費	分野を横断した取組や市町・関係団体等との連携強化により、ものづくり産業が集積し農業の一大生産地である県南地域の強みを生かした人口減少対策を実施	経営企画部	7,825
2	北上川流域生産性向上対策事業費	I o T等の新技術の導入支援や生産現場における実装化に向けた実証、ものづくり人材の育成・確保の取組を実施	経営企画部	8,006
合計				15,831



地域経営推進費（県事業） 44,565千円

No.	事業名	事業内容	担当	事業費 (千円)
1	多文化共生推進による I L C 受入態勢整備事業	・医療通訳者等養成研修会の開催 ・ I L C をテーマにした出前授業 ・図書館での I L C 展示・ワークショップの開催	経営企画部	2,540
2	文化芸術による地域活性化・次世代育成支援事業	・文化芸術による次世代育成や地域活性化の促進のための企画力向上のための研修会の開催	経営企画部	300
3	地域資源を生かしたスポーツによる地域活性化推進事業	・いわて県南レジェンドランナーズ（県南地域のマラソン大会をつなぐイベント）とそのレガシーを残す取組の実施 ・スポーツによる健康づくり情報の発信や、サイクリング・ウォーキングデジタルマップの周知	経営企画部	2,698
4	「五感市」発展事業	・地域イベントであるオープンファクトリー五感市の開催に加え、通年での製作体験受入れへの取組支援 ・いわて県南エリア伝統工芸協議会の運営支援	経営企画部	956
5	県南広域圏職業人材育成・確保等支援事業	・小中学校等向け出前授業の実施 ・南いわて地域協働によるキャリア教育研究会の開催 ・地域企業を知る機会の提供（きたかみ・かねがさきテクノメッセ見学支援）など	経営企画部	2,341
6	アフターコロナ観光需要回復促進事業	・地域の魅力を体感できる観光コンテンツの造成 ・中高生向け教育旅行の誘致促進 ・中京圏企業への魅力発信と経済交流の促進 ・観光事業者を対象としたセミナーの開催	経営企画部	6,419
7	広域連携観光振興事業	・世界遺産平泉を核とした広域・滞在型観光の促進 ・釜石線を活用した沿線エリア活性化の促進 ・岩手・宮城県際観光推進 ・PRキャラクターケロ平による情報発信	経営企画部	5,884
8	食産業ネットワーク活性化事業	・食クラ運営委員会・総会の運営、ビジネス交流会の開催 ・販路拡大に向けた専用プラットフォームの運営 ・仙台圏での展示会への県南局ブース出展及び食のビジネス交流会への仙台圏のバイヤー招聘	経営企画部	2,313
9	南いわて「食のまち」づくり事業	・「旬彩ごほうびフェア」の広域展開と県南の食材のPR強化 ・食のまちづくり研究会の活動支援	経営企画部	1,822
10	貨客混載バスを活用した地域間交流促進事業	・貨客混載「ふるさとバスケット(BUS・助っ人)」の運行実証 ・貨客混載システムの発展実証 ・貨客混載による外国人旅行者への新サービスの開発検討	経営企画部・農政部	1,765
11	野生鳥獣の被害対策支援事業	・関係機関との情報交換会の開催	保健福祉環境部	749
12	県南地域愛護動物適正飼養普及に向けた連携促進事業	・獣医師等による授業「動物いのちの授業」の開催 ・譲渡希望者の募集及び譲渡会の開催	保健福祉環境部	923
13	障がいのある人もない人も地域交流促進事業	・障がいへの理解促進に係る講演会や出前授業の開催	保健福祉環境部	419
14	「金色の風」「銀河のしずく」ブランド力発揮事業	・品質のバラつき軽減を目的とした合同研修会の開催 ・金色の風」サポーターとの情報交換を目的とした産地ツアー等の実施 ・イベントでの消費者等へのPR	農政部	3,802
15	県南地域園芸産地力強化支援事業	・外部専門家による作業工程等の改善指導 ・野菜品目のマーケティング調査	農政部	558
16	県南地域農福連携体制強化支援事業	・農福連携の理解醸成及び普及拡大に向けた研修会の開催 ・農福連携支援員の派遣 ・農福連携等関係者会議を主体とした仕組みづくりの検討	農政部・保健福祉環境部	1,152
17	企業的農業経営等発展支援事業	・若手企業経営者等の経営改善意識の向上・経営発展のための研修会・意見交換会の開催 ・集落営農法人の課題の共有・解決を図る研修会・情報交換会の開催	農政部	988
18	東稲山麓地域連携強化・活性化支援事業	・「東稲山麓地域世界農業遺産認定推進協議会」の運営支援	農政部	1,988
19	県南畜産生産の評価向上対策事業	・暑熱ストレスによる乳量及び乳質低下の防止に係る気化熱を活用した環境改善モデル実証 ・キャトルセンター等の機能強化	農政部	2,148
20	牛伝染性リンパ腫感染予防モデル事業	・陰性・陽性牛群の分離対策に必要な資材導入と遺伝子検査に基づいた分離等指導 ・牛伝染性リンパ腫対策等会議等の実施	農政部	1,281
21	6次化商品開発販売支援事業	・県南地域版6次産業化モデル育成支援 ・産直施設の運営改善及び販売拡大支援 ・6次化担当者スキルアップ支援の実施	農政部	327

No.	事業名	事業内容	担当	事業費（千円）
22	“地域の木” 身近に木づかい促進事業	・「花巻おもちゃ美術館」の出張展示による木育の推進	林務部	880
23	アカマツ100%活用促進事業	・アカマツの林地残材をチップ化し有効利用を図る「アカマツ100%活用プロジェクト」の実証	林務部	939
24	畑わさび産地づくり支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規生産者の広域的な確保</li> <li>・栽培適地と生産者とのマッチング支援</li> <li>・栽培技術の普及・定着</li> <li>・遊休ほだ場等の栽培の検証</li> </ul>	林務部	1,373
合計				44,565

令和3年度第2回県南広域振興圏地域協働委員会議での委員の意見に対する対応状況等  
(6月10日現在)

No.	御 意 見	対 応 状 況 ・ 対 応 方 針	
	内 容	担当部	内 容
1	奥州市に住んでいると、磐井病院や中部病院などに行かないと子どもが産めない環境であることを憂慮している。子育てする環境の整備をするのはいいが、その前段で結婚支援をして結婚する人が増えても、子どもを産み育てるための医療の面が担保できなければ、この地域で生活する若者が安心して健やかにいきいきと暮らせないのではないかと思うので、県としても市町村支援しながら、この圏域で安心して子どもを産める環境づくりについて御支援いただきたい。	保健福祉環境部	産科医の確保は岩手県全体でも非常に厳しい状況にある。このため、周産期医療は県内を4つに区切っており、県南地域は中部、胆江、両磐が1つになって医療提供体制を組んでいる状況。胆江地域については、地域周産期母子医療センターがないということもあり、各市町からも、周産期医療の連携体制等について御意見をいただいているところ。産科医の関係もあるので、直ぐに解決できる方法はないが産科医を養成・確保しながら、県で出来ることと市町に出来ることを情報共有し取組を進めているところ。一朝一夕で解決することは難しい案件だが、県としても市町と一緒にやりながら対策を進めていきたいと考えている。
2	令和3年7月3日に発生した、静岡県熱海市伊豆山地区土砂災害の原因が盛り土であるといわれているが、盛り土問題について、災害発生を受けて何か県として取り組んだことはあるか。	土木部	災害発生後、砂防災害課等より盛り土の許可を行っている箇所への調査指示があり、管内を調査した結果、大きな災害が発生する案件はないということで報告している。
3	資料NO. 4 令和4年度県南広域振興局の取組方針(案)について、「2 快適で安全・安心な生活環境をつくれます」に防災・減災対策が記載されていない理由はなぜか。防災・減災が明記させることによって、意識づけになると思っている。削除したのか、別の場所に記載されているのか確認したい。	経営企画部	事業が固まっていないところがあり、記載されていない部分があるが、事業の検討の中で入れられる箇所に記載したいと思うので、御理解をお願いしたい。

No.	御 意 見	対 応 状 況 ・ 対 応 方 針	
	内 容	担当部	内 容
4	「3 一人ひとりがいきいきと生活できるコミュニティをつくりま す」の地域の国際化について、医療 通訳スタッフの育成とあるが、防災 の一つとして避難所対応ができるス タッフを、連携して育成していけれ ば、外国人が増えていることに対応 できるのではないかと思う。実際外 国人が安心して避難できる体制ま では至っていないのは承知してい る。避難所に来た外国人の面倒を見 るスタッフの育成を視野に入れて何 かできないか考えている。	経営企画 部	現在、奥州市から令和4年度の事 業に向けて御相談いただいていると ころ。その中で、色々相談しながら 事業化できるところは事業化する形 で進めていきたいと考えている。
5	児童虐待の関係について、出産 後、乳児検診など健康管理をする場 で、保健師と話をする機会がある が、その際に親に対するカウンセリ ングを必須には出来ないものか。非 常に子育てに悩んでいる方々が多 く、自分を追い詰めてしまう人や他 の人と接する機会が失われている人 もいる。そういった方に気持ちの持 ち方や対処法を学べる機会を作って ほしい。	保健福祉 環境部	虐待の発生予防、早期発見、相談 機能の充実に係るご指摘だと読ませ ていただいた。県では児童虐待防止 アクションプランを掲げており、こ れらの3つは、4つの柱のうち3つ に該当している。現在市町村では、 乳幼児健診の際に、母親の体調を精 神的な部分を含めて確認していただ いており、相談窓口も設けている。 気になる子供がいると協議会やケ ース検討に進むような体制で進めて いる。これらを県では支援する形で 取り組んでいる。相談件数等が増加 傾向にあり、大きな課題の一つと捉 えているので、市町や学校等の関係 機関と連携しながら引き続き取り組 んでいきたい。
6	福祉職を目指す学生がそもそも 減っているようだ。だとすると、い くら人材確保しようとしても基盤が 脆弱になってきているといわれてい る。それに対し、具体的に話し合う 場やアイデアを出し合う場があれば いいと思う。金ヶ崎町と本庁から意 見をお願いされたときに、具体的に 意見を挙げさせていただいたが、ア イデアを出しても公で話をする場所 がないため、そういった場を作って いただきたいとお願いをした。広域 的な側面での連携を取りながら、話 し合いやアイデア出しをする場所を 作っていただきたい。	保健福祉 環境部	福祉人材の確保については、イ メージの改革も含め、やっていかな ければいけないと考えている。振興 局でも、市町の自立支援協議会に参 画させていただいているので、合同 の会議体を考えてみるのも1つの手 と考えている。集まって、議論し て、情報共有する場が大事だと思っ ているので、引き続き一緒に考えて いきたい。

No.	御 意 見		対 応 状 況 ・ 対 応 方 針	
	内 容		担当部	内 容
7	<p>これからの時代、ITを企業に導入しなければいけないと思う。有効求人倍率が上がって、人手不足の状態が続いており、各地域では人口減少が進んでいることを考えると、自ずと企業は人に代わるシステムを導入しなければいけない、という風に変わっていく時代がそこまで来ているのではないかと思っている。関東からではなく、地元でのITエンジニアの人材の育成と、働く場所の提供に取り組んでいけないかなと考えている。</p>		経営企画部	<p>ITは、これまで1つの産業分野だったが、IT、IoT、AIの進化に伴って、様々な分野の基盤技術になっている。それに特化した人材育成というところを考えると、例えば、管内では、北上のコンピュータ・アカデミーやいわてデジタルエンジニア育成センターなどで育成をしている。学校教育の中でもITに関心をもつ生徒を増やせるようニーズが出てくると思われるので、出前授業等も検討しなければいけないと考えている。一方で、企業人の人材育成としては、生産性の向上を進めていけるような人材をものづくりの中で育てていくためにはどうしたらよいか、これから皆様の声・ニーズを聞きながら一緒に考えていきたい。</p>
8	<p>就職氷河期世代に対する、人材の確保や人材の育成、訓練を広域的に進めていきたい。それに関わって、Iターン・Uターン等の移住との絡みもあると思う。移住ツアーなど各市町村でやっているが、「実際にどういう風に働きたいのか」、「どういう職場があるのか」などという、職と働き方を結び付けないと、なかなか移住の方向性が見いだせないというところがあるので、そこを上手く絡めて進めていきたい。</p>		経営企画部	<p>移住については、氷河期世代の方も含め、「住む」とことと併せて「働く」ことをイメージしてもらうために、令和3年度に実施した移住セミナーにおいては、キオクシア岩手にゲストで出ていただき、岩手にはこういう企業があることをアプローチしたところ。人材の確保等に当たっては、県南地域の企業において実際に働いている方の紹介なども取り入れながら、引き続き取り組みを推進していく。</p>
9	<p>キャリア教育サポーターをさせていただいており、新型コロナウイルスの関係でなかなか学校に話に行く機会がなかったが、就職が近くなった時に面接の手伝いをさせていただいた。県の就業支援員が頑張られていて、生徒も面接に対する姿勢が立派になって素晴らしいという印象を受けた。その反面、面接練習が就職するためだけの練習のような感じになっている、この後の、仕事を続けていくことの意義などをもう少し生徒に理解してもらおうと、仕事に対しての意欲は続いていくと思う。就職した後についてのフォローがあれば良い。</p>		経営企画部	<p>面談については、就業支援員もかなりベテランになっており、決して就職するためだけの面談にはならないようにと情報共有しながら行っている。学校の先生方にそのような意識を持っていただきたいと考えており、企業から「就職試験の時だけ良いことを言っていた」と言われぬように、例えば職業観や勤労観を面接練習の時に伝えられるように共有させていただいている。</p> <p>このほか、就業支援員等による面談やガイダンスの際などの複数の機会をとらえて、生徒に仕事を続けていくことの意義を伝えており、今後とも実施していく。</p>

No.	御 意 見	対 応 状 況 ・ 対 応 方 針	
	内 容	担当部	内 容
10	<p>小学校に行って話をさせていただいた際、一緒に話をさせていただいた企業さんも、素晴らしい技術を持った部分を説明されていて、地元でこんなに素晴らしいことをやっているのだと微笑んでいる生徒も見受けられた。地元で従業員を募集してもなかなか集まらないということもあるのですが、もっと地元の企業の良さを生徒に伝えていただきながら、定着して仕事を続けていく部分について、支援をしていただけると大変ありがたい。</p>	経営企画部	<p>地元の企業に人が集まらないという話はよくいただいている。地域企業向けに採用力を向上するための研修ということで、学生に就職試験を受けてもらうために、どうしたら企業の魅力が伝わるかという研修を行っている。</p> <p>さらに、地域の企業の若手社員に出前授業をやっていただくことで、年が近い先輩からの共感できる体験談により、地元の魅力を感じていただければと思っている。</p>
11	<p>子どもたちの地元への愛着を育む機会が少ないと思っている。特にコロナ禍なので町のお祭りもなく、地域の子ども会も機能しておらず、学校と習い事のみの中で育ってきている子どもたちが増えている。そのような子どもたちが、絶対岩手で働きたいと思える要素は何かということを考えていかないと、いくら就職の機会を設けても、地元に戻ってきて、就職してもらえないと思う。</p>	経営企画部	<p>地元への愛着については、例えば、企業見学や出前授業は小学校から学校単位で実施している。また、平泉では平泉学という形で地元への愛着を育む授業をしていただいております。各地で色々と地域を知る取組を進めているところ。今後においても、これらの取組を更に進めていくとともに、令和4年度は新たに「いわて県南移住コーディネート事業」において、農林業や製造業、介護・福祉分野などの職業分野の垣根を超えたキャリア教育の支援や、企業ガイドの配付などを県南広域振興局の各部の連携はもとより、市町との連携を強化しながら取り組むこととしている。</p>
12	<p>県南レジェンドランナーズのように、マラソンを推しているのであれば、マラソンと食を必ずセットする等、他分野と絡めてやっていくのはどうか。また、そういったところに、子どもたちや地域の方にも関わってもらって、皆を巻き込んで盛り上げる仕組み作りをしてほしい。</p> <p>また、マラソンだけでなくスキー場や奥州のカヌーなど景色を生かしたものを食と共にもっとアピールしてほしい。</p>	経営企画部	<p>令和2年度と令和3年度は、マラソン大会がコロナの影響でほとんど開催できなかったということもあり、観光スポットや食とも絡めた企画をオンラインで開催させていただいたところ。</p> <p>市町主体のマラソン大会が終了するところもあるが、管内市町とも連携させていただきながら、地元の人達を巻き込む形で、どう広げていくことができるかについても、市町が参加する会議等で検討していきたいと考えている。</p>



No.	御 意 見	対 応 状 況 ・ 対 応 方 針	
	内 容	担当部	内 容
13	先日、10月23日に、毛越寺を会場にリモート観光ツアーが行われた。企業と県南地域の観光地をリモートで繋ぎ、大学生協と協力して、大学生に岩手県南をアピールする取組だったのだが、大変良かったと思っている。全国の学生協で学生の参加を募ったところ、参加者は160人を超え、多くの学生にアピールすることができた。この取組はぜひ令和4年度続けていただきたいし、年1回ではなく何回かやっていただくとアピールできると思った。その中で、もっと産業の部分もアピールできればより良いと思う。	経営企画部	様々な大学の学生と繋がりができて、160人も御参加いただき、良かったと思っている。12月に大学生協事業連合を訪問して、令和3年度の振り返りと令和4年度の実施について話をしてきた。今回できたつながりを大切にして、先方のニーズにも耳を傾けながら練り込み、ひいては、移住・定住の取組とうまく連動させて、繋がっていければいいと思っている。大事なものは、繋がりをもって実施していくことで、沢山のの人に観光や移住・定住を広げるネットワークが出来ると思うので、そこを大切に様々活用していきたい。
14	リモート観光ツアーに参加させていただいて、ものすごくいい企画だなと思った。1年に1度だけといわず、複数回実施して、その季節を楽しんでいただけるように企画していただきたい。	経営企画部	リモート観光ツアーについて、御協力いただき感謝申し上げます。年複数回開催して欲しいという声があったことを心強く受け止めたいと思う。
15	食品の輸出拡大に係る事業について、大変興味を持っている。大手の全国区の輸送会社ではなく、地元企業を使っており、地元の企業を包括して行う事業で凄く良いと思っている。実際、輸出の時、特に中国を視野に入れたときに苦労しているのが商標登録のところ。費用もかなりかかり、中国だと代理人を立てなければいけないということもあるので、商標のところもサポートしていただくと良いと思う。	経営企画部	輸出事業について、商標登録のサポートをという声があったが、県の産業経済交流課や産業振興センター等と連携しながら、そのような視点を持ちながら取り組んでいきたい。

No.	御 意 見	対 応 状 況 ・ 対 応 方 針	
	内 容	担当部	内 容
16	旬彩ごほうびフェアについて、進捗状況が順調となっているが、評価基準は何なのか。コロナ禍において、多くの飲食店が疲弊し、お客さんが来ないと困っている中でのフェア開催だったと思うが、果たして順調だったのか疑問がある。	経営企画部	こちらは取組指標ということで、何社に協力いただいたかということも大事だが、従来の西和賀町・金ヶ崎町・北上市の3市町から広げられないかということで、他の市町の食産業者にも広げたところから順調と評価したところ。 資料には第2四半期の時点の進捗を記載しているが、旬彩ごほうびフェアは10月の開催ということで、この時点では準備を進めている段階であった。実際にどれくらい集客されたかはこれから集計させていただいて、それが目標に届いていなければ「遅れ」という評価に変わっていく可能性はある。
17	令和3年10月20日に、平泉世界遺産ガイダンスセンターが開館した。11月11日に内覧会ということで招待され、館長から1時間ほど説明を受けた。大変素晴らしいガイダンスセンターなので、ぜひ岩手県民には1回から2回行っていただきたい。また、全国へのPRもこれから進めてほしい。	経営企画部	平泉世界遺産ガイダンスセンターは、時間をかけて見るに値する施設だと思う。委員の皆様も、これからという方がいればぜひ見に行ってもらえばと思う。施設をどうやって活用していくかについて、所管している文化スポーツ部や平泉ガイダンスセンター、さらには関係市町や関係団体で構成する世界遺産保存活用推進協議会等と議論を行っているところ。同センターは平泉の玄関口だと捉えているので、様々な場面でPRさせていただきたい。
18	一関・平泉地方のもち食文化をもっとPRしてほしい。餅だけでなく、餅に合うレシピも、400種類以上の農産物を使っているということもあるので、併せてPRしてほしい。	経営企画部	もち食文化は、ユネスコ無形文化遺産の中に含まれているので、1つのコンテンツという形で、食による交流人口の拡大につながる素材として活用させていただきたい。

No.	御 意 見	対 応 状 況 ・ 対 応 方 針	
	内 容	担当部	内 容
19	<p>一関の観光協会では、コロナ禍の中で、マイクロツーリズムということで、一関市の補助金等を活用し、様々取組を進めている。いわて旅応援プロジェクトやいわての旅クーポンなども盛んに行われているので、この機会に、観光客がどんどん来ると思うのでその準備が必要だと思う。</p>	経営企画部	<p>観光の情報発信について、平泉世界遺産登録10周年ということもあり、力を入れて取り組みたいと思っていたところ。東北デスティネーションキャンペーンもあったので、本来であれば力を入れて全国に発信したかったところだが、なかなか新型コロナウイルスの影響で出来なかった。令和4年度、アフターDC及びJR東日本の重点販売期間になるので、県の観光・プロモーション室と連携しながら、県南広域振興局は地域の新しいコンテンツや知られていないコンテンツを探して取り組んでいきたいと思っている。</p>
20	<p>旬彩ごほうびフェアについて、弊社も協力させていただき料理を提供させていただいたが、素晴らしい企画だと思うが一般の方はまだまだ知られていないのが非常に残念に思った。今後も続けていくという話になったが、出来るだけ地元の食材を、地元の皆さんに知っていただきながら楽しんでいただけるように進めていただきたい。</p>	経営企画部	<p>当時は、フェアの開催が出来ないのではないかという心配がある中で準備を進めていた。結果的には開催した時期が、感染者が収まってきた時期にあたっていたので良かったが、当時は積極的にPRすべきか悩んだところもあった。コロナが落ち着いていけばもっとPRして、観光のような他のコンテンツともコラボしながら進めていきたい。</p>
21	<p>先日、西和賀町でツアーを行ったようだが、このツアーが食クラネットに入っている委員ですら情報が伝わっておらず、集まりが悪かったということがあるようだった。もう少し横の連携が取れると、より会員の皆さんが協力出来ると思う。今回、新型コロナウイルスの影響で集まりも少なかったし、情報交換会もなかったという事情もあるかと思うが、その部分を課題にさせていただいて、もう少し広げていただくと良いと思う。</p>	経営企画部	<p>コロナ禍でも、情報共有は強化できるので、しっかり強化してやらせていただきたい。</p>

No.	御 意 見	対 応 状 況 ・ 対 応 方 針	
	内 容	担当部	内 容
22	10月末に、農水省に肥料メーカーや商社が呼ばれ、隣国が輸出規制をかける影響で、肥料が手に入りづらくなるとの話を聞いた。2、3年前から価格が1.5倍ほどになっているため、コントラクターの強化、マッチング支援、少ない肥料で行う新しい技術体系の指導等をお願いしたい。	農政部	<p>県では令和3年3月、「“ひと”と“環境”に優しいいわて農業生産方針」を策定したところ。</p> <p>この方針に基づき、土壌分析に基づく施肥体系の検証・見直し、県内製造堆肥の利用促進、スマート農業技術を活用した効率的な施肥技術の開発・普及等により、化学肥料の使用低減を推進していくこととしている。</p>
23	畜産について、獣医や受精師の数が足りないと感じる。仕事をしている時間より移動時間が多いのが現状なので、県でも支援や指導していただければ助かるのでお願いしたい。	農政部	<p>県では、令和3年3月に策定した「獣医療を提供する体制の整備を図るための岩手県計画」に基づき、希望する獣医学生に修学資金の貸付けを行い、県内への就業を支援しているほか、獣医系大学への訪問等による県内への就業勧誘や獣医学生のインターンシップの受入れ等に取り組んでおり、引き続き、獣医師の確保に努めていきたい。</p> <p>また、地域の家畜診療体制の維持に向け、農業共済組合の家畜診療所勘定の収支が均衡するよう、国に対して、家畜共済事務取扱要領等の見直しを要望するとともに、地元自治体や関係団体と獣医師の確保策や地域の家畜診療のあり方等について検討を重ねているところであり、引き続き、地域の家畜診療の確保に向け、取り組んでいきたい。</p> <p>移動時間の長さについてはやむを得ないことから、例えば効率的な業務の推進について今後も検討を行っていきたい。</p>

No.	御 意 見	対 応 状 況 ・ 対 応 方 針	
	内 容	担当部	内 容
24	<p>松くい虫やナラ枯れが問題になっている。岩手県では6月～9月はアカマツが伐採禁止となっているが、他県ではこのような規制がない。林道や作業道を車で走っていると、風が強い日では枯れた松が落ちてくることまれにある。山形では、キノコ採りの時期に木が倒れてきて、死亡したケースがあったそうだ。特に県南地域の平地のアカマツは、どんどん伐採して、広葉樹林化あるいは樹種転換をしていくのが良いと考えている。</p>	林務部	<p>伐採制限について、6月から9月まで伐採をしないというのは、その時期に伐採をすると松くい虫被害が、伐採木を介して広がることを防ぐために制限をしているもの。それ以外の期間で、アカマツをしっかりと伐採をして、樹種転換を図っていくのが一番の対策だと考えている。一方でどうしてもマツを守らなければいけない場所もある。そういったところのアカマツは守りながら、それ以外の場所のアカマツは活用していくのが最も望ましい形だと考えている。しっかりと適切な時期に対策を講じていきたい。</p>
25	<p>林業は非常に重篤な労働災害が多い。特にチェーンソーで伐採する際に、重篤な事故が発生している。伐採についての知識は、林業アカデミーで勉強することができるが、その伐採のカリキュラムが少ない感じがする。様々な理由によるものかもしれないが、各事業体を周って歩いて、どのように伐採するのかを力を入れて勉強していく必要があると思う。</p>	林務部	<p>林業の労働災害は、非常に重篤な被害になる。令和3年は、県内で死亡事故が4件発生したということで、問題になっている。林業アカデミーの伐採のカリキュラムについて、1年間のスケジュールの中で時間配分が十分とれないということもあると思う。それぞれの事業体でお互いにどんな作業をしているのかを確認し合うのは良いやり方だと思う。建設工事などでも安全パトロールということでお互いの現場を見るという機会があり、そのようなことを林業の中でも行うことは効果があると思うので、参考にさせていただく。</p>
26	<p>林業機械メーカーとの交流を、もう少し進めて行ってほしい。交流を図ってお互いに提言し合えば良いと思う。</p>	林務部	<p>まずは現場の声を聴いて、意見を集約して、機械メーカーに提供していきたい。</p>

No.	御 意 見	対 応 状 況 ・ 対 応 方 針	
	内 容	担当部	内 容
27	<p>ウッドショックが続いており、木が入りにくい、木製品の値段が上がっている。令和3年の4月から素材の価格が10%くらい上がっている。しかし、素材業者が利益を出しているかと言われれば、必ずしもそうではなくて、立ち木を買う際に、予定価格の150%近くの値段で入れていく人がいるのでなかなか落札できない。なんとかならないかと思っている。</p>	林務部	<p>価格が10%ほど上がっているが、製品価格は2倍近くになっている。製品が高いということで、丸太を購入する皆さんはこれまでよりも高めでもできるだけ丸太を買いたいという意識が働いている。そのため入札に参加すると、思ったより高く買えないということがあると思う。この状況がずっと続くかどうかは不透明だが、県行造林の入札ということであれば出来るだけ皆さんが入札できる機会がもてるように対象地の調査を進めていきたい。</p>

# 「いわて県民計画（2019～2028）」

## 第2期アクションプラン の策定について

令和4年6月  
岩手県

# I 「いわて県民計画（2019～2028）」の構成

長期  
ビジョン

長期的な岩手県の将来を展望し、県民みんなで目指す将来像と、その実現に向けて取り組む政策の基本方向を明らかにするもの

[計画期間:2019年度から2028年度までの10年間]

アクション  
プラン

長期ビジョンの実効性を確保するため、重点的・優先的に取り組むべき政策や具体的な推進方策を盛り込むもの

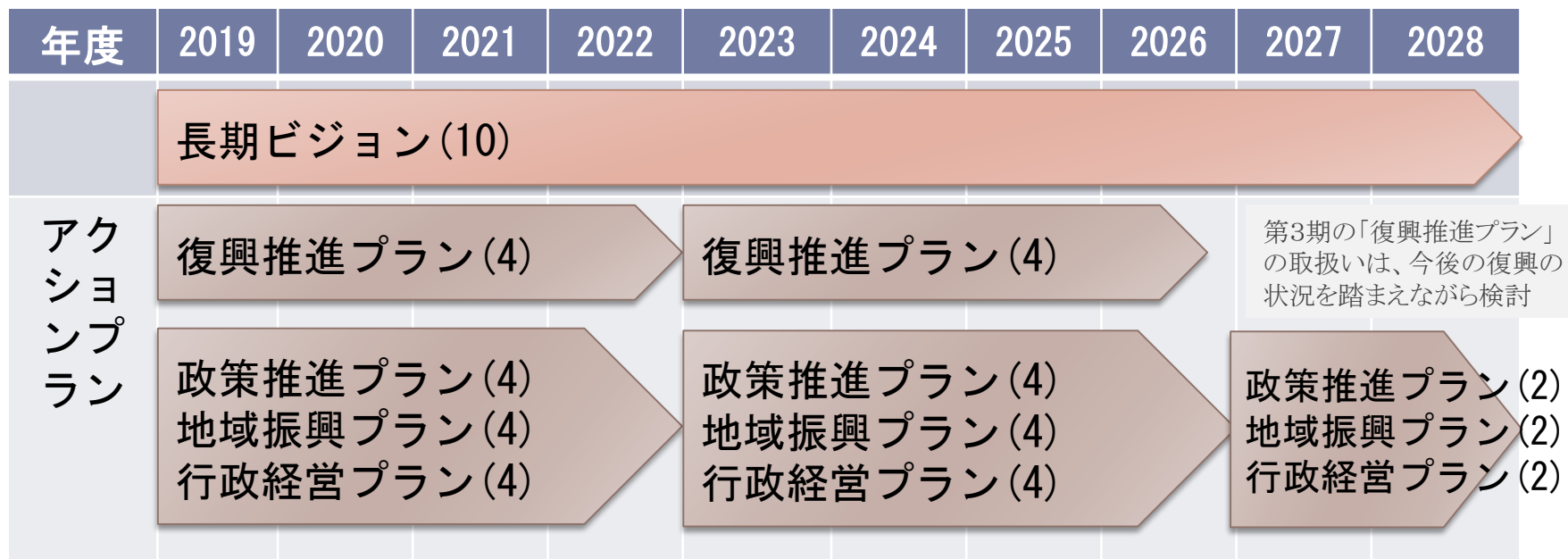
[第1期:2019年度～2022年度]

復興推進プラン

政策推進プラン

地域振興プラン

行政経営プラン





## Ⅱ 計画の理念

- 県民一人ひとりがお互いに支えながら、幸福を追求していくことができる地域社会の実現を目指し、幸福を守り育てるための取組を進めること
- 地域社会を構成するあらゆる主体が、それぞれ主体性を持ち、共に支え合いながら岩手県の将来像を描き、その実現に向けて、みんなで行動していくこと
- 社会的に弱い立場にある方々が孤立することのないように、社会的包摂(ソーシャル・インクルージョン)の観点に立った取組を進めること

## Ⅲ 基本目標

**東日本大震災津波の経験に基づき、  
引き続き復興に取り組みながら、  
お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて**

# IV 政策推進の基本方向

主観的幸福感に関する12の領域をもとに、「健康・余暇」から「自然環境」までの8つと、これらを下支えする「社会基盤」「参画」を加えた10の政策分野を設定。

各政策分野に、幸福に関連する客観的指標(いわて幸福関連指標)を定め、一人ひとりの幸福を守り育てる取組を展開。

**I 健康・余暇** 健康寿命が長く、いきいきと暮らすことができ、また、自分らしく自由な時間を楽しむことができる岩手

**II 家族・子育て** 家族の形に応じたつながりや支え合いが育まれ、また、安心して子育てをするこ  
とができる岩手

**III 教育** 学びや人づくりによって、将来に向かって可能性を伸ばし、自分の夢を実現できる岩手

**IV 居住環境・コミュニティ** 不便を感じないで日常生活を送ることができ、また、人や地域の結び付きの中で、助け合って暮らすことができる岩手

**V 安全** 災害をはじめとした様々なリスクへの備えがあり、事故や犯罪が少なく、安全で、安心を実感することができる岩手

**VI 仕事・収入** 農林水産業やものづくり産業などの活力ある産業のもとで、安定した雇用が確保され、また、やりがいと生活を支える所得が得られる仕事につくことができる岩手

**VII 歴史・文化** 豊かな歴史や文化を受け継ぎ、愛着や誇りを育んでいる岩手

**VIII 自然環境** 一人ひとりが恵まれた自然環境を守り、自然の豊かさとともに暮らすことができる岩手

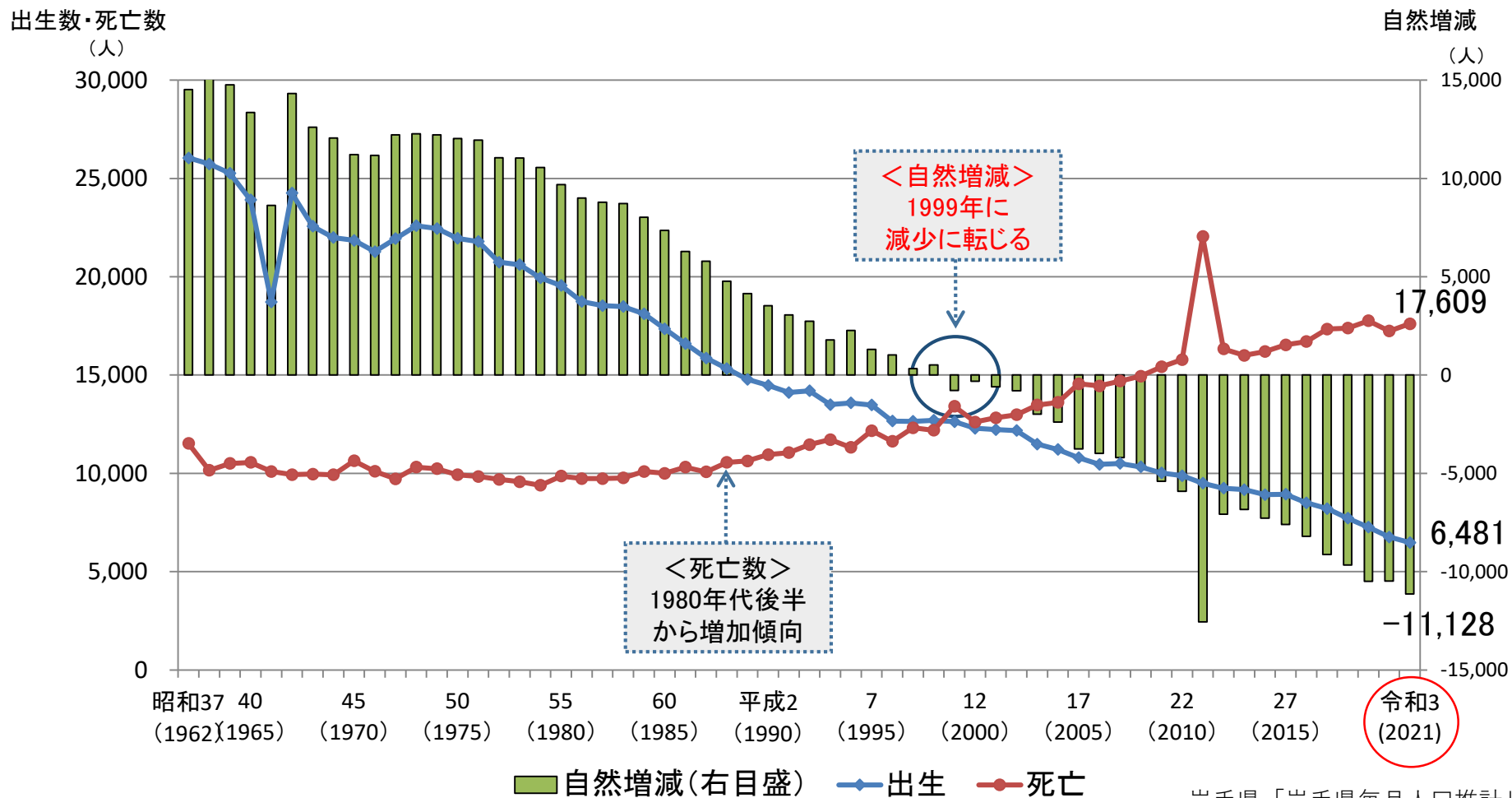
**IX 社会基盤**  
～防災対策や産業振興など幸福の追求を支える社会基盤が整っている岩手～

**X 参画**  
～男女共同参画や若者・女性、高齢者、障がい者などの活躍、幅広い市民活動や県民運動など幸福の追求を支える仕組みが整っている岩手～

# V 社会経済情勢の変化（岩手県の人口）

## ■ 自然増減（出生数と死亡数の差）の推移

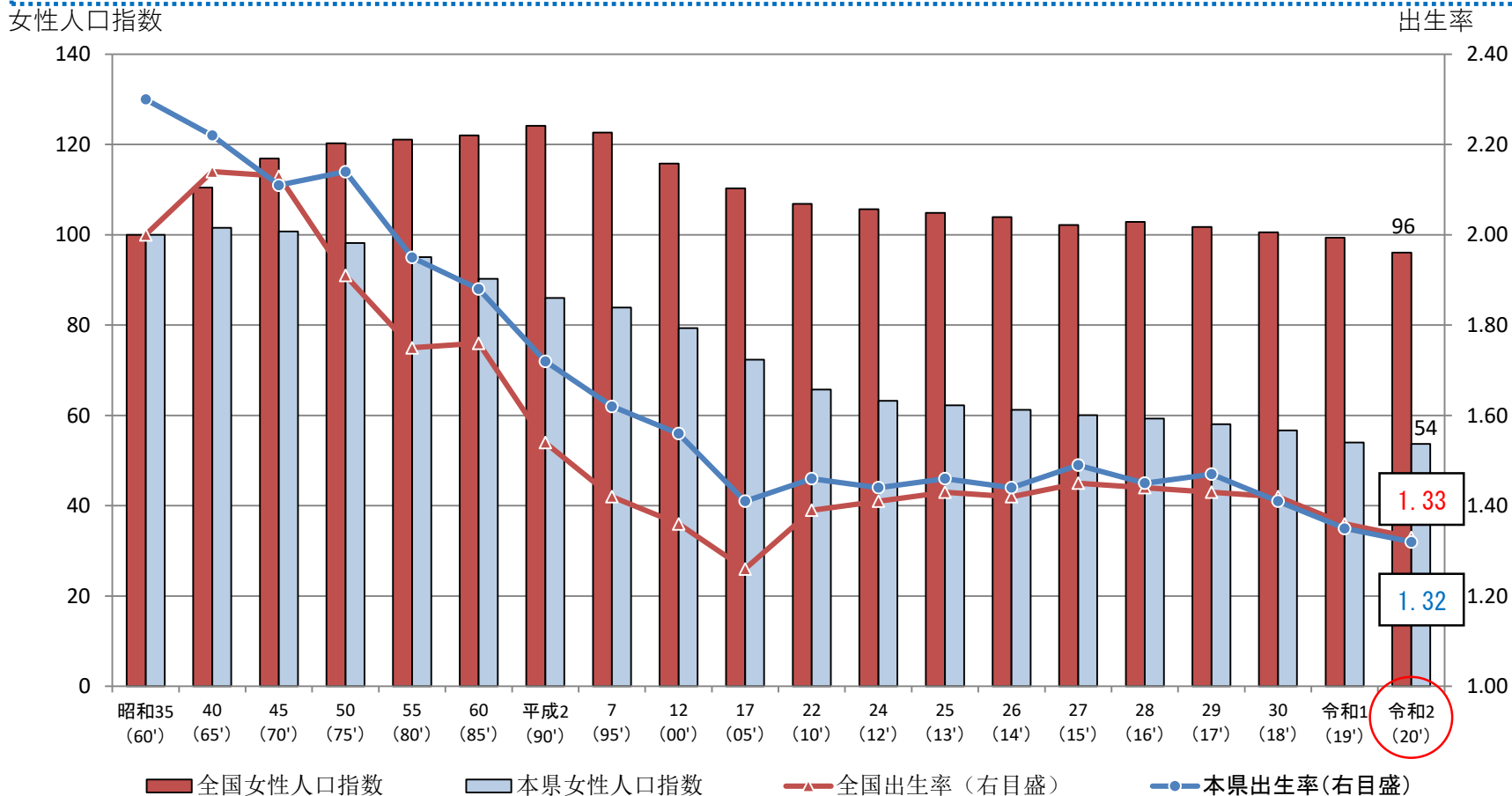
- ・ 本県の自然増減は、出生数の減少、死亡数の増加により、平成11年に減少に転じ、以降は減少数が拡大傾向
- ・ 死亡数は、昭和60年代から増加傾向



# V 社会経済情勢の変化（岩手県の人口）

## ■ 出生率の推移

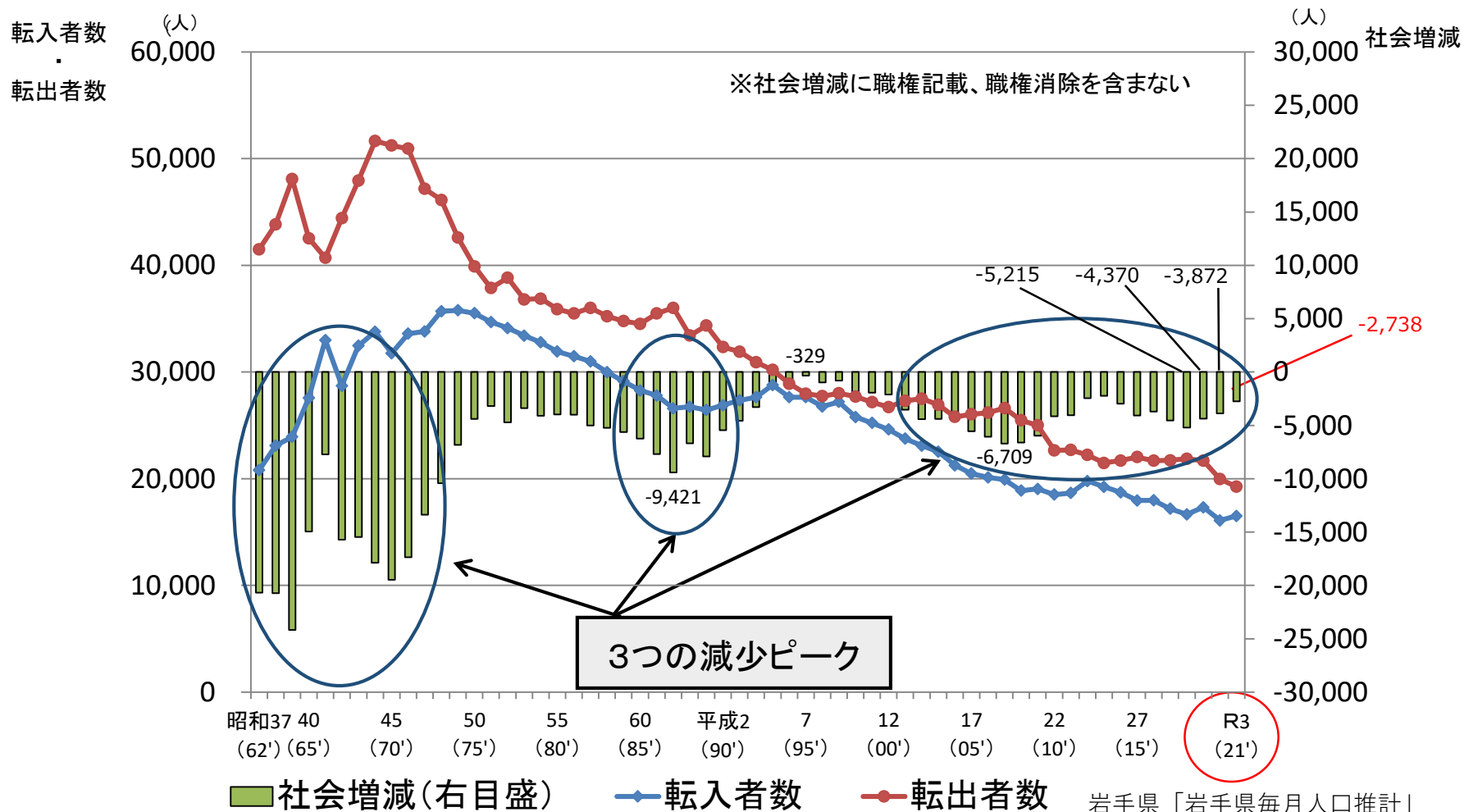
- ・ 若い世代の県外流出により、女性人口(15～49歳まで)そのものが減少
  - ・ 出生率の低迷  
 （昭和50年以降、人口置換水準の2.07を下回って推移。令和2年には1.33）
- 出生数の減少に関わる2つの要因



# V 社会経済情勢の変化（岩手県の人口）

## 社会増減（転入者数と転出者数の差）の推移

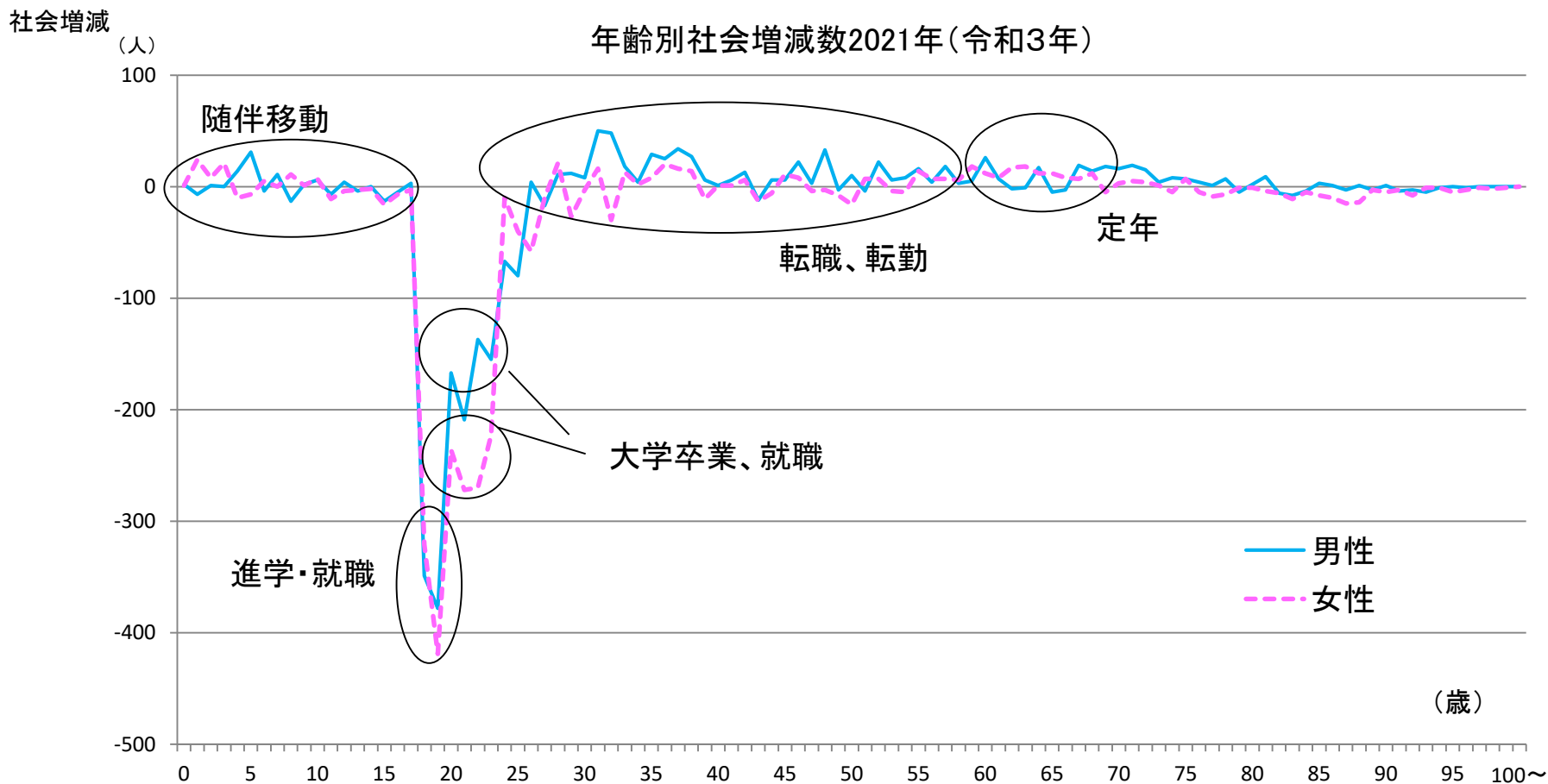
- ・ 本県の社会増減には、3つの減少ピーク
- ・ 平成26年から平成27年にかけて社会減が拡大、平成28年にはいったん社会減が縮小
- ・ 平成30年には▲5,215人と5千人を超えたが、その後縮小し、令和3年には▲2,738人



# V 社会経済情勢の変化（岩手県の人口）

## 社会増減の推移

- 社会減は、18歳の進学・就職期、22歳前後の就職期に顕著。特に、22歳前後では、女性の社会減が大きい
- 高校卒業者の希望する進学先、若者の希望に見合う就職先の確保が必要



# V 社会経済情勢の変化（コロナ禍における人口移動）

## ■ 新型コロナによる人口移動の変化

- ・ 岩手県 : R2. 7月～10月, 12月、R3. 1月, 5月, 7月～10月が転入超過
- ・ 東北6県: R2. 7月～9月, 12月、R3. 7月～9月が転入超過
- ・ 東京都 : R2. 7月～12月、R3. 1月～2月、5月～12月が転出超過
- ・ 東京圏 : R2. 7月～9月, 11月～12月、R3. 7月, 11月～12月が転出超過

➤ 東京一極集中の拡大から、地方への人口移動が起きているものと推測

### 岩手県、東北6県、東京都、東京圏の社会増減の推移

地域	年次	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
岩手県	R1	-188	-196	-2,594	-1,153	16	-43	-65	-174	-33	-147	-11	-80	-4,668
	R2	-127	-299	-2,568	-986	-92	-168	103	21	103	72	-22	96	-3,867
	R3	82	-76	-2,108	-978	58	-22	88	65	43	2	-20	-7	-2,873
	R4	-84	-120											
東北6県	R1	-744	-1,391	-15,454	-5,988	-1,029	-926	-560	-758	-697	-953	-763	-497	-29,760
	R2	-922	-1,362	-14,806	-3,527	-413	-937	71	230	283	-63	-158	336	-21,268
	R3	-318	-853	-12,319	-4,631	-525	-347	270	152	431	-111	-177	-235	-18,663
	R4	-530	-729											
東京都	R1	3,741	4,053	40,568	15,609	4,792	3,437	1,621	3,398	3,098	2,554	2,151	1,553	86,575
	R2	3,146	4,525	41,902	7,049	-509	2,096	-2,144	-4,011	-3,084	-2,506	-3,690	-4,400	38,374
	R3	-1,334	-1,593	29,363	3,989	-177	-108	-2,743	-3,223	-3,255	-3,194	-3,176	-3,734	10,815
	R4	383	624											
東京圏	R1	6,089	6,921	68,306	27,500	7,558	4,983	2,173	5,400	5,183	4,753	3,704	3,006	145,576
	R2	5,343	6,888	70,087	14,497	1,167	4,027	-1,682	-739	-56	834	-393	-1,968	98,005
	R3	1,432	2,138	57,419	15,071	3,871	3,136	-2,062	349	99	509	-260	-1,261	80,441
	R4	2,784	3,618											6,402

8か月連続で転出超過

# V 社会経済情勢の変化（コロナ禍における変化）

## ■ 従来の課題の顕在化・加速化

（新型コロナウイルス感染症によって起きた変化）

●3密回避・非接触・各種申請等のために、テレワーク、診療・授業や行政手続のオンライン化を急速に進める必要。

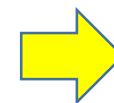
●感染リスクが大都市圏と比べて低いことをきっかけに、地方の価値が見直される。

新型コロナウイルス感染症によるテレワークの普及で都市から地方への移住者が増加。

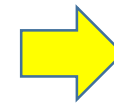
●大消費地の需要減による販売減。新たな販売先確保や県内で経済を支える必要。

●失業や出会いの場の減少で婚姻率・出生率が低下し、少子化が一層加速するおそれ。

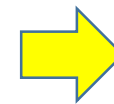
（見えてきた課題）



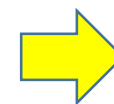
デジタル化



移住・定住



地産地消



結婚・出産・子育て

## ■ 「身体的距離の確保」という新たな視点

（新型コロナウイルス感染症によって起きた変化）

●身体的距離の確保が難しい分野（医療・介護・福祉・教育・保育等）の維持と労働力の確保の取組が必要。

●身体的距離の確保と飲食店や観光・娯楽等、雇用の維持にもつながる社会経済活動の両立の難しさ。

（見えてきた課題）



対面中心の分野における対応



## V 社会経済情勢の変化

### ■ グリーン社会の実現

地球温暖化に歯止めがかからず、世界の気候は非常事態に直面。本県としても、国際社会の一員としての役割を果たすことが求められており、「温室効果ガス排出量の2050年実質ゼロ」に向け取り組んでいます。

### ■ 復興道路の全線開通

令和3年12月18日に、復興道路が全線開通し、三陸沿岸がより強く一つに結びつき、さらに、三陸沿岸と内陸もより強く結びつきました。

### ■ 大型誘致企業の稼働

北上川流域においては、自動車半導体関連産業の集積が更に進み、半導体製造メーカーの工場の増設、IT企業の本店移転などもあり、新たな雇用が生まれています。

## V 社会経済情勢の変化

### ■ デジタル化の進展

学校におけるICT機器の前倒し整備、介護施設における介護ロボット等の導入をはじめ、各分野においてデジタル化が進展しており、個性豊かで活力に満ちた地域社会の可能性が広がっています。

### ■ 若者の活躍

本県出身選手のアメリカンリーグでのMVP受賞や北京オリンピックでのメダル獲得、全日本合唱コンクールでの最高賞受賞など、多くの若者たちが活躍しています。

### ■ 地元志向・地方志向の強まり、地方への移住への関心の高まり

新型コロナ感染拡大が繰り返され、地元志向・地方志向が強まる中、令和2年度の高卒者の県内就職率が7割を超えました。また、地方への移住に対する関心が高まり、テレワークをはじめとする多様な働き方が加速するという、個人の行動変容が起きています。

## VI 第2期アクションプランの策定

➤ 県では今年度、以下の基本的な考え方に基づき、「第2期アクションプラン(令和5年度～8年度)」を策定することとしています。

### ■ 基本的な考え方

- ① 第1期アクションプランの評価結果や東日本大震災津波からの復興の進捗、新型コロナウイルス感染症の状況など社会経済情勢の変化等を踏まえ、策定する。
- ② 市町村、企業、団体、個人など、様々な主体から広く意見を伺う。

**「様々な社会経済情勢の変化を踏まえ、  
岩手の将来を見据えて、  
今後4年間に重点的に取り組むべき事項」  
について、御意見をお願いします。**

## 県南広域振興圏地域協働委員設置要綱

## (設置)

第1 県南広域振興圏における地域の目指すべき姿を明確にし、施策の方向性や具体的な推進方策等について官と民が協働により推進するため、県南広域振興圏地域協働委員（以下「委員」という。）を置く。

## (所掌事項)

第2 委員は、次の事項について県南広域振興局長（以下「局長」という。）と意見交換を行い、及び委員の会議（以下「会議」という。）で協議するものとする。

- (1) いわて県民計画に関すること。
- (2) 県南広域振興局施策評価等に関すること。
- (3) 県と市町及び関係団体等との具体的連携（機能分担）の推進に関すること。
- (4) その他局長が必要と認める事項に関すること。

## (委員)

第3 委員の定数は、20人以内とする。

- (1) 委員は、県南広域振興局管内に在住又は勤務する有識者及び公募に応じた者のうちから、局長が委嘱する。
- (2) 委員の任期は、2年とする。ただし、欠員が生じた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

## (会議)

第4 会議は、必要に応じて局長が招集し、主宰する。

2 局長は、必要がある場合は、委員以外の者の出席を求めることができる。

## (庶務)

第5 委員に係る庶務は、県南広域振興局経営企画部企画推進課において処理する。

## (補則)

第6 この要綱に定めるもののほか、委員に関し必要な事項は、局長が別に定める。

## 附 則

この要綱は、平成18年11月1日から施行する。

## 附 則

この要綱は、平成22年4月26日から施行する。

## 附 則

この要綱は、平成23年10月18日から施行する。

## 附 則

この要綱は、平成25年5月7日から施行する。

## 附 則

- 1 この要綱は、平成27年5月15日から施行する。
- 2 平成27年度に委嘱する委員の任期は、第3の規定にかかわらず、委嘱の日から平成29年3月31日までとする。